

平成 29 年度

市民アンケート実施結果

報 告 書

平成 29 年 8 月

鹿角市総務部 政策企画課 総合戦略室

目 次

I	実施概要	1
II	回収状況	3
III	調査の総括	4
IV	設問別集計結果	
1.	地域コミュニティについて	11
2.	公共交通について	13
3.	住みごころについて	19
4.	愛着について	21
5.	市街地の整備について	23
6.	「まちなか」への住み替えについて	25
7.	運動の実施状況について	31
8.	男女共同参画の状況について	33
9.	地域情報化について	35
10.	子育て支援について	38
11.	コモッセの利用状況について	42
12.	「市議会だより」について	47
13.	市の政策について	49
14.	自由意見	55
資料	平成29年度市民アンケート回答票	62

I 実施概要

1 実施目的

本市では、平成 23 年度から 32 年度を計画期間とする「第 6 次鹿角市総合計画（以下、「総合計画」と呼びます。）」において、市の将来のあるべき姿として、「笑顔がつながり活力を生むまち・鹿角」を将来都市像として定め、その実現を目指しています。この調査は、総合計画の推進を図るため、市が導入している行政評価制度の外部評価の一環として、総合計画を構成する各施策の進捗状況を成果指標として確認するほか、施策の効果とニーズ（需要）を調査・把握するとともに、市民の意識や意見等を集約し、今後の施策推進に活用することを目的としています。

2 設問構成

設問	設問の趣旨	担当課
1. あなた自身について	性別、年代、居住地区、世帯構成、住居形態、子育て状況の確認	—
2. 地域コミュニティについて	社会活動、地域活動への参加頻度の把握	市民共動課
3. 公共交通について	バス等の利用頻度と不便を感じる方の割合の把握	市民共動課
4. 住みごっこについて	鹿角市の住みごっこに対する満足度の把握	総合戦略室
5. 愛着について	鹿角市に愛着を持っている方の割合の把握	総合戦略室
6. 市街地の整備について	中心市街地の生活環境に対する満足度と不満要因の把握	総合戦略室
7. 「まちなか」への住み替えについて	「まちなか」への住み替えを希望する方の割合とその理由、住み替えが可能な条件の把握	総合戦略室
8. 運動の実施状況について	運動や生活活動の頻度とその時間の把握	スポーツ振興課
9. 男女共同参画の状況について	地域内の共同参画状況の把握	市民共動課
10. 地域情報化について	インターネット利用状況の把握	総務課
11. 子育て支援について	子育て支援の満足度と不満要因の把握	福祉課
12. コモッセの利用状況について	芸術鑑賞した割合とコモッセの利用状況の把握	生涯学習課
13. 「市議会だより」について	「市議会だより」がどの程度読まれているか、紙面に対する要望の把握	総合戦略室
14. 市の政策について	施策の効果と施策に対する市民ニーズを調査し、施策評価と優先度等の検討に活かす	総合戦略室
15. 自由記入	—	—

3 実施期間

平成 29 年 5 月 30 日（火）～6 月 13 日（火）まで

4 実施対象

平成 29 年 5 月 30 日時点で住民基本台帳に登載されている方のうち、無作為によって抽出した満年齢 18 歳から 74 歳までの市民 700 人。抽出にあたっては、性別、年齢及び地域条件を考慮し均衡を図ったほか、平成 26 年度から 28 年度までの市民アンケート調査対象者を除いています。

5 実施方法

- (1) 配付 自治会長及び広報等配布員による配付（一部郵送）
- (2) 回収 職員による回収及び郵便（受取人払い）による回収

Ⅱ 回収状況

1 回収率

67.0% (469人/700人) ※平成28年度の回収率 70.4% (493人/700人)

2 回答者の属性

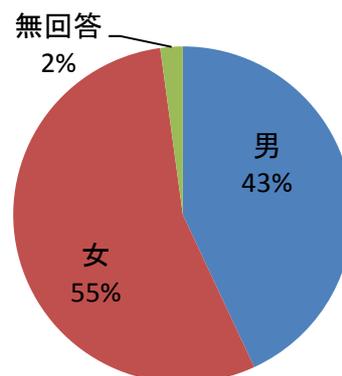
市民アンケートの属性別の対象者数、回答者数及び回収率は次のとおりです。構成比(※1)は、その区分の対象者(回答者)が全対象者(回答者)のうち何%を占めているかを表しています。回収率(※2)は、その区分の対象者数のうち何%が回答を寄せたかを表しています。

※1 構成比 = その区分に属する対象者数(回答者数) ÷ 全対象者数(全回答者数)

※2 回収率 = その区分に属する回答者数 ÷ その区分に属する対象者数

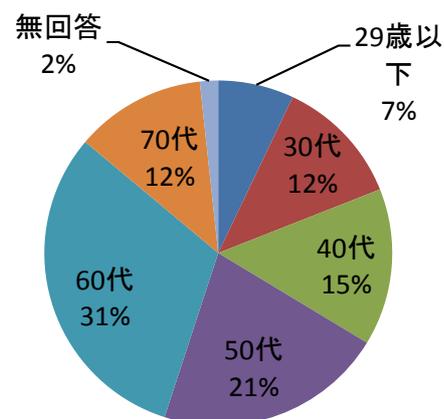
(1) 男女別

	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
男	343	49.0%	202	43.1%	58.9%
女	357	51.0%	257	54.8%	72.0%
無回答			10	2.1%	
計	700	100.0%	469	100.0%	67.0%



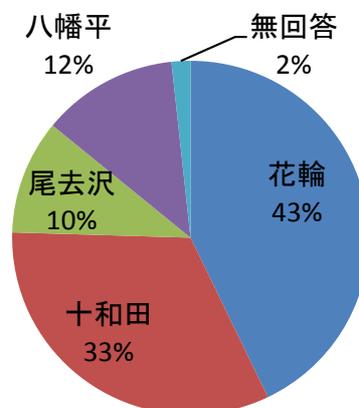
(2) 年代別

	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
29歳以下	81	11.6%	33	7.0%	40.7%
30代	98	14.0%	56	11.9%	57.1%
40代	115	16.4%	69	14.7%	60.0%
50代	151	21.6%	100	21.3%	66.2%
60代	184	26.3%	146	31.1%	79.4%
70歳以上	71	10.1%	57	12.2%	80.3%
無回答			8	1.7%	
計	700	100.0%	469	100.0%	67.0%



(3) 地区別

	対象者数		回答者数		回収率
	人数	構成比	人数	構成比	
花輪	319	45.6%	201	42.9%	63.0%
十和田	225	32.1%	153	32.6%	68.0%
尾去沢	63	9.0%	49	10.5%	77.8%
八幡平	93	13.3%	58	12.4%	62.4%
無回答			8	1.7%	
計	700	100.0%	493	100.0%	67.0%



※各設問における項目選択の割合(%)は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

Ⅲ 調査の総括

[Redacted text block]

Ⅲ 調査の総括

1. 地域コミュニティについて

社会活動・地域活動の参加割合	61.9%	⇒詳細 P11
----------------	--------------	---------

昨年1年間で社会活動や地域活動に参加した方の割合は61.9%で、基準値である70.5%を下回っておりますが、年代別では60代が74.6%と基準値を上回っており、本市の地域コミュニティにおいては、60代以上の活躍が大きなウエイトを占めていると捉えられます。それよりも若い年代では、29歳以下の参加割合が前年からは上昇しているものの、他の世代と比べると特に低いほか、働き盛りである40代と50代の参加割合が前年より低下しており、特に40代は仕事や子育てで忙しい状況にあるのではないかと推測されます。

地域コミュニティの活性化を図っていくためには、現在の活動の中心となっている世代はもちろんですが、すべての世代が活動に参加できるような仕組みを構築することが重要です。

2. 公共交通について

数年間、公共交通を利用したことが無い人の割合	55.0%	⇒詳細 P13
公共交通に不便を感じる市民の割合	17.9%	

9割程度の方が自家用車を日常の移動手段としておりと考えられ、利用時間や場所に制限のない自家用車と比べて、制限の多い公共交通は不便だと感じている方が多くなっています。また、将来的に運転免許を返納した時のことを考えると不安だという回答も多くありました。

増便してほしい、利用したい時間帯に走らせてほしいという声が多いものの、利用者の減少とともに運行本数を縮小せざるを得なかった経緯から、増便は難しい状況にあります。

公共交通を必要とする方は各地域に分散しており、広範囲な需要をカバーするため、予約型デマンド運行や地域主体の乗合交通の取組を進めるなど、持続可能な公共交通の運行確保が必要と考えられます。

引き続き、利便性の向上を図るとともに、利用促進のための情報提供や啓発活動により市民の関心を高め、地域に必要な公共交通を維持していきます。

3. 住みごこちについて

住みごこちに満足している割合	52.5%	⇒詳細 P19
----------------	--------------	---------

「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方は前年(55.2%)と比べて2.7ポイント減少し、目標値である60.0%を下回る結果となりました。

住みごこちについては、福祉や雇用、コミュニティなどを含む総合的な指標であることから、本市の持つ魅力を十分発揮したまちづくりと計画的な社会基盤の整備を進め、満足度の向上に努めます。

4. 愛着について

鹿角に愛着を持っている割合

73.6%

⇒詳細 P21

目標値である 68.0%を引き続き上回ったものの、前年（77.3%）と比較すると 3.7 ポイントの減少となりました。

鹿角への愛着を高めていくためには、地域にある「モノ」や「コト」の魅力を磨き輝かせることが重要であるため、市民のイメージや価値を共有しながら、鹿角ブランドを確立し、鹿角ならではの独自の価値やふるさとへの誇りが高まるような、魅力的な地域づくりを進めていきます。

5. 市街地の整備について

中心市街地の環境に満足している市民の割合

53.8%

⇒詳細 P23

中心市街地活性化プランを策定し、「まちなか」のにぎわい創出と活性化を目指しています。

花輪市街地の環境に「満足」「やや満足」と回答した方は 53.8%で、基準値（53.5%）には達したものの、前年（59.0%）を 5.2 ポイント下回る結果となりました。

今後は鹿角花輪駅前広場の整備を進めるとともに、コモッセとの連携強化、交通アクセスの向上に取り組んでいきます。

6. 「まちなか」への住み替えについて

⇒詳細 P25

花輪市街地（まちなか）の空き家の活用などの観点から「まちなか」への住み替え需要を調査したところ、「まちなか」への住み替えを希望する方は昨年同様、全体の約 10%強で、「まちなか」以外に住む方のうち、7 割以上は、「生まれ育った土地だから」などの理由で、現在の居住地に住み続けるとしており、地域コミュニティの維持に向けて明るい材料と言えます。

一方、「まちなか」への住み替えを希望する理由として一番多かったのは、買い物や通院などに便利だからというもので、特に女性に多い傾向が見られました。二番目に多かったのは除雪が大変だからというもので、男女差はそれほどありませんでしたが、高齢者に特に多く見られました。

住み替えの実現性については、実現できると回答した方の割合は前年と比べて半減し、男女別では、女性で実現できると回答した方の割合は、男性の 1/3 以下という結果になりました。実現できない理由としては、半分以上の方が「経済的な理由」と回答しました。

住み替えの意向に関し、年代による極端な違いは見られませんが、「まちなか」への住み替え希望を実現できないことによる日常生活上の不便の程度は、年代や居住環境によって違うと思われることから、住み替えを進めるための課題などについて、分析と検討を進めます。

7. 運動の実施状況について

週 1 回以上の頻度で運動する市民の割合

56.3%

⇒詳細 P31

日常的なスポーツ活動を促すためのきっかけづくりとして、生活活動動作が健康づくりと密接な係わりがあるという意識を醸成するため、市広報やスポーツイベントを通して啓発に努めてきた結果、平成 25 年度以降、実施率が 50%を超えています。しかし、働き盛りである 40 代の実施率は例年 50%を下回っており、増加傾向にはあるものの、依然として低い水準にあります。今後もチャレンジデーやターゲットマラソン大会などのイベントを継続して開催し、より多くの方がスポーツに取り組むよう、啓発に努めます。

8. 男女共同参画の状況について

男女の地位が平等になったと感じている人の割合 **24.7%**

⇒詳細 P33

男女の地位が平等であると感じている市民の割合は 24.7%で、基準値の 19.0%を 5.7 ポイント上回っています。「男性が優遇されている」「やや男性が優遇されている」と回答した方の割合は 59.0%で、依然として高いものの、前年（69.2%）より 10.2 ポイント減少しており、引き続き、男女共同参画について考えるきっかけづくりや、「男は仕事、女は家庭」という固定的な観念を解消し、性別に関わりなく個性や能力を十分に発揮できるよう、啓発に努めます。

9. 地域情報化について

インターネットを利用している市民の割合

58.0%

⇒詳細 P35

地域情報化の状況把握と今後の施策への反映のため、インターネット利用について調査したところ、インターネット人口普及率（インターネットを利用していると回答した割合）は 58.0%という結果となりました。

前年（58.6%）を 0.6 ポイント下回る結果となったものの、直近 3 年間の推移をみると、40 代以下の利用割合はほぼ固定化している状況にあり、50 代以上の利用割合は、スマートフォンやタブレット端末の普及とともに順調に伸びてきていることから、堅調に推移していると考えられます。

今後は、地域間のデジタルデバイドの解消に向けて光通信網整備支援事業を進め、インターネット利用者の拡大に努めます。

10. 子育て支援について

子育て支援の満足度

53.7%

⇒詳細 P38

「子育てしやすいまちだと感じるか」との設問に対し、プラス評価となる「感じる」「どちらかといえば感じる」が53.7%、マイナス評価となる「感じない」「どちらかといえば感じない」が27.9%となり、プラス評価がマイナス評価を25.8ポイント上回る結果となりました。依然として高い水準を保っており、子育て支援の充実が図られてきた成果であると捉えておりますが、前年と比較すると、プラス評価の値が2.1ポイント減少しており、マイナス評価の理由として、「医療体制」の回答割合が特に高くなっていることから、かづの厚生病院の里帰り出産の受入れ停止などが影響しているものと考えられます。

11. コモッセの利用状況について

1年間に芸術鑑賞に親しんだ割合

33.5%

⇒詳細 P42

昨年1年間で芸術鑑賞を行った方は33.5%で、社会教育中期計画に掲げた目標値30%を上回る結果となりましたが、前年(38.1%)と比較すると4.6ポイント減少しました。しかし、そのうちコモッセでの鑑賞割合は84.7%で前年(75.5%)より9.2ポイント高くなっていることから、コモッセが市民へ芸術鑑賞の機会を提供する場となっていることがうかがえます。

コモッセで芸術鑑賞をしなかった理由としては「鑑賞したいものが無かった」という回答が多かったことから、今後は利用者のニーズの把握と、魅力的な芸術鑑賞機会の創出に努めます。

12. 「市議会だより」について

⇒詳細 P47

市議会だよりを「ほとんど読んでいる」「関心のある記事だけ読んでいる」と回答した方は全体の59.3%という結果となりました。

年代が若くなるほど読まれていない傾向にあり、30代では14.3%、29歳以下では18.2%の方が「存在を知らない」と回答しました。

また、自由記載欄には「関心が無い」「必要ない」といった意見のほか、「以前より読みやすくなった」「内容の工夫が必要」「分かりやすく編集してほしい」などの意見がありました。

今後は特に若い世代の市議会だよりの認知度向上と、分かりやすく、全世代に読んでもらえるような紙面づくりに努めます。

- ・市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるもの
- ・市が進めている取組の中で、もっと力を入れて欲しいと感じるもの

効果が得られていると感じるものとして、最も高い評価を得た施策は例年同様「子育て支援の充実」で、継続して行ってきた取り組みのほか、コモッセでの託児サービスの充実や、高校生までのマル福の引き上げが評価されました。2位以下の施策もほとんど例年と同様であるものの、「高齢者福祉の充実」では新たに2施設が整備されたことが評価され、「観光の振興」では花輪ばやしがユネスコの文化遺産に登録されたことで、それぞれ順位に変動があったと考えられます。

また、もっと力を入れて欲しいと感じる施策については、「雇用の安定」については若い人の働く場の確保と職場環境や雇用体制の改善、「地域医療体制の充実」については里帰り出産の受入れ停止、産婦人科の集約化も理由として挙げられ、例年に引き続き高い数値となっています。このことから、市民一人ひとりが安心と活力を感じられる取組を強化していくことが必要です。

どちらの設問も上位の施策はほとんど例年と変わっていないため、効果が得られていると感じるものについては継続して成果が表れているものと考えますが、もっと力を入れて欲しいと感じるものについては、改善に向けた取組が必要です。これらの施策について、今後も引き続き重点的かつ戦略的に取り組んでいきます。

【 効果が得られていると感じるもの 】

	H 2 8	H 2 7	H 2 6
第1位	子育て支援の充実	子育て支援の充実	子育て支援の充実
第2位	高齢者福祉の充実	健康づくりの推進	健康づくりの推進
第3位	健康づくりの推進	高齢者福祉の充実	高齢者福祉の充実
第4位	観光の振興	スポーツ環境の充実	スポーツ環境の充実
第5位	スポーツの推進	観光の振興	観光の振興

【 もっと力を入れて欲しいと感じるもの 】

	H 2 8	H 2 7	H 2 6
第1位	雇用の安定	雇用の安定	雇用の安定
第2位	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実	地域医療体制の充実
第3位	商店街の活性化	商店街の活性化	学校教育の充実
第4位	学校教育の充実	地域産業の活性化	商店街の活性化
第5位	子育て支援の充実	観光の振興	観光の振興

IV 設問別集計結果

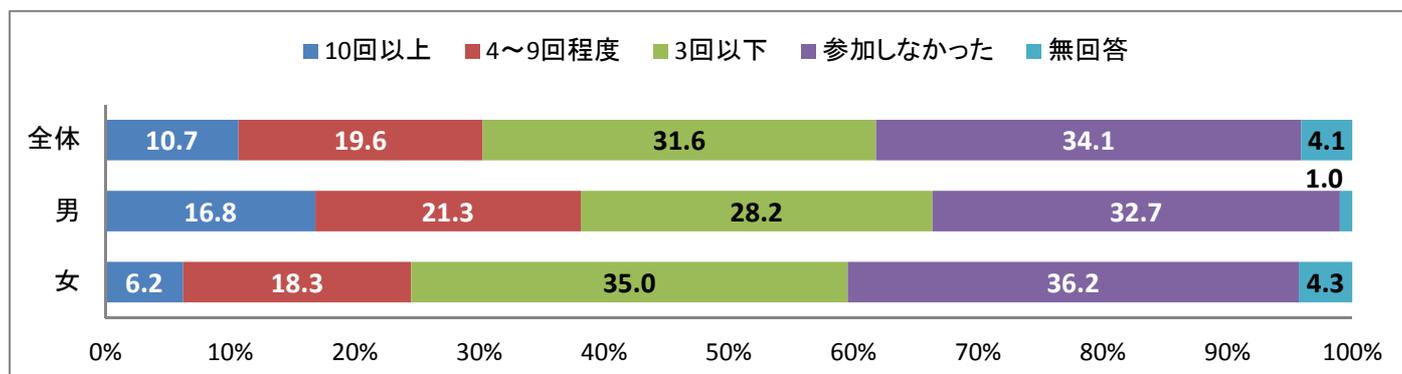
[Redacted content]

1 地域コミュニティについて

設問② あなたは、昨年1年間に社会活動や地域活動（ボランティア活動、自治会活動など）にどの程度参加しましたか。

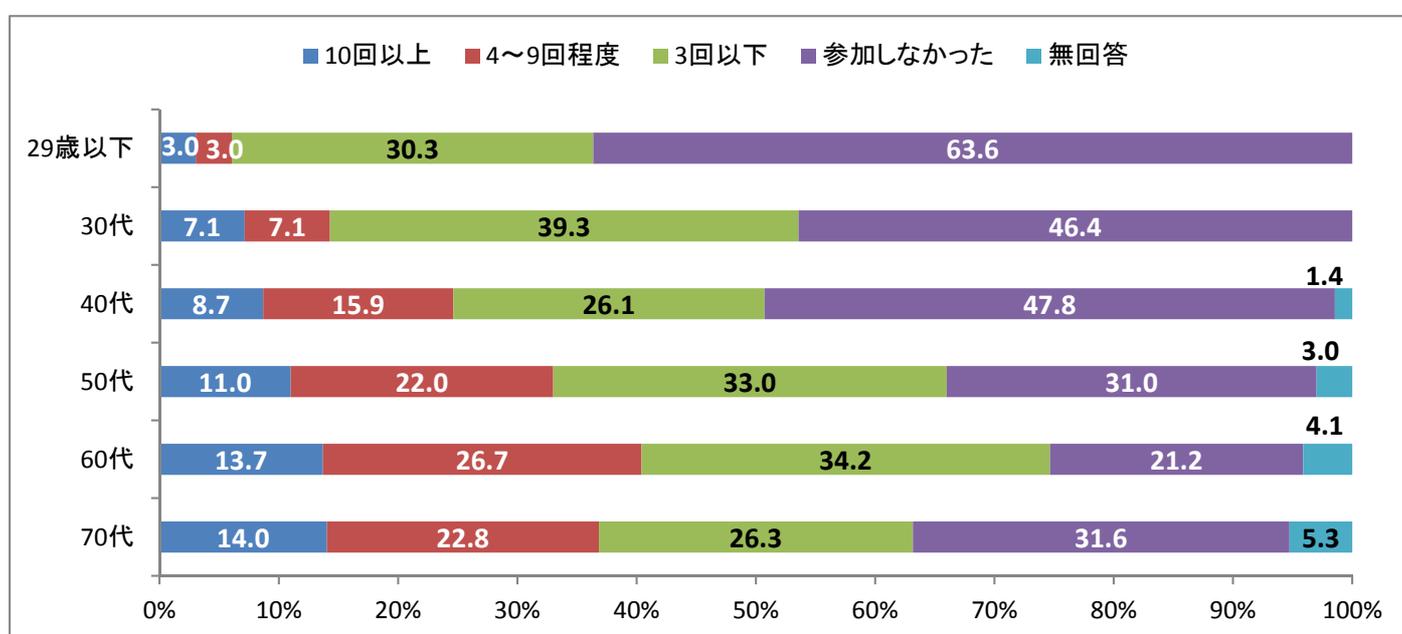
①全体／男女別

[単位：%]



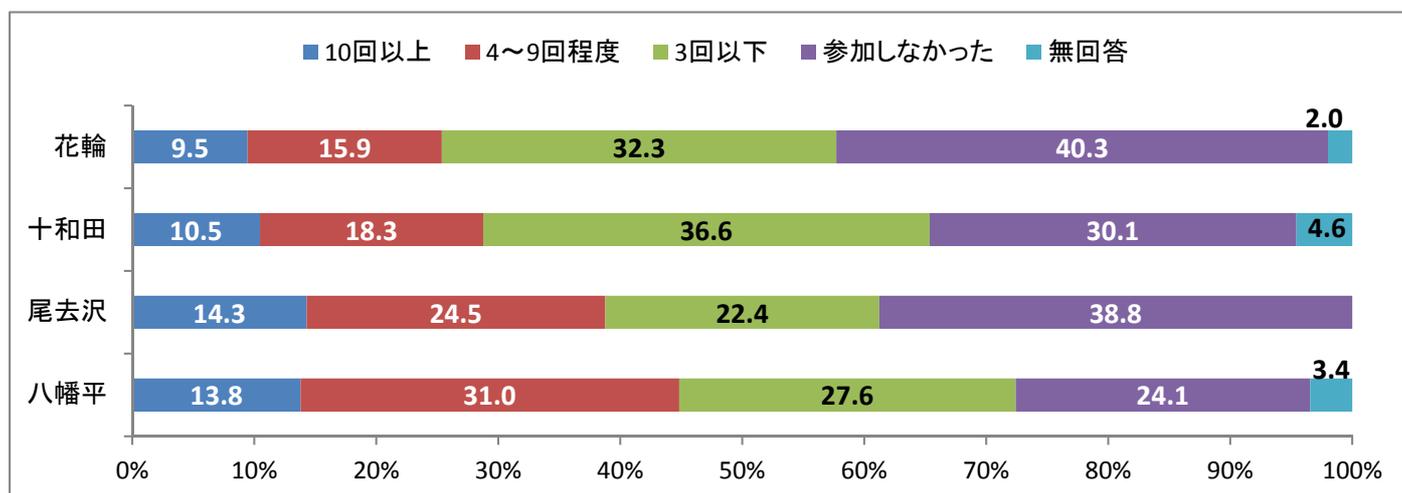
②年代別

[単位：%]



③地区別

[単位：%]



④分析結果

市民が昨年1年間に社会活動や地域活動へ参加した割合は、61.9%となり、前年(67.5%)を5.6ポイント下回っています。

男女別で見ると、参加割合が男性では66.3%、女性は59.5%と、男性が6.8ポイント上回っています。

年代別で見ると、60代以外の全ての世代で、参加割合が基準値である70.5%を下回っています。29歳以下については、参加割合は36.3%で前年(25.0%)を11.3ポイント上回りましたが、40代と50代ではどちらも前年から15ポイントほど減少しており、全体の参加割合の減少に大きく影響しています。

地区別に見ると、十和田地区では参加割合が前年から3.1ポイント増加したものの、その他の地区ではいずれも減少しており、特に八幡平地区では15.2ポイントと減少の幅が大きくなっています。

今後は地域コミュニティのさらなる活性化を目指し、多くの世代の参加につながる社会・地域活動を支援します。

〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

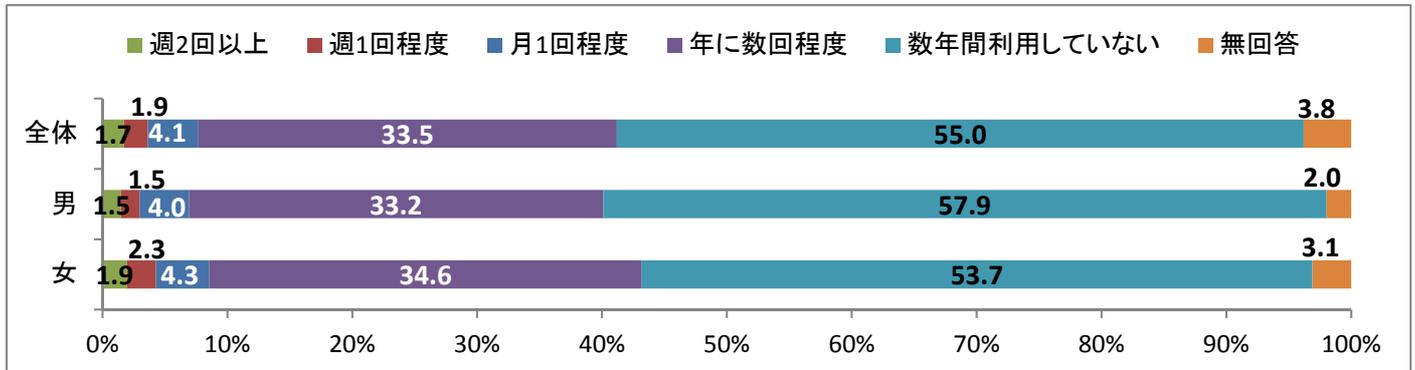
成果指標	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H32)
社会活動や地域活動(ボランティア活動・自治会活動など)に参加した市民の割合	70.5%	61.9%	75.0%

2 公共交通について

設問③-1 バス（予約型乗合タクシー含む）または鉄道（以下、「公共交通機関」といいます。）の利用頻度として、当てはまるものを一つ選んでください。

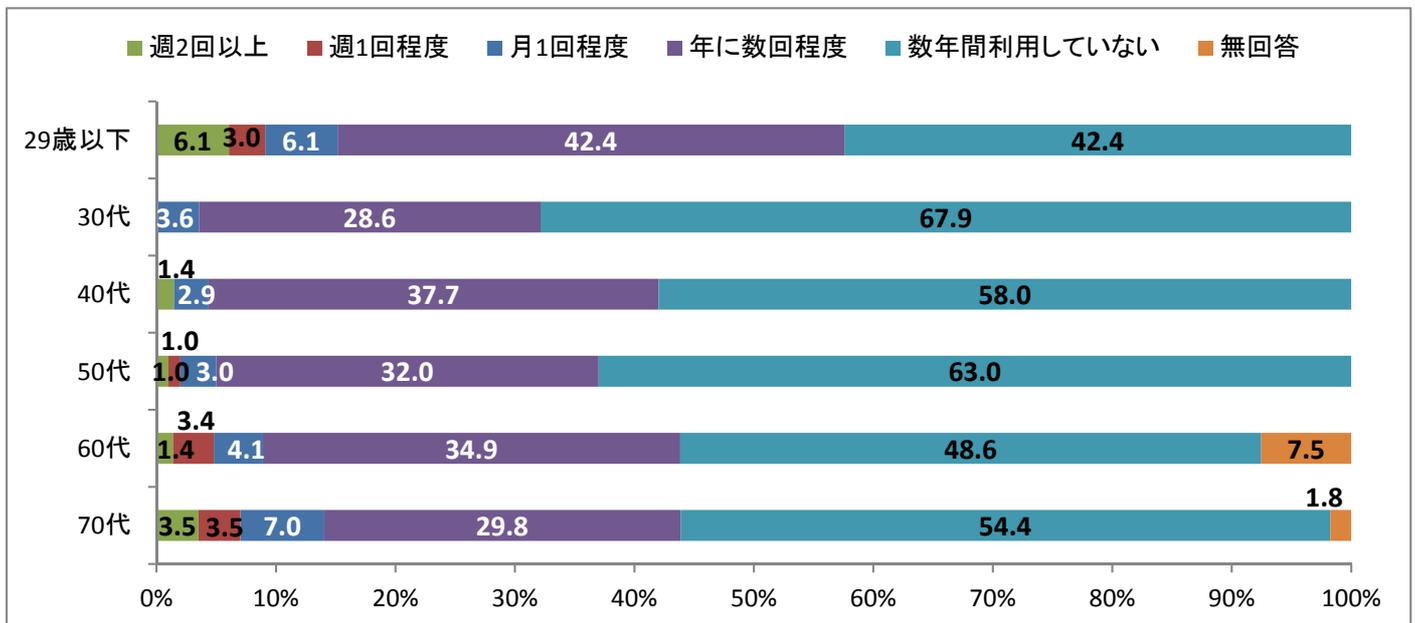
①全体／男女別

[単位：％]



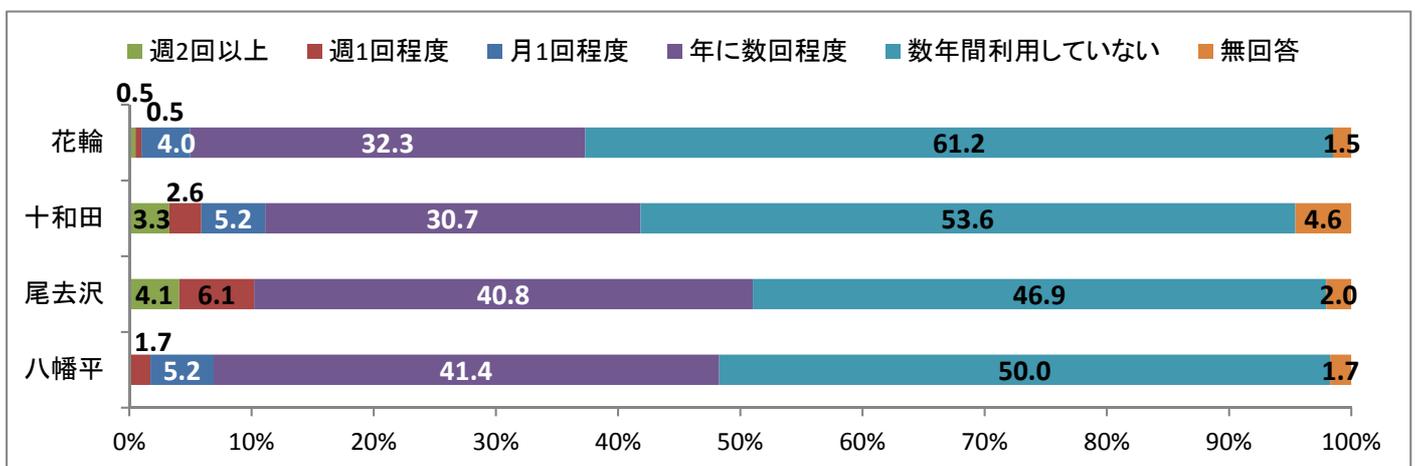
②年代別

[単位：％]



③地区別

[単位：％]



④分析結果

公共交通機関を数年間利用したことがないと回答した方の割合は 55.0%となり、前年（55.8%）を 0.8ポイント下回りました。年に数回程度利用と回答した方と合わせると、9割程度の方が自家用車を日常の移動手段としていると考えられます。

年代別では、年に数回程度利用と回答した方と利用したことがないと回答した方の割合は、どの年代でも差は見られない状況となっています。

月1回以上の利用者を見ると全体では7.7%にとどまっていますが、29歳以下と70代の方が多く利用しており、地区別では十和田地区と尾去沢地区が多くなっています。

週2回以上の利用者は1.7%と大変少ないものの、延べ利用数としては大きな需要と捉えています。

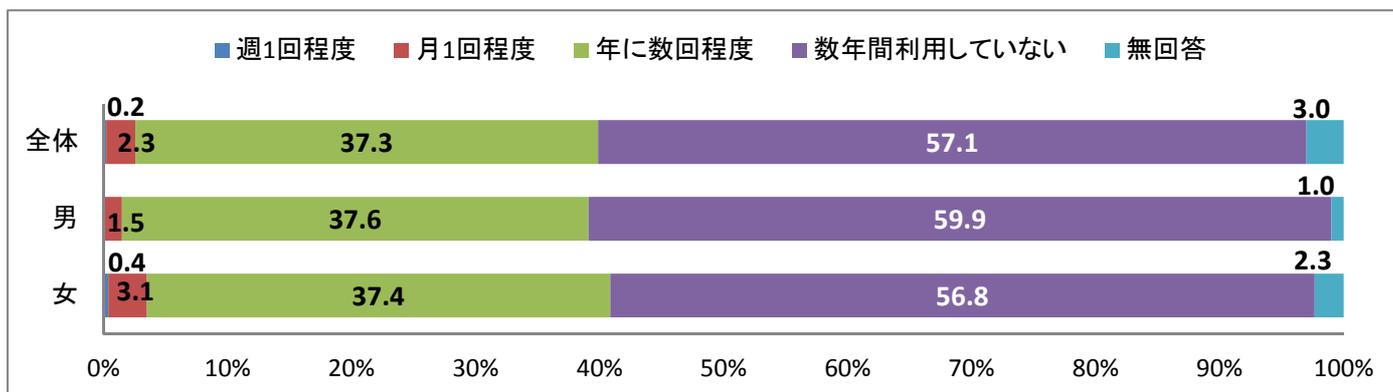
〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

成果指標	基準値 (H26)	実績値 (H28)	目標値 (H32)
数年間公共交通を利用したことが無い人の割合	58.8%	55.0%	50.0%

設問③-2 高速バスみちのく号の利用頻度として、当てはまるものを一つ選んでください。

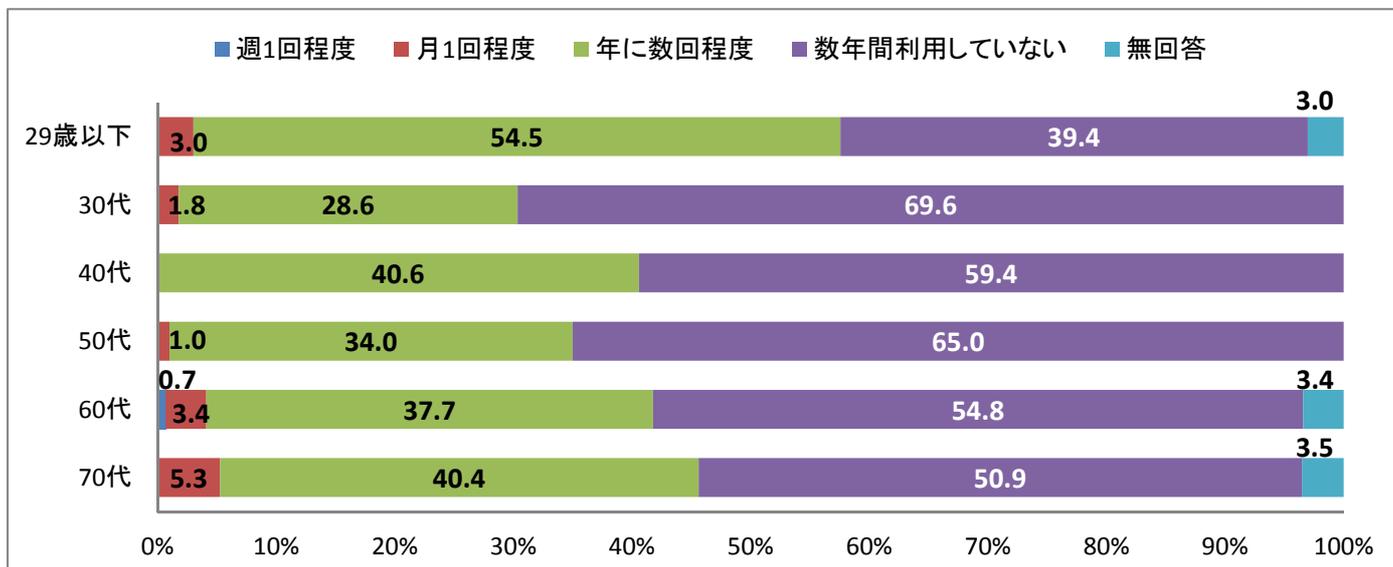
①全体／男女別

〔単位：％〕



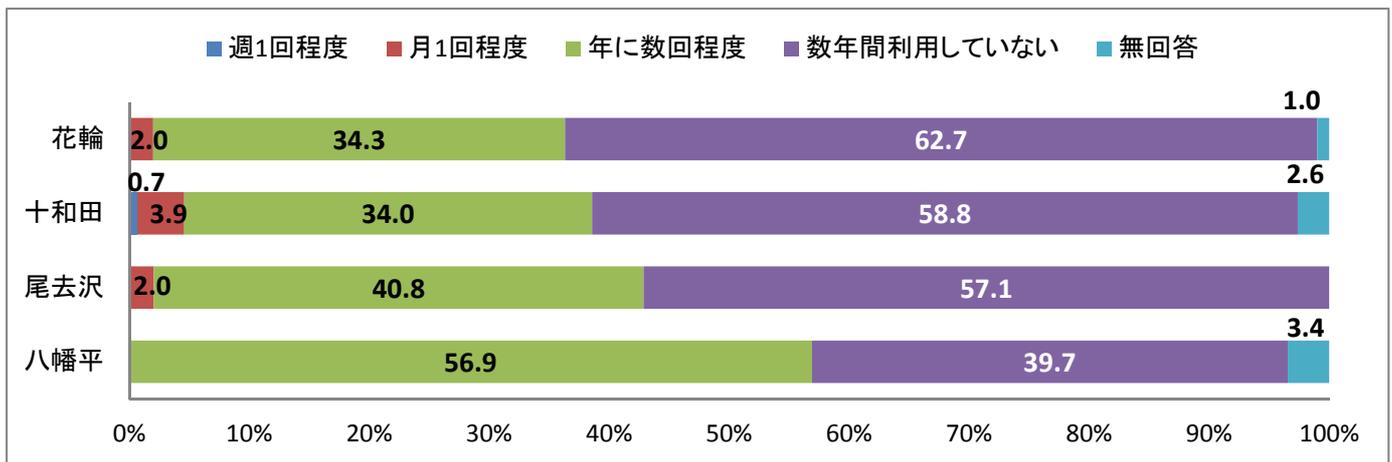
②年代別

〔単位：％〕



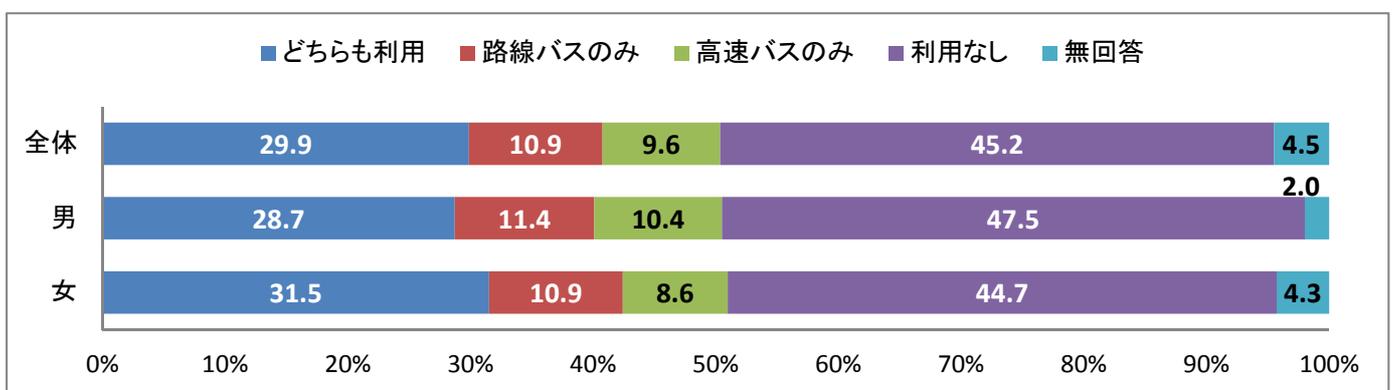
③地区別

[単位：%]



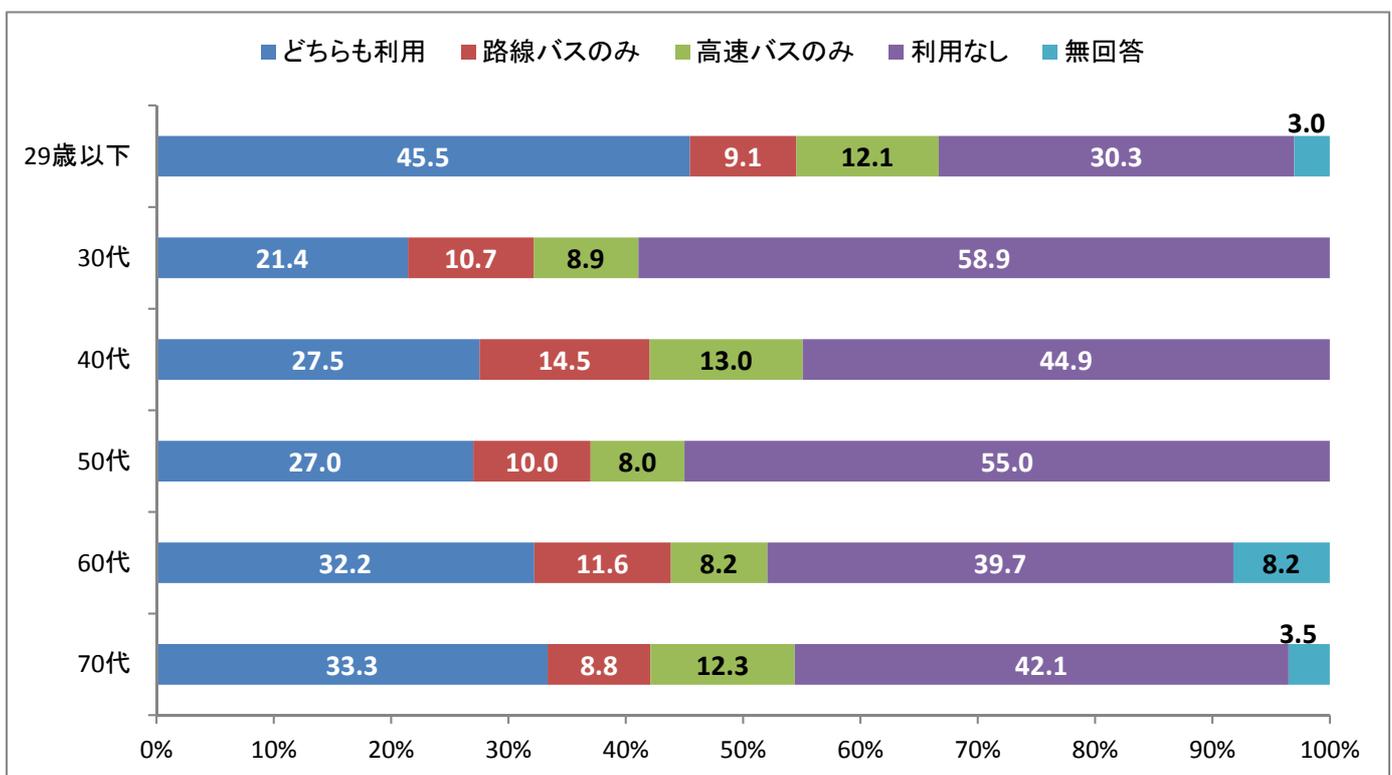
④路線バスとの関係別（全体／男女別）

[単位：%]



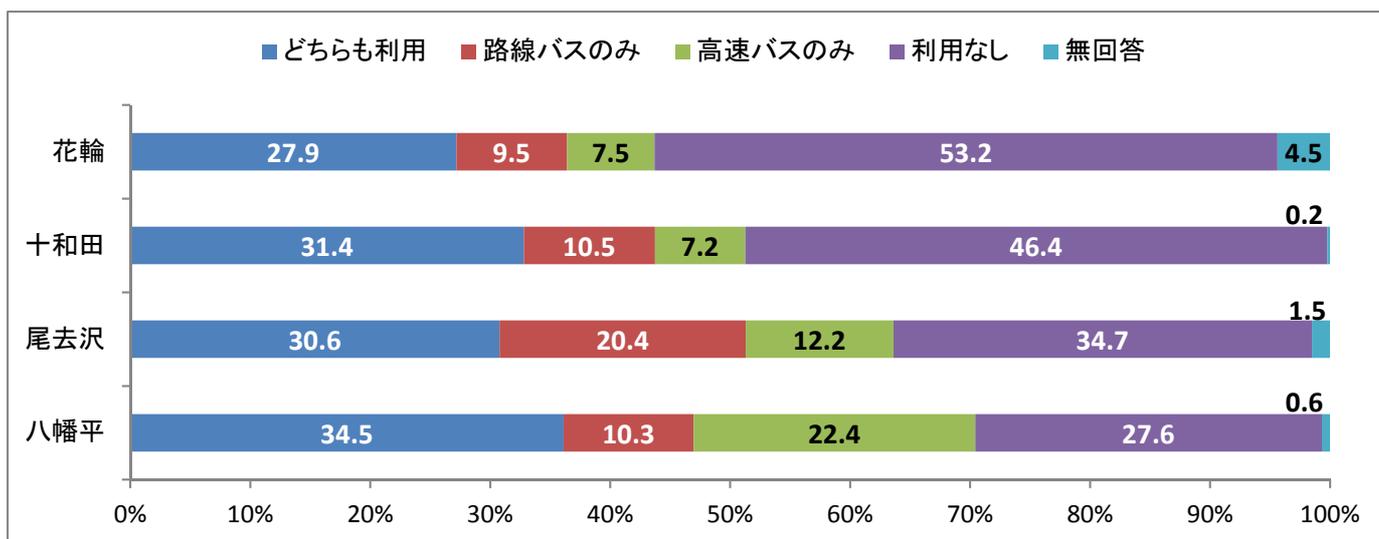
⑤路線バスとの関係別（年代別）

[単位：%]



⑥路線バスとの関係別（地区別）

[単位：％]



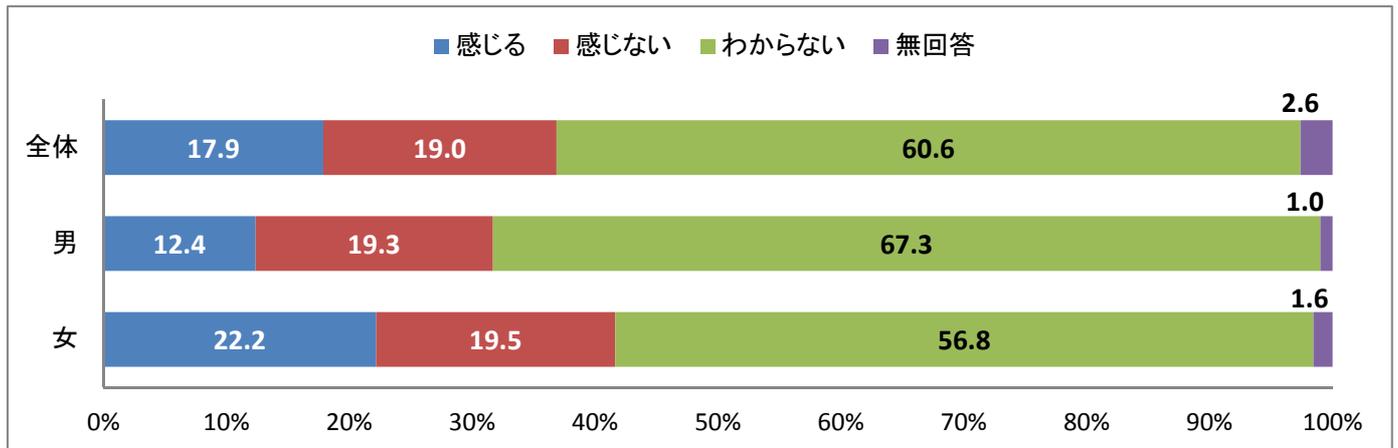
⑦分析結果

全体で、路線バスと高速バスの両方を年に数回以上利用している方の割合は29.9%、路線バスのみを利用している方が10.9%、高速バスのみを利用している方が9.6%となっています。市内の移動（毛馬内～湯瀬PA間）に高速バスを利用している方は、普段の移動に路線バスも利用していることが多いと推測されるため、高速バスのみを利用している方は、市外への移動のために利用している場合がほとんどであると考えられます。

設問③-3 あなたは、普段の生活の中で、バスや鉄道などの公共交通機関による移動に不便を感じていますか。

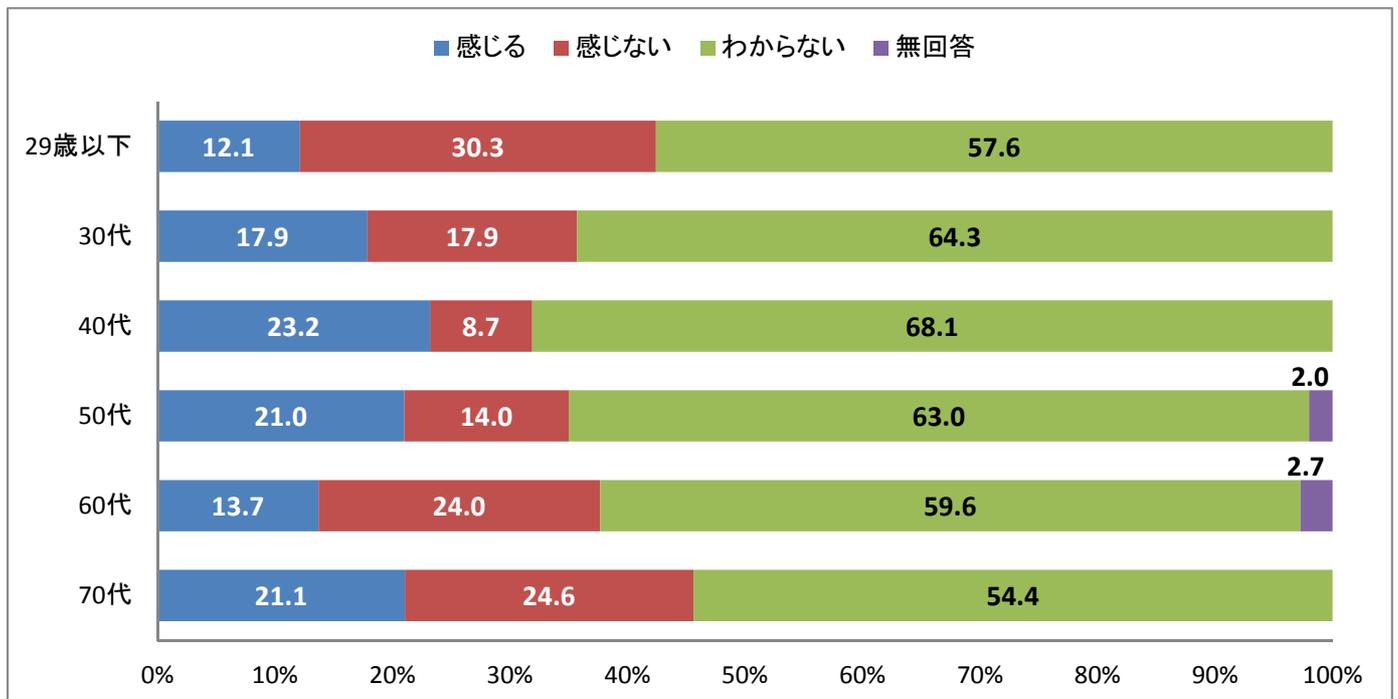
①全体／男女別

[単位：％]



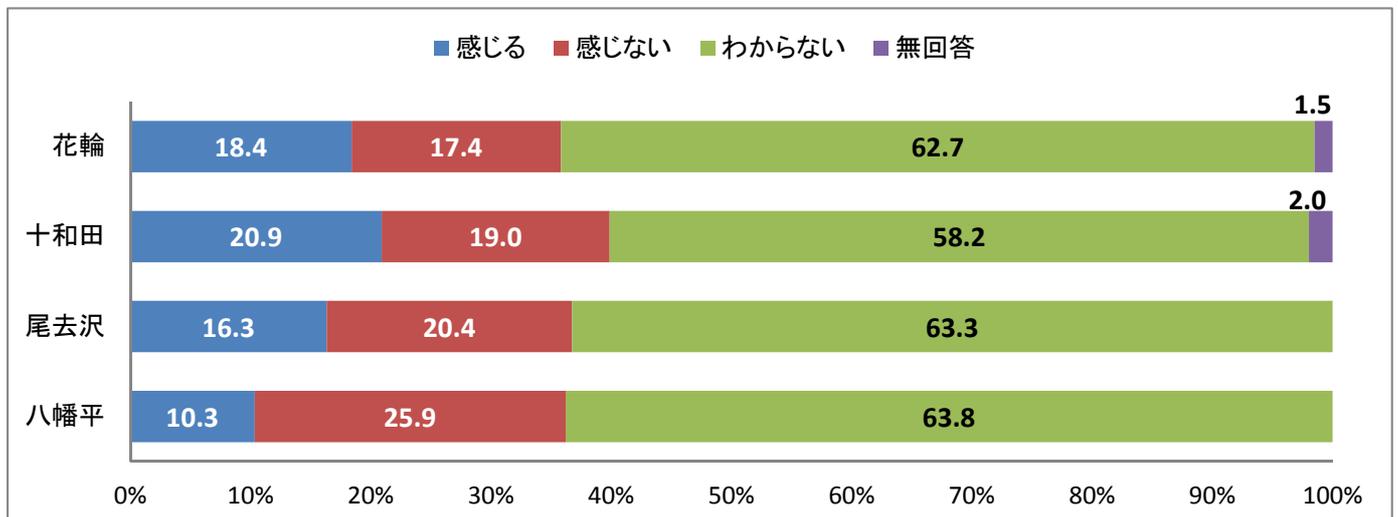
②年代別

[単位：％]



③地区別

[単位：％]



④分析結果

公共交通に不便を感じると回答した割合は 17.9%で前年（16.8%）を 1.1 ポイント上回りました。理由としてはバス、鉄道とも「本数が少ない」「土日、祝日の運行が無い」が圧倒的に多く、他に最終便の時間が早いことや乗り換えの不便さが挙げられています。

年代別で見ると、不便を感じる方の割合を前年と比較した場合、50代では 1.2 ポイント減少していますが、その他の年代では増加しており、特に 40代と 70代ではいずれも 6 ポイントほど増加しており、他の年代と比べて増加の幅が大きくなっています。

いずれの年代でも本数の少なさが理由として最も多く挙げられましたが、40代からは、子どもの通学に利用しづらい、70代からは、将来的に車の運転ができなくなった時のことを考えると不安だという意見が寄せられたことがそれぞれ特徴的でした。

また、公共交通が不便かどうか、「あまり利用しないのでわからない」との回答が 60.6%と依然として高く、普段、利用しない方からはあまり関心が向けられていないことがうかがえます。

〔参考〕地域公共交通網形成計画評価指標と実績値

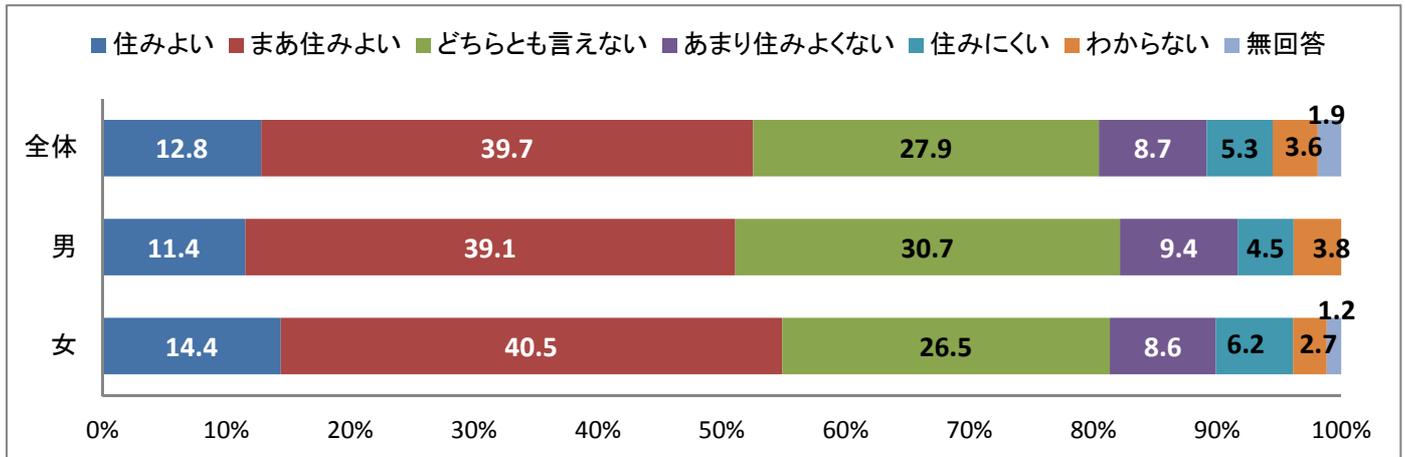
評価指標	基準値(H27)	実績値(H28)	目標値(H32)
公共交通に不便を感じる市民の割合	17.8%	17.9%	15.0%

3 住みごころについて

設問④ あなたにとって、鹿角市の住みごころはどうか。

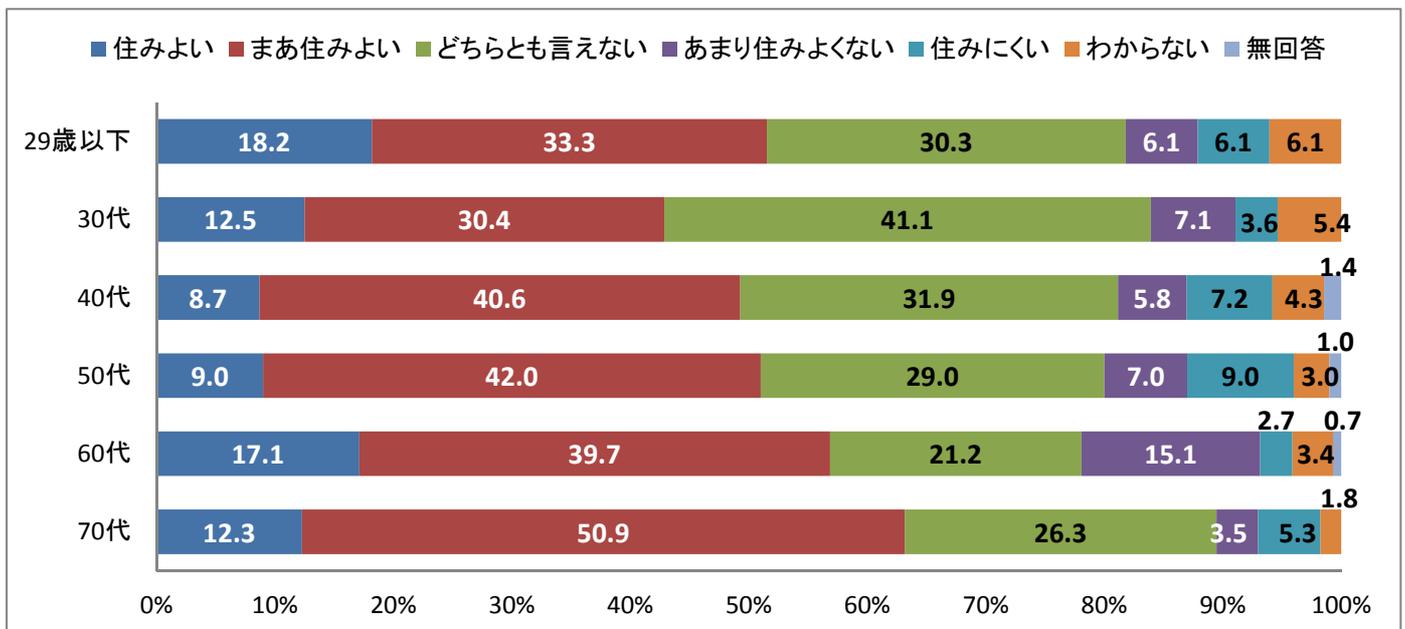
①全体／男女別

[単位：％]



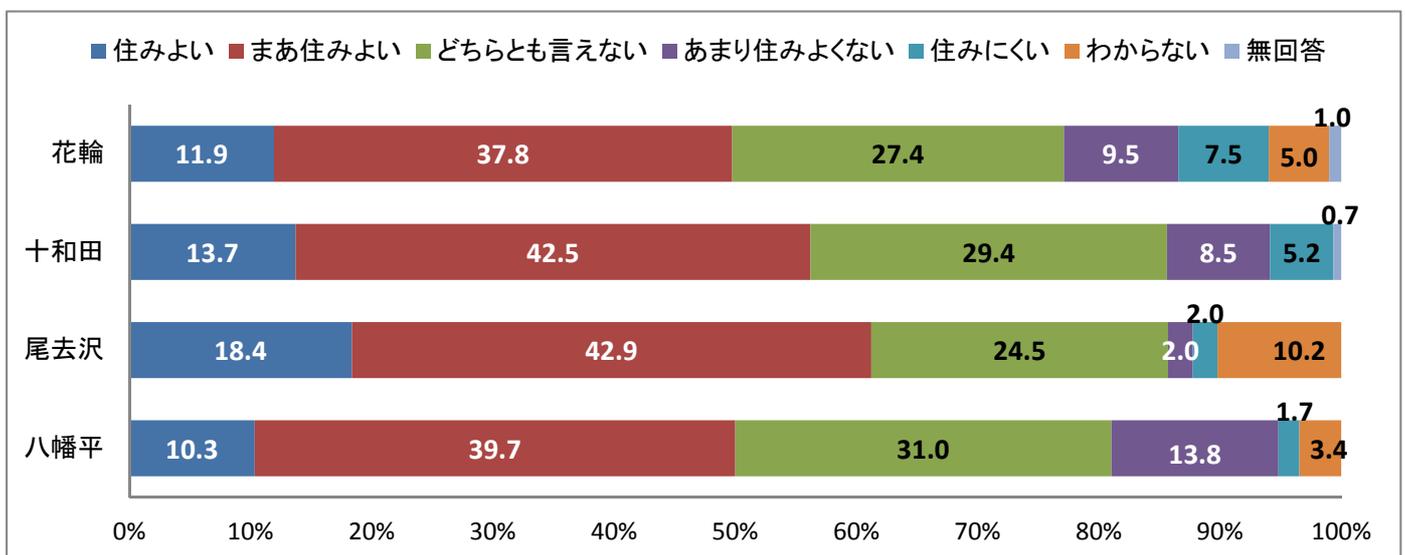
②年代別

[単位：％]



③地区別

[単位：％]



④分析結果

「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方は52.5%であり、「あまり住みよくない」「住みにくい」の14.0%を大きく上回っているものの、前年(55.2%)から2.7ポイント減少し、基準値を下回る結果となりました。

年代別では70代が63.2%と最も高く、60代が二番目に高いという結果になりました。その他の世代では、29歳以下、40代、50代はいずれも50%前後でそれほど大きな差はないものの、30代が42.9%で最も低い結果となりました。また、60代ではプラスの評価が比較的多いものの、「あまり住みよくない」と回答した方も他の年代と比べてかなり多い結果となりました。

地区別では、尾去沢地区では6割を超える方が「住みよい」「まあ住みよい」と回答しましたが、花輪、八幡平地区では50%前後という結果になっており、地域間で若干の差が見られました。花輪地区ではコモッセなど公共施設の整備は進んでいるものの、プラス評価が前年から10ポイント近く減少しており、スーパーの撤退も影響していると考えられますが、減少の理由について、今後さらに分析を行っていきます。

〔参考〕まち・ひと・しごと創生総合戦略数値目標と実績値

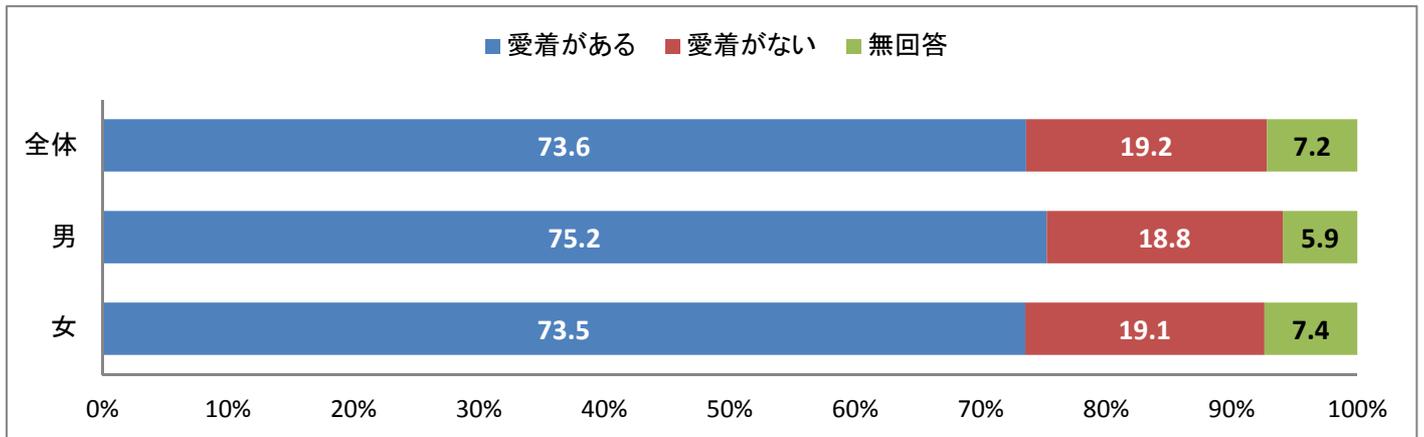
数値目標	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H31)
住みごちの満足度	54.7%	52.5%	60.0%

4 愛着について

設問⑤ あなたは、鹿角市に愛着を持っていますか。

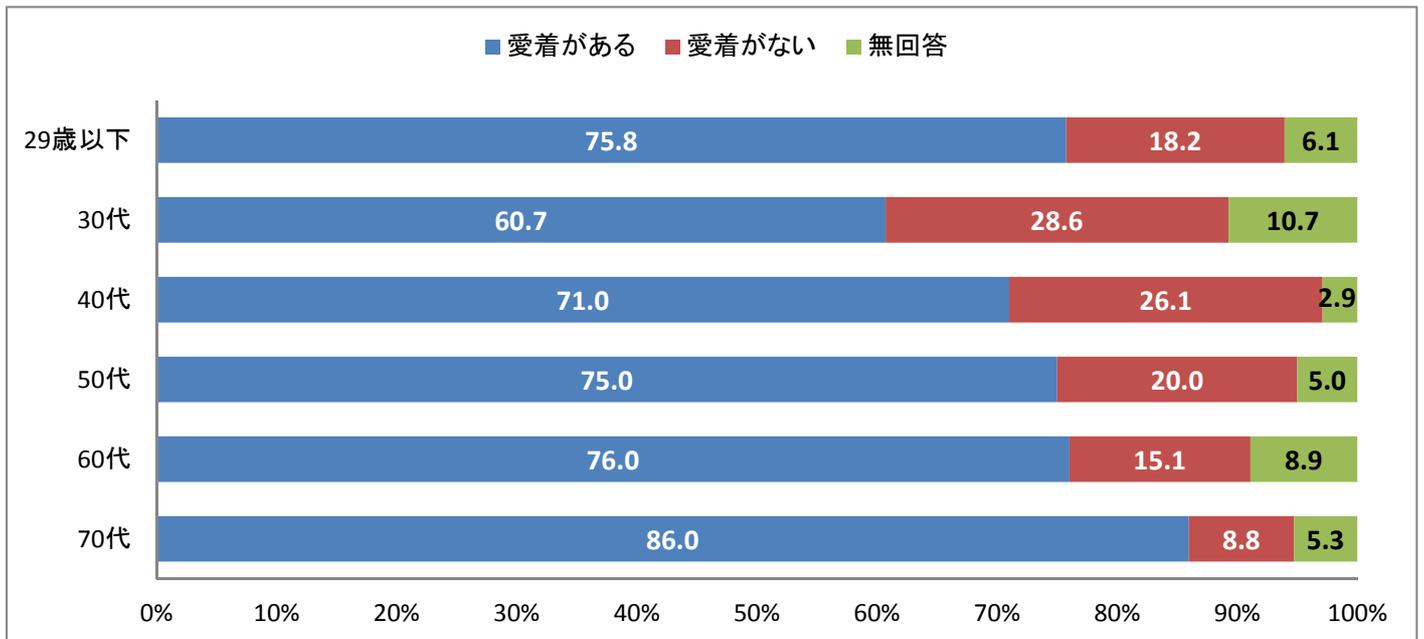
①全体／男女別

[単位：%]



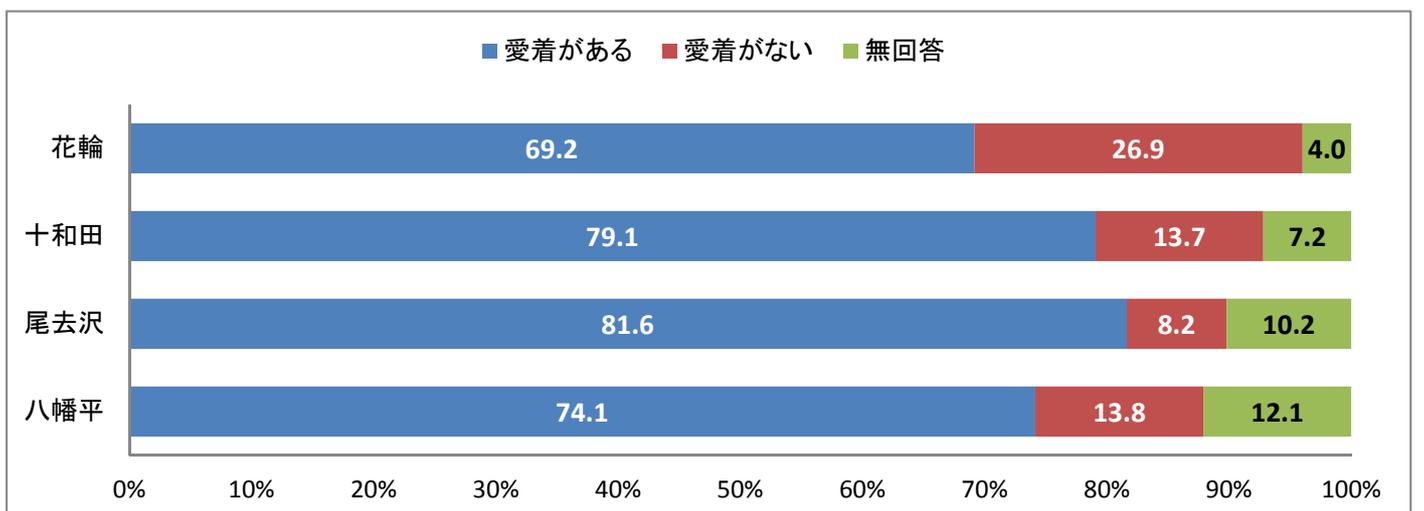
②年代別

[単位：%]



③地区別

[単位：%]



④分析結果

鹿角市に愛着がある方の割合は73.6%で、前年（77.3%）を3.7ポイント下回りました。

年代別で見ると、70代が86.0%で最も高く、年代が低くなるにつれて愛着が薄くなる傾向にありますが、29歳以下では愛着を持っている方の割合が70代、60次に次いで三番目に高くなっています。最も低いのは30代で、一つ前の「住みごごち」に関する設問と同様の順位となっています。

地区別で見ると、十和田地区では6.3ポイント増加していますが、花輪地区は前年（80.8%）を11.6ポイント下回る結果となっており、理由についてさらに分析を行っていく必要があると考えます。

〔参考〕まち・ひと・しごと創生総合戦略重要業績評価指標（KPI）と実績値

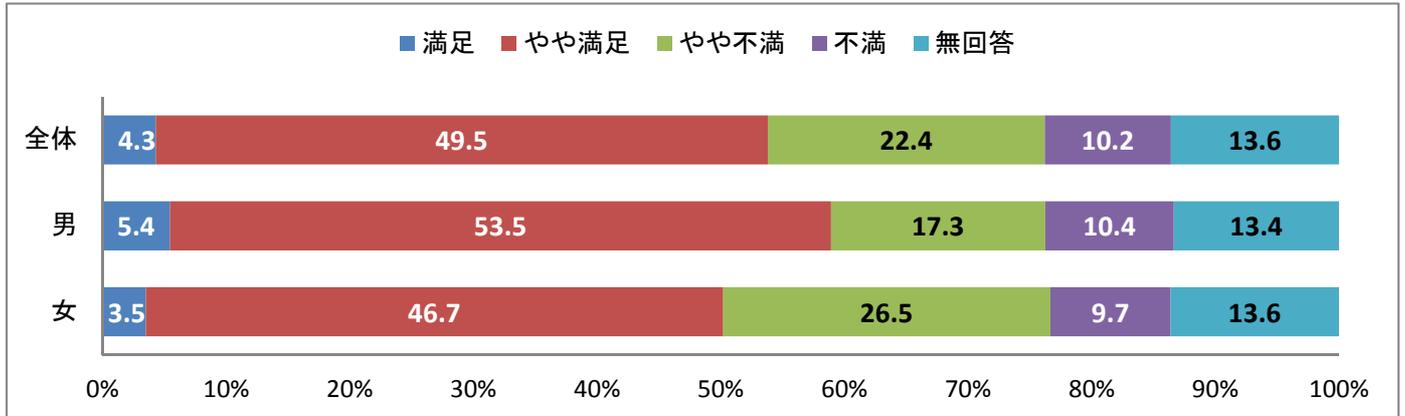
重要業績評価指標 (KPI)	基準値	実績値 (H28)	目標値 (H31)
鹿角に愛着を持つ人の割合	—	73.6%	68.0%

5 市街地の整備について

設問⑥ あなたは、花輪市街地の生活環境（住みごちだけでなく、交通の便や公共施設の配置など中心地としてのまちの便利さ）に満足していますか。

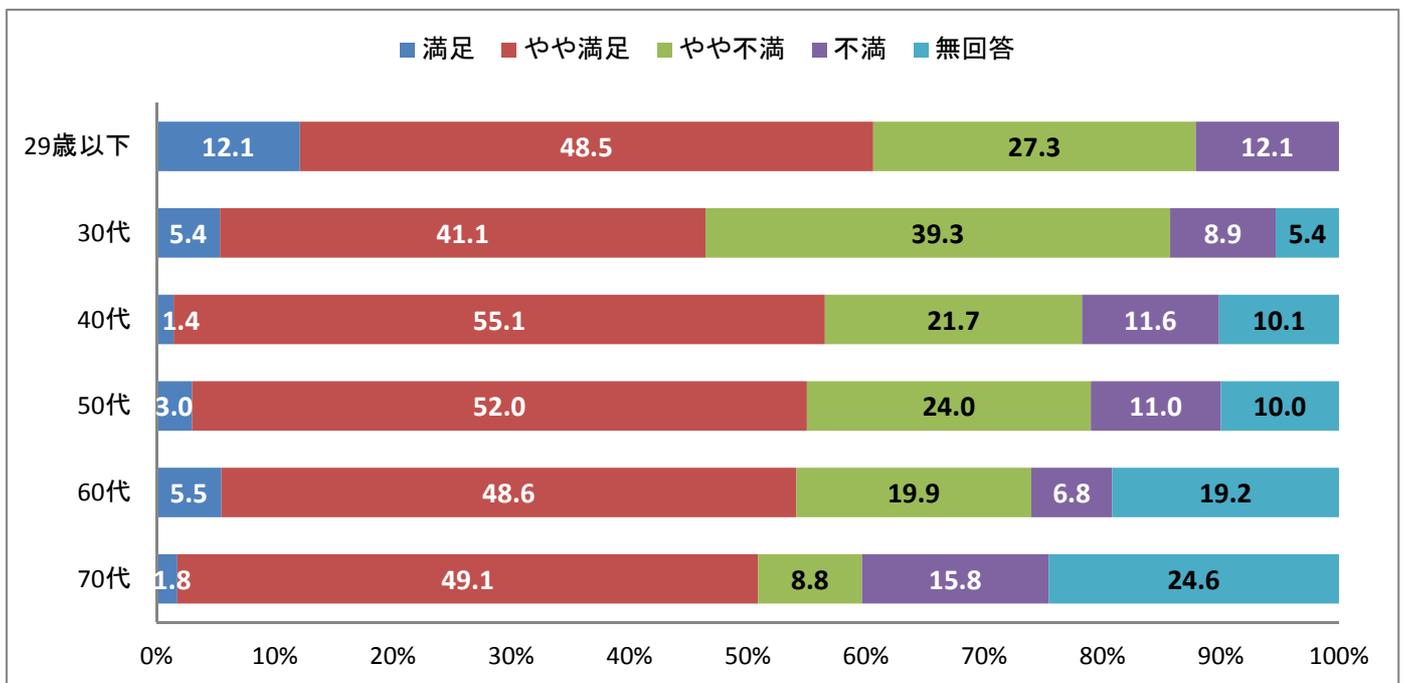
①全体／男女別

[単位：%]



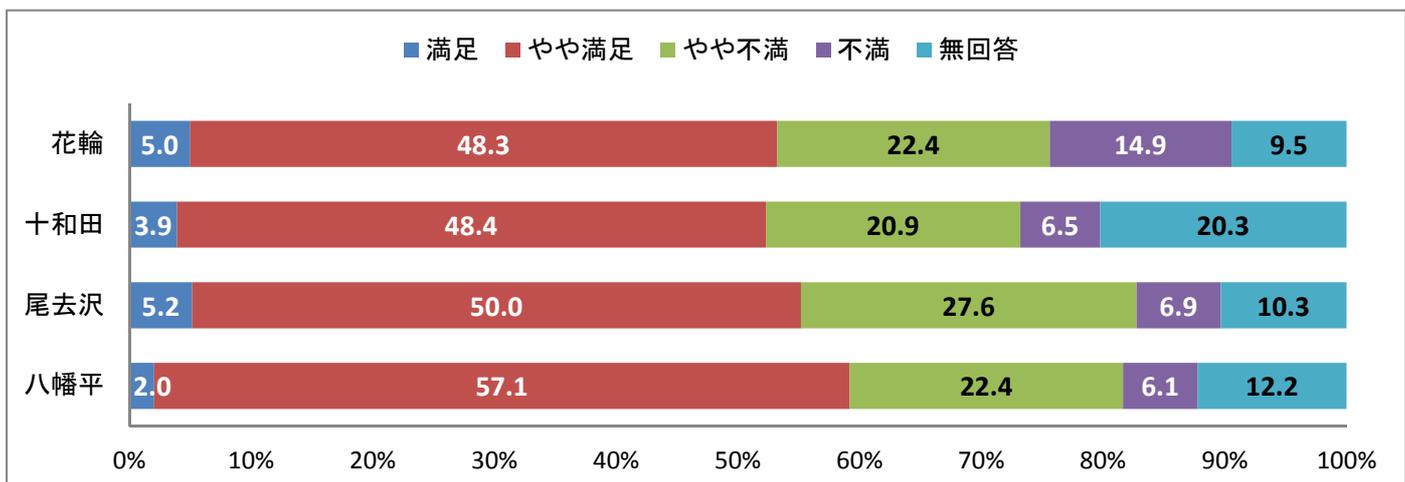
②年代別

[単位：%]



③地区別

[単位：%]



④分析結果

花輪市街地の環境について、「満足」「やや満足」と回答した割合は 53.8%で前年（59.0%）を 5.2 ポイント下回りました。

年代別で「やや不満」「不満」と回答された方は、30 代の 48.2%が最も高く、29 歳以下の 39.4%、50 代の 35.0%と続いており、いずれも前年の数値を上回りました。

地区別では、花輪地区が前年から 11.9 ポイント減少しており、スーパーの数が減り、買い物が不便になったことが理由として多く挙げられました。

不満を感じる理由としては「買い物できる場所、遊ぶ場所がない」が最も多く、「駐車場が少ない」「公共交通機関が不便」といった交通手段に関わるものが次いで多くなっています。

〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

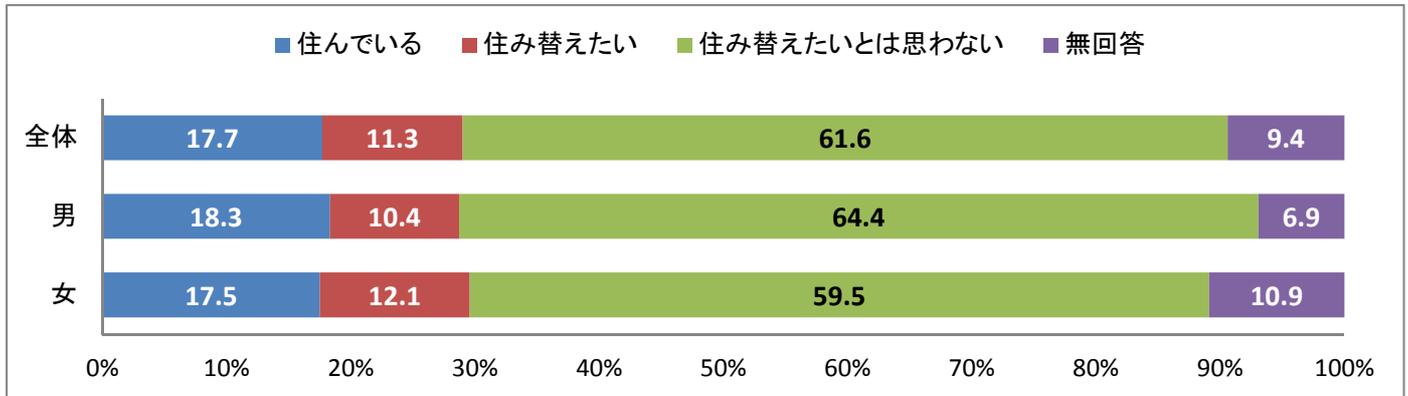
成果指標	基準値 (H24~H26 平均)	実績値 (H28)	目標値 (H32)
中心市街地の環境に満足している 市民の割合	53.5%	53.8%	59.5%

6 「まちなか」への住み替えについて

設問⑦-1 あなたは将来、「まちなか」に住み替えたいと思いますか。ここでいう「まちなか」とは花輪市街地をいいます。

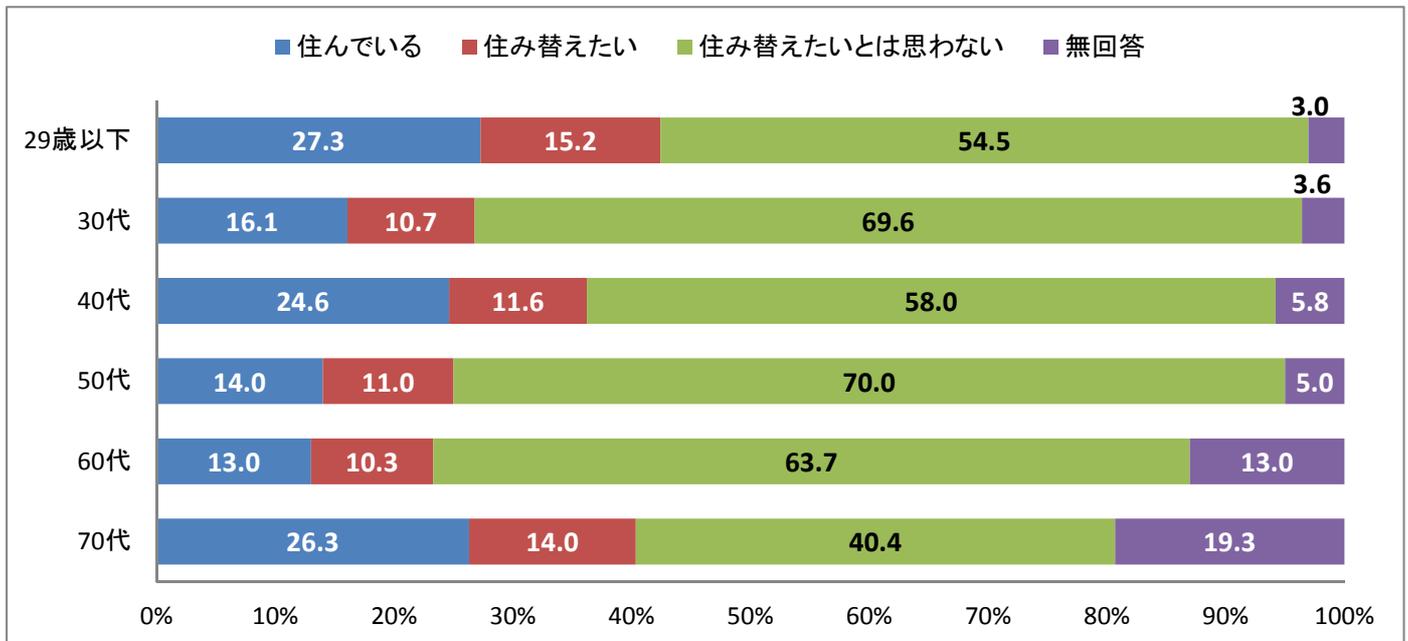
①全体／男女別

[単位：%]



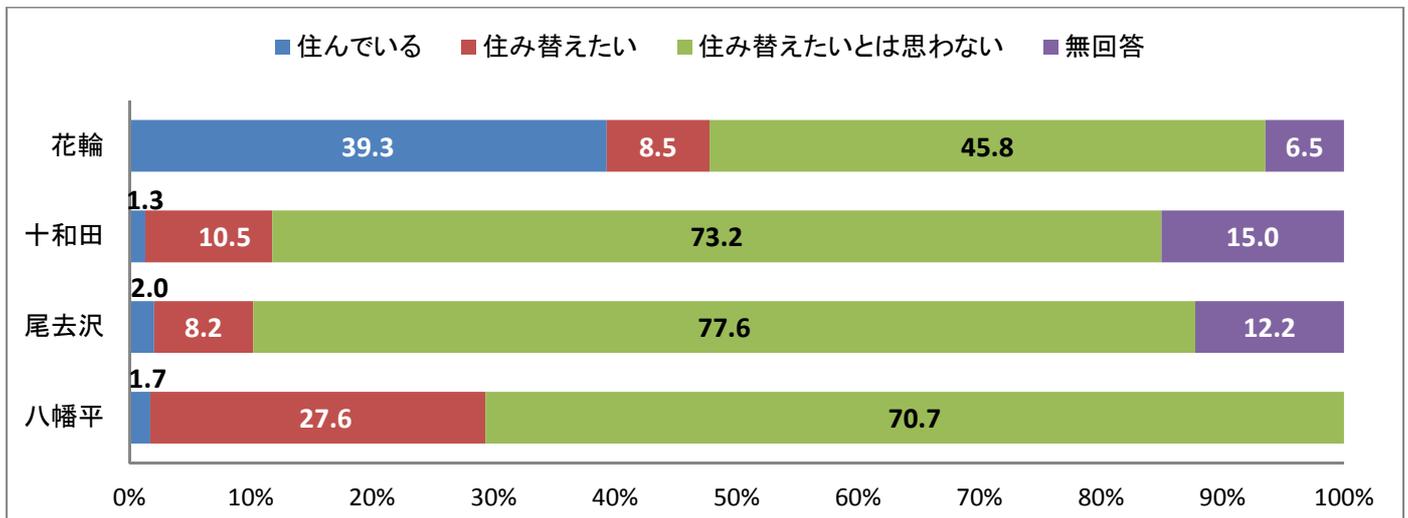
②年代別

[単位：%]



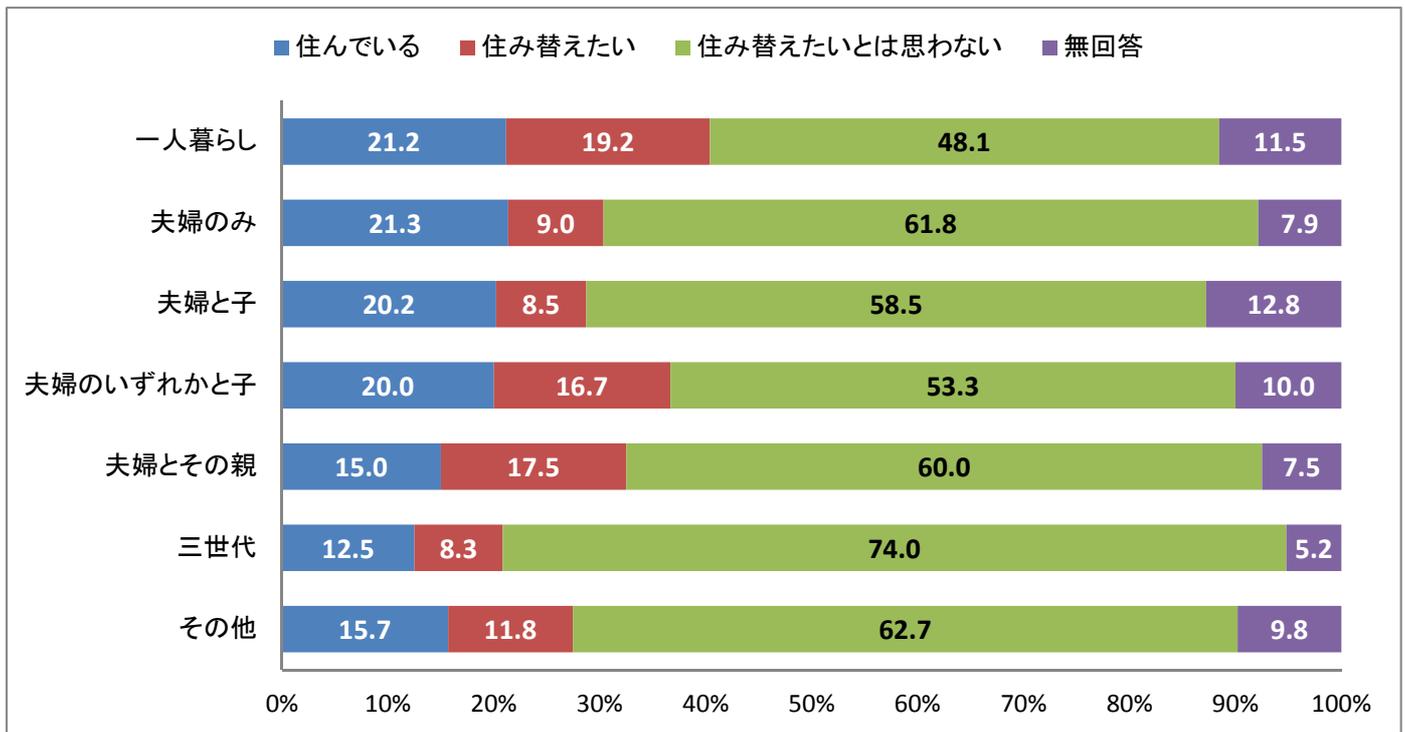
③地区別

[単位：%]



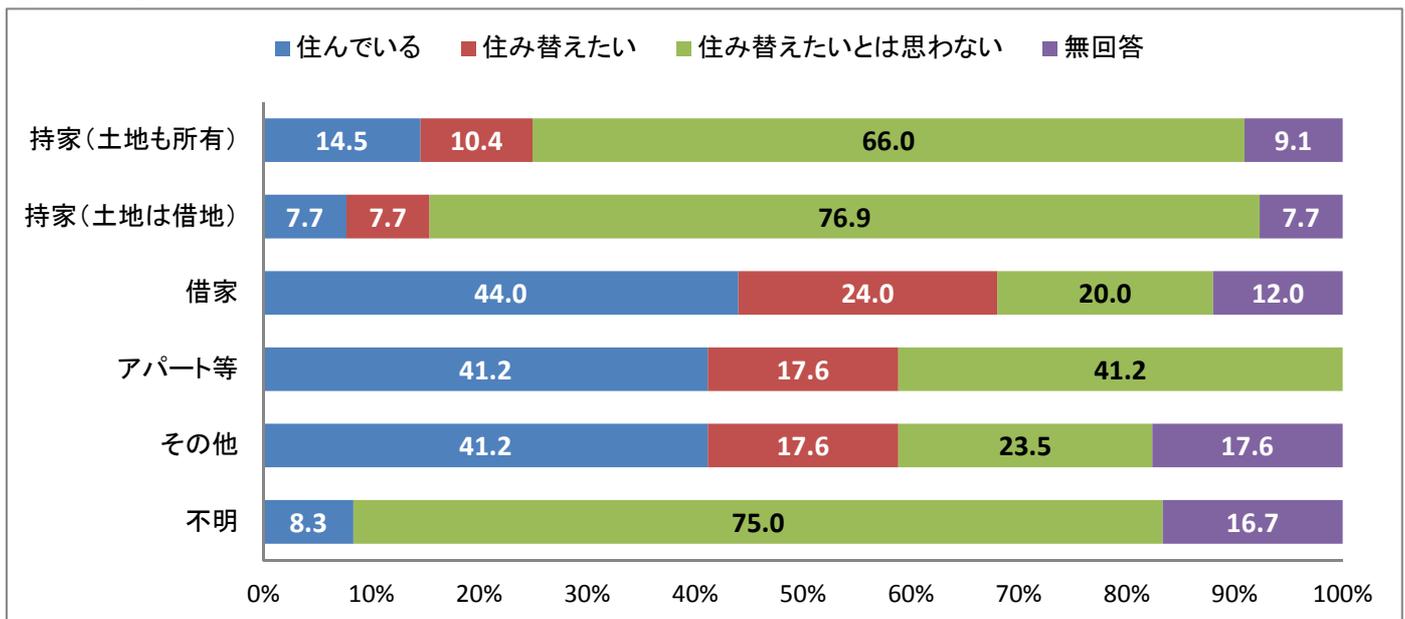
④世帯構成別

[単位：％]



⑤住居形態別

[単位：％]



⑥分析結果

「まちなか」に住み替えたいと回答した割合は全体の 11.3% (まちなかに住んでいる人を除くと 13.7%) で、「まちなか」以外に住む方の 7 割以上が住み替えたいとは思わないと回答しています。

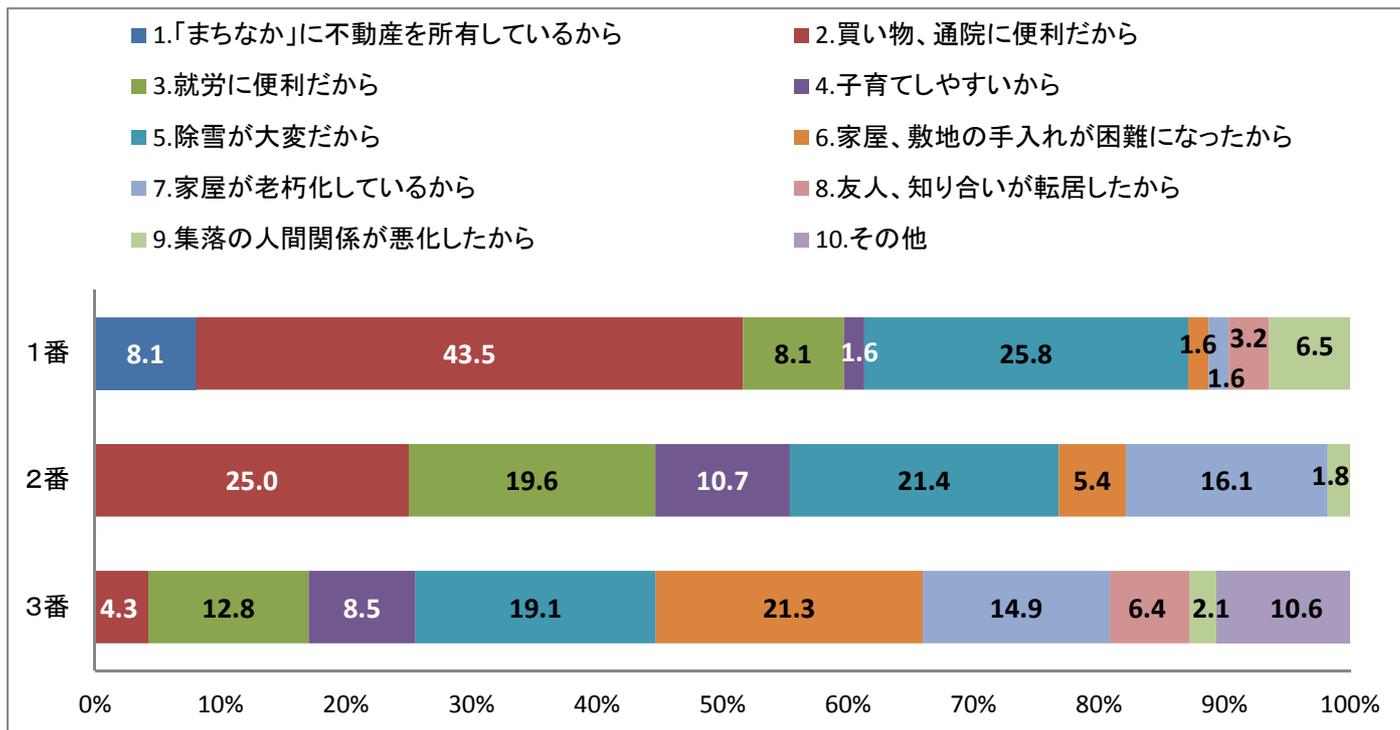
男女別ではほとんど差はありませんでしたが、年代別では 29 歳以下と 40 代、70 代で住み替えたいと回答した割合が、前年に比べ増加しています。

また、世帯構成別では、1 人暮らし世帯と母子・父子世帯で住み替え意向が強く、住居別では借家やアパートに住んでいる方は、住み替え意向が強い傾向にあります。

設問⑦-2 設問⑨-1で「2. 住み替えたい」を選んだ方におたずねします。住み替えたいと思う理由は何ですか。下表の1～10から順に3つまで選び、口に番号を記入してください。

①全体

[単位：%]

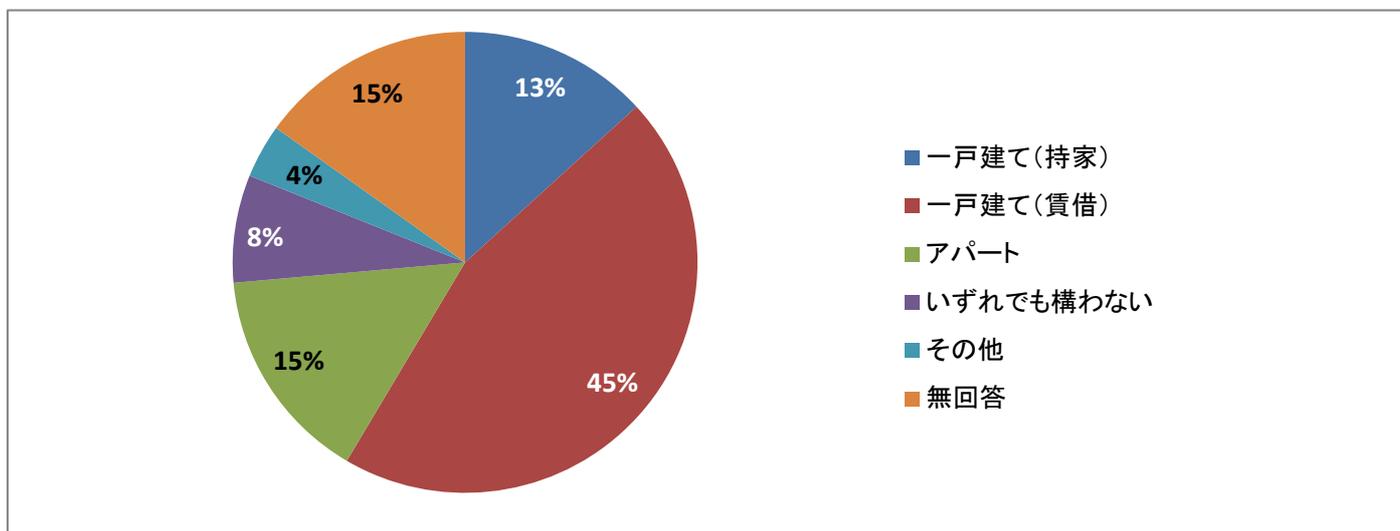


②分析結果

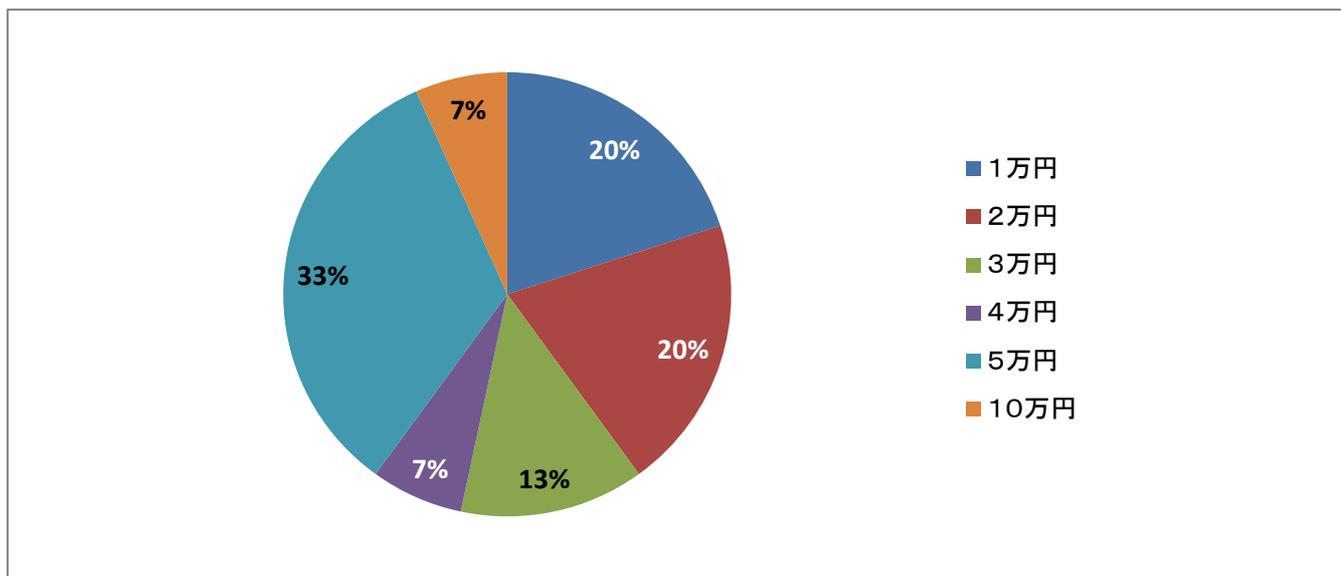
「まちなか」に住み替えたい理由を順に3つまで選んでもらいましたが、約73%の方が「買い物・病院通いに便利」と答え、女性の方が高い割合にありました。「除雪が大変」と回答した方は約67%で、60代以上の高齢者に多く、「就労に便利」と回答した方は約40%で、性別、年代によって大きな違いは見られませんでした。

設問⑦-3 設問⑨-1で「2. 住み替えたい」を選んだ方におたずねします。住み替える場合、下表の1と2についてあてはまるものそれぞれ1つに○をつけてください。また、希望する家賃や価格を記入ください。

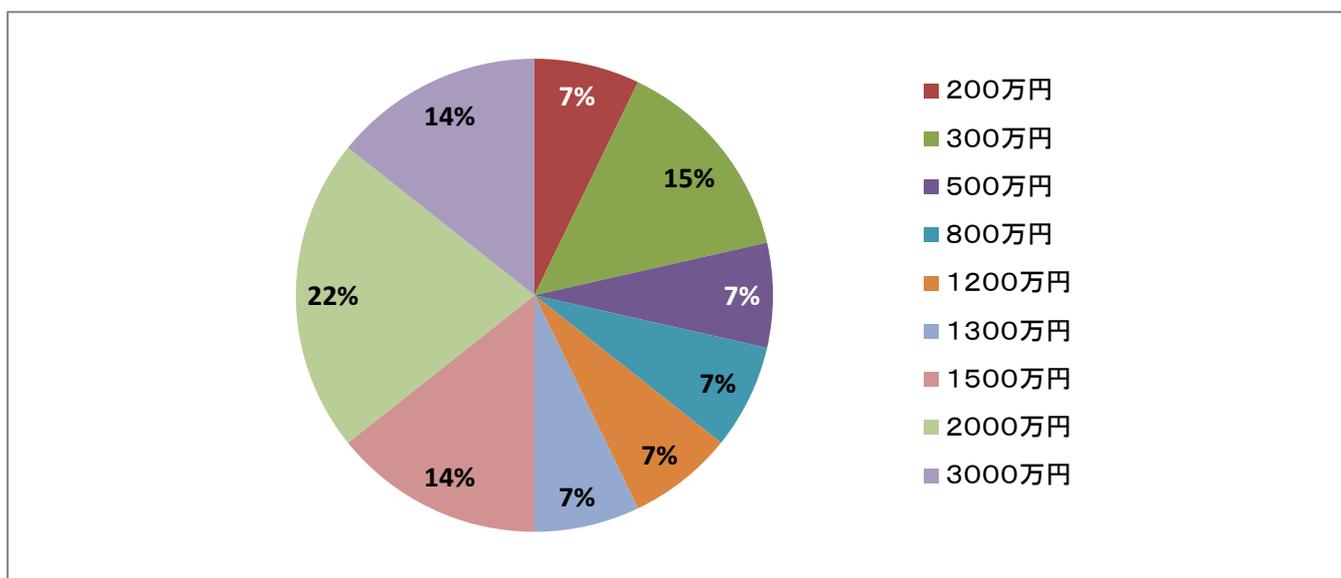
①住み替えたい住居の種類



②希望する家賃（アパート、貸家の場合）



③希望する価格（持家の場合）



④分析結果

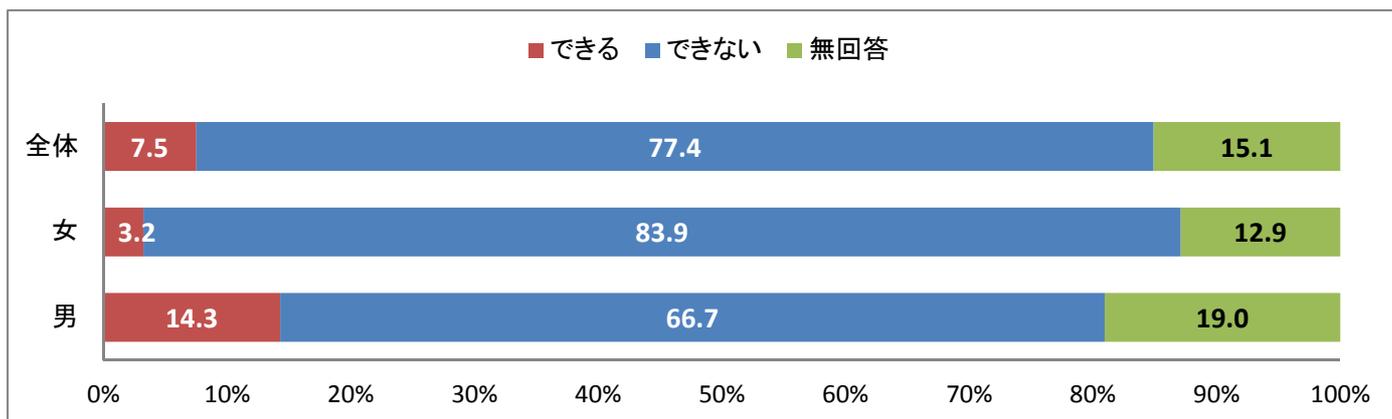
「まちなか」への住み替えにあたって希望する住居の種類は、一戸建ての貸家が45%で最も多く、それに次いでアパート、一戸建ての持家という結果になりました。年代や世帯構成による違いはそれほど見られませんが、アパートを希望する方には高齢者が多く、除雪や家屋の手入れ等の作業を負担に感じていることがうかがえました。

また、アパート、貸家の場合の希望する家賃については月5万円程度が最も多く、持ち家の場合の希望する購入価格は、2,000万円程度が最も多くなっています。

設問⑦-4 ⑦-1で「2. 住み替えたい」を選んだ方におたずねします。「まちなか」への住み替えの希望は実現できそうですか。

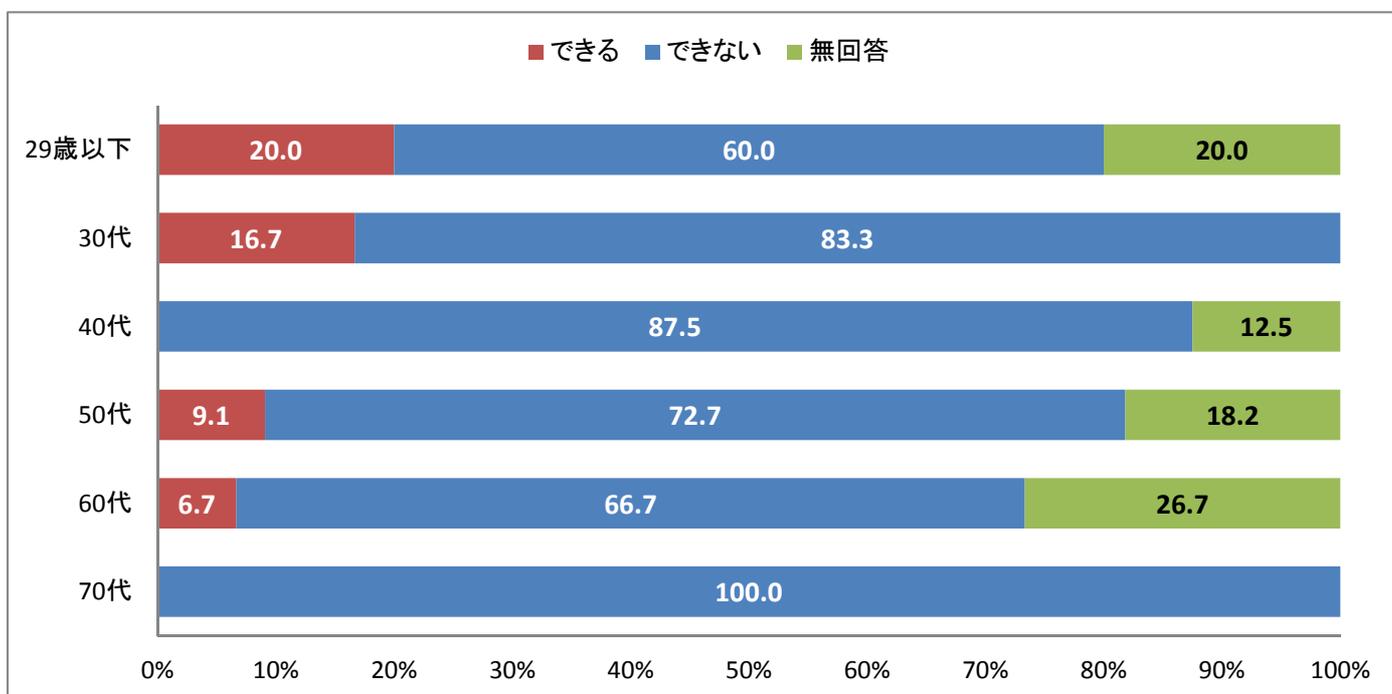
①男女別

[単位：%]



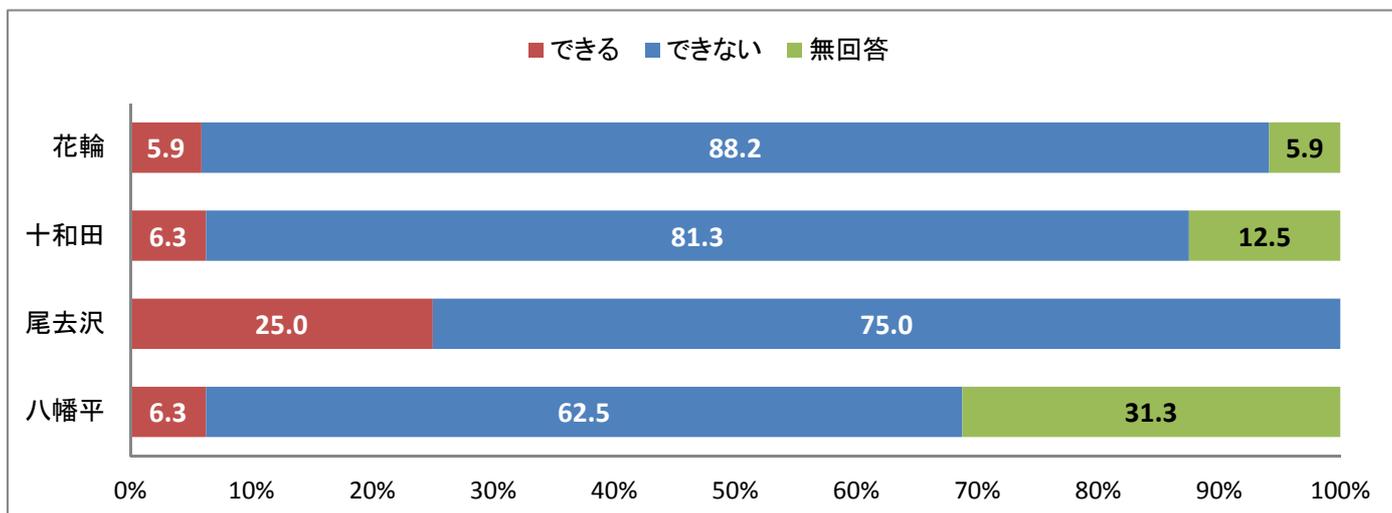
②年代別

[単位：%]



③地区別

[単位：%]



④分析結果

「まちなか」への住み替えの意向を持つ方に、その希望を実現できそうかたずねたところ、実現できると回答した方の割合は7.5%でした。

男女別では、男性が14.3%、女性は3.2%と、いずれも前年の半分以下に減少しており、昨年に引き続き、女性は男性よりも割合が低い傾向にあります。

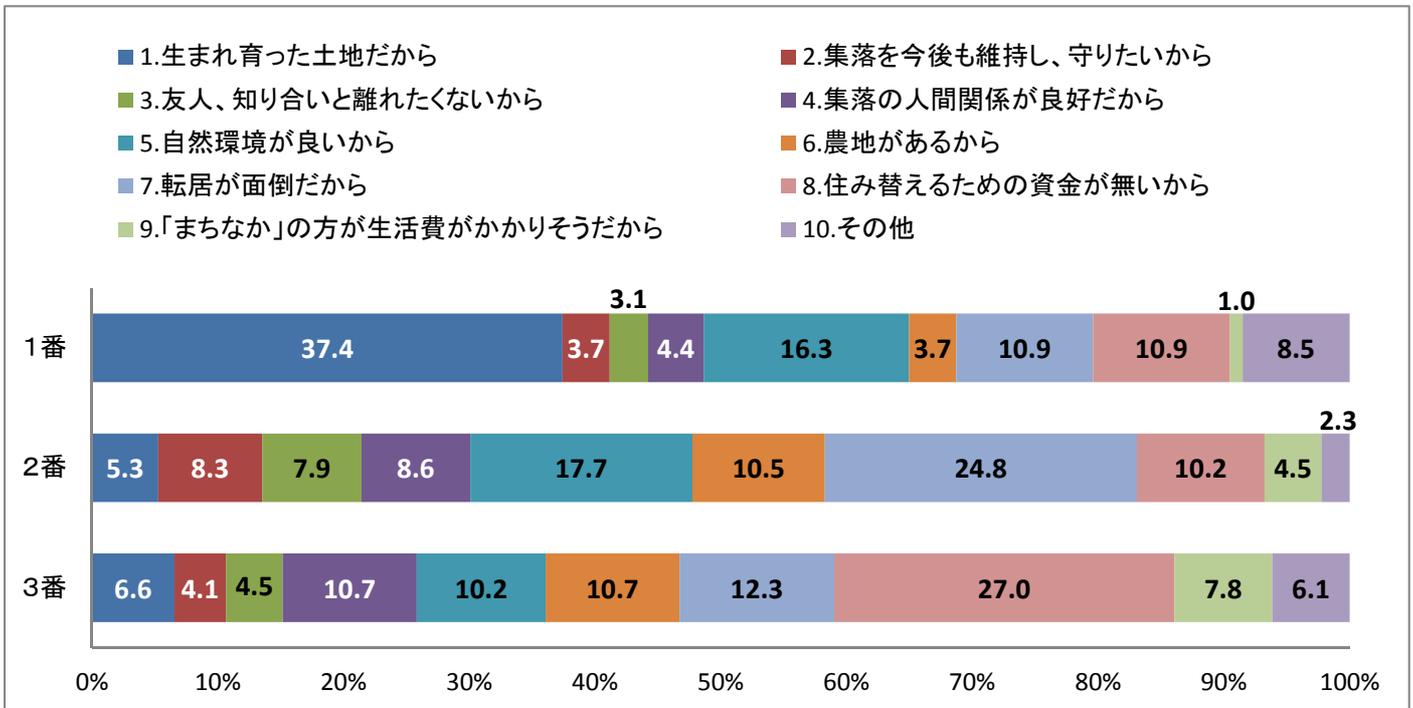
年代別では、29歳以下、40代、70代は前年と同じ割合ですが、その他の年代は前年より減少しています。地区別では尾去沢地区が他に比べて高くなっていますが、その他の地区は減少しています。

実現できない理由としては「経済的な理由」を選択した方が半数を超え、次いで「家や財産の承継」を挙げる方が多くなっています。

問⑦-5 設問⑦-1で「3. 住み替えたいとは思わない」を選んだ方におたずねします。住み替えたいとは思わない理由は何ですか。下表の1～10から順に3つまで選び、口に番号を記入してください。

①全体

[単位：%]



②分析結果

「まちなか」に住み替えたいとは思わない理由で最も多く挙げられたのは、「生まれ育った土地だから」で4割近い方が1番の理由に挙げています。次いで、「自然環境が良いから」を1番の理由に挙げる方が多くなっています。

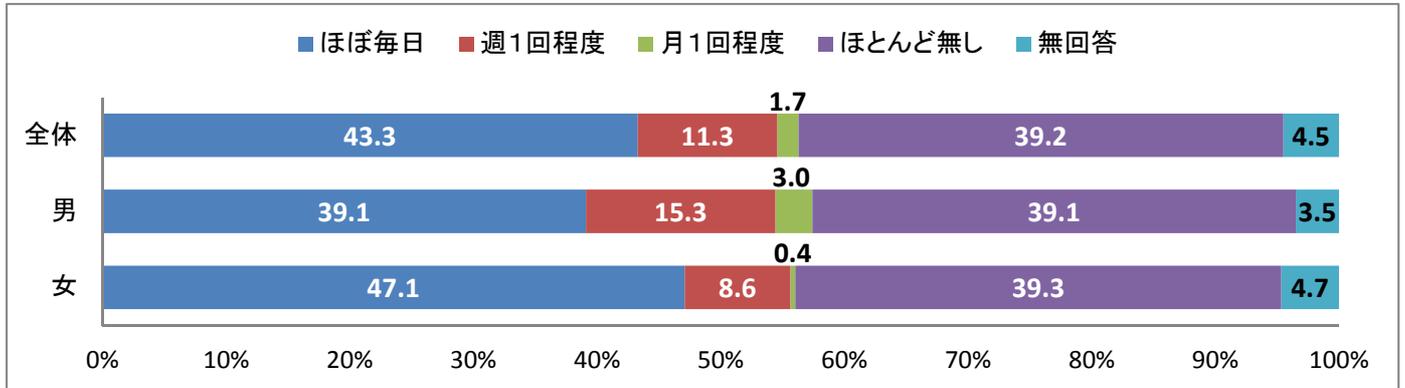
一方、3つまで挙げてもらった合計では、「転居が面倒だから」「住み替える資金がないから」を選択している方も非常に多く、その他の理由としては、「職場が遠くなる」「住み替えるほどの魅力（メリット）をまちなかに感じない」という回答のほか、「どうせ住み替えるなら県外（都会）に行きたい」と回答した方も何人かおりました。

7 運動の実施状況について

設問⑧ あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や、健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。
また、1回あたりの運動時間はどのくらいですか。

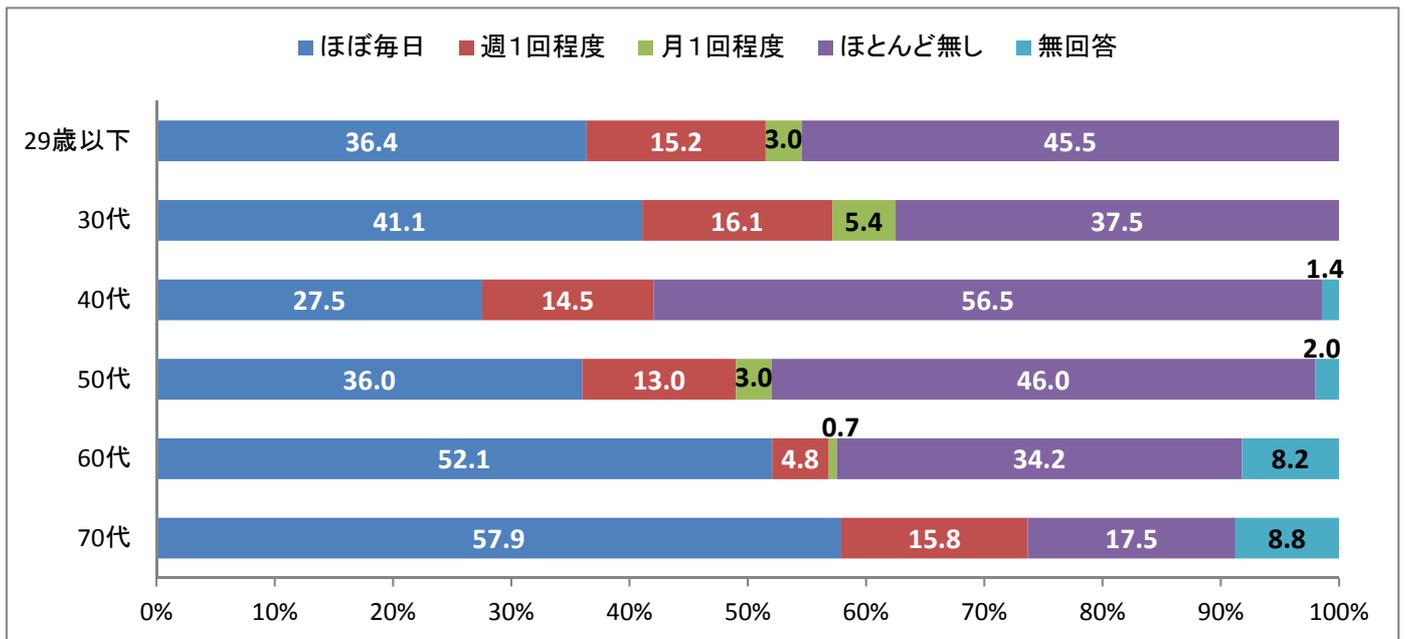
①全体／男女別

[単位：％]



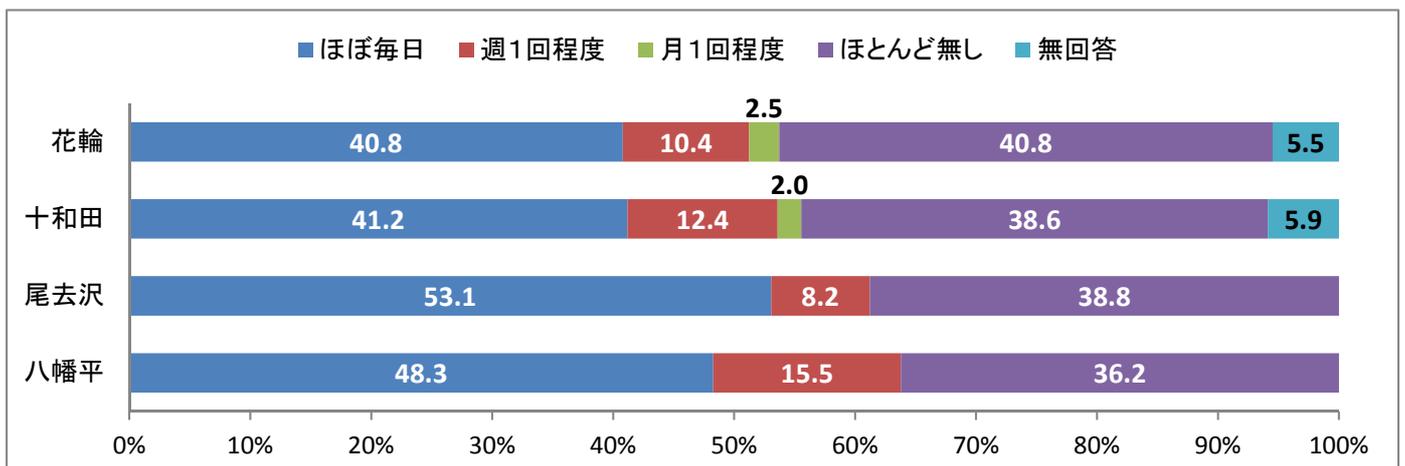
②年代別

[単位：％]

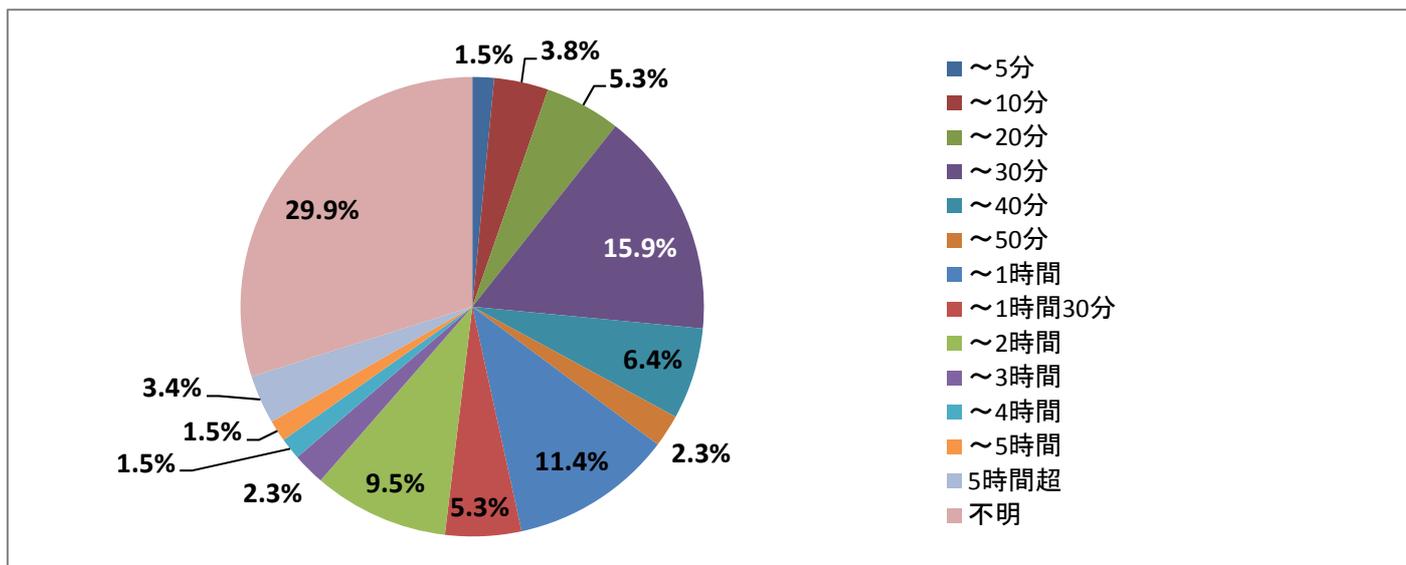


③地区別

[単位：％]



④ 1回あたりの運動時間



⑤ 分析結果

週1回以上、運動やスポーツを実施している市民の割合は56.3%で、平成25年度以来、50%以上を維持しています。

内容としてはウォーキング、散歩、ラジオ体操への取組が多数を占めていますが、家事や農作業などの日常生活により運動をしているとした回答も多く、日常的な生活活動動作でも運動を意識して取り組むことで健康づくりにつながる、という意識が醸成されてきているものと考えられます。

〔参考〕第2次スポーツ推進計画成果指標と実績値

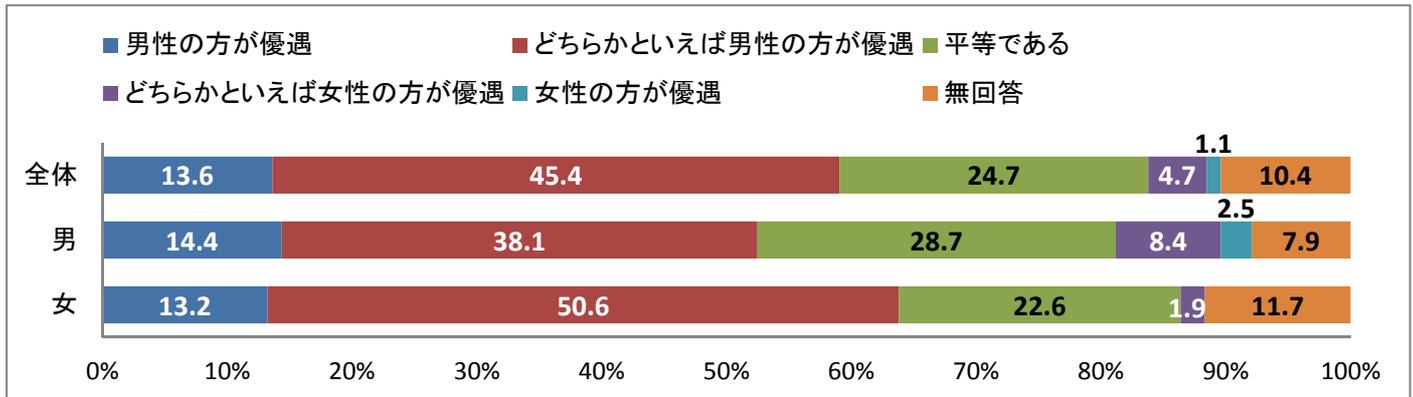
成果指標	基準値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)
週1回以上の頻度で運動やスポーツを実施する市民の割合	58.1%	56.3%	65.0%

8 男女共同参画の状況について

問⑨-1 あなたは、地域社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

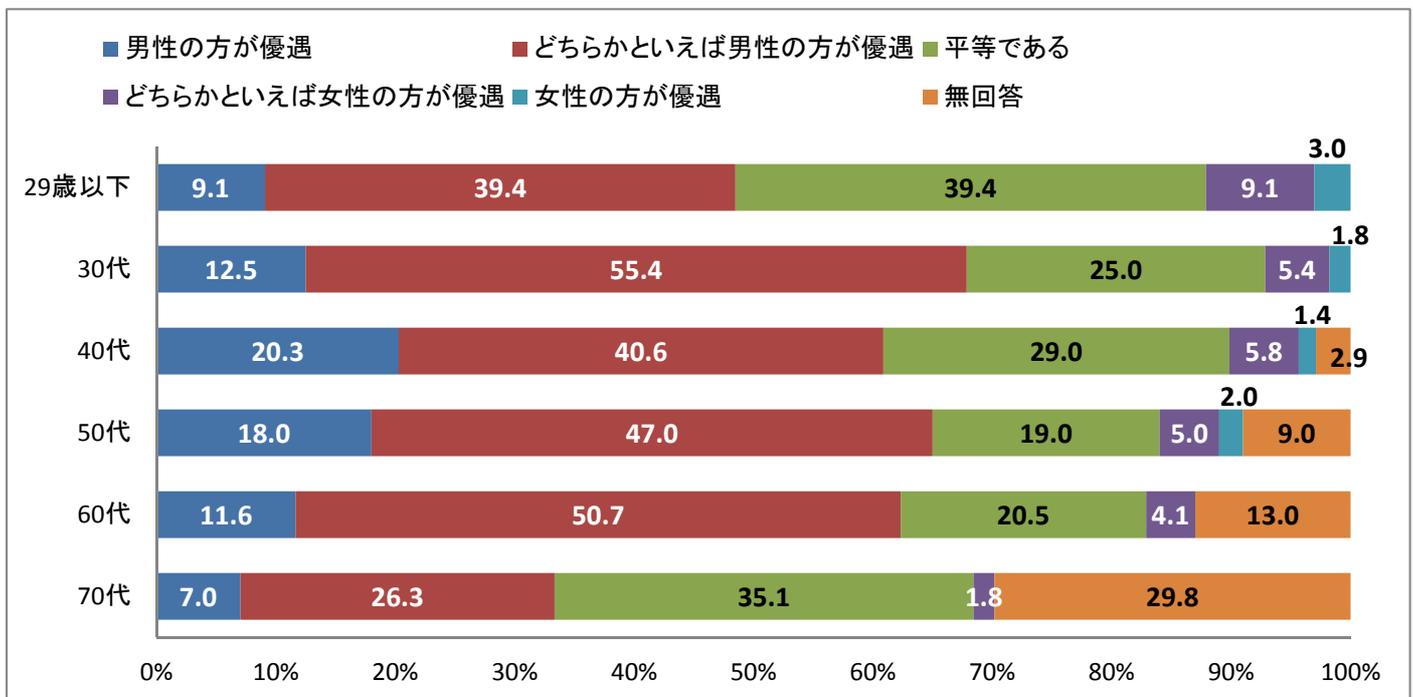
①全体／男女別

[単位：%]



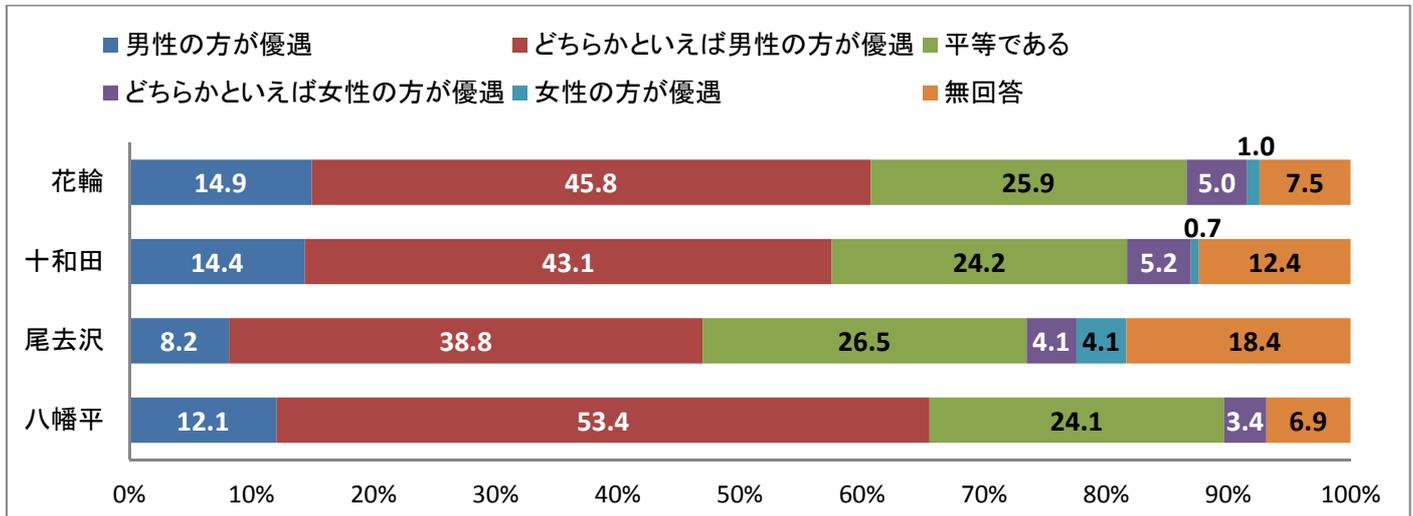
②年代別

[単位：%]



③地区別

[単位：%]



④分析結果

「男女の地位が平等である」と回答した方の割合は24.7%という結果になりました。

男女別で見ると男性は28.7%の方が「平等である」と答えたのに対し、女性は22.6%で、男女間で6.1ポイントの差がありました。

年代別では、全ての世代で基準値である19.0%を上回っており、特に29歳以下の39.4%、70代の35.1%が他の世代と比べ高い数値となっています。

国や地方自治体、各種団体企業が男女の平等を目指しているものの、男女ともに「男性が優遇されている」「やや男性が優遇されている」と答えた方の割合が50%以上と高く、どちらの立場からも、性別間の格差是正は未だ不十分であると考えられます。

〔参考〕第3次男女共同参画計画 男女共同参画指標と実績値

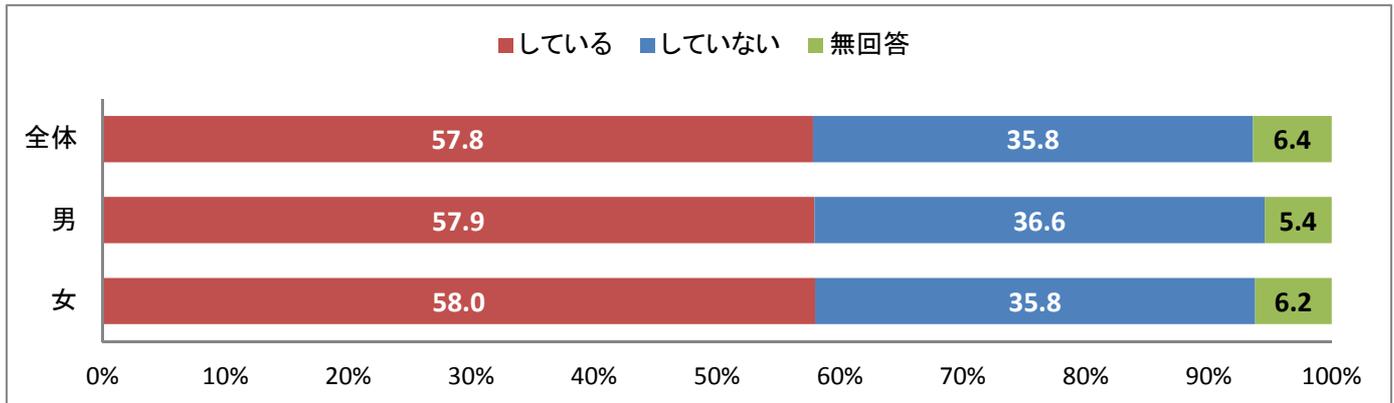
男女共同参画指標	基準値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)
男女の地位が平等になったと感じている人の割合	19.0%	24.7%	25.0%

9 地域情報化について

設問⑩ あなたはインターネットを利用していますか。

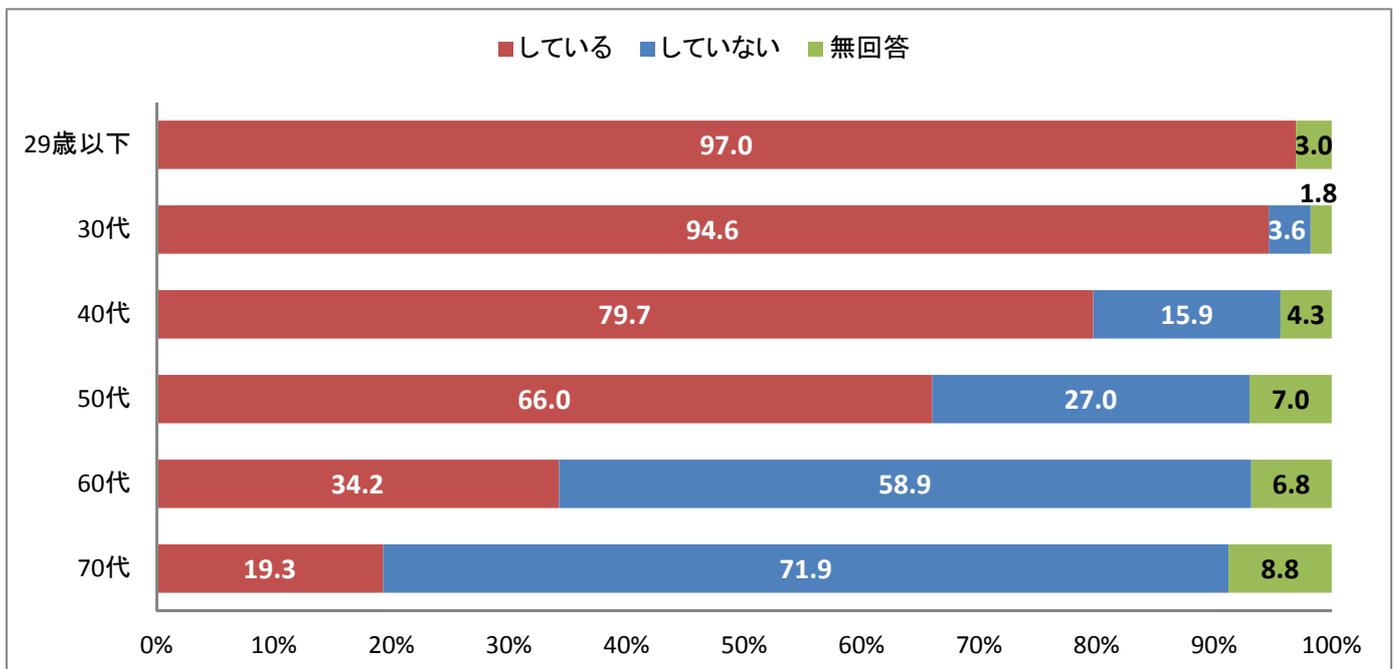
①全体／男女別

[単位：％]



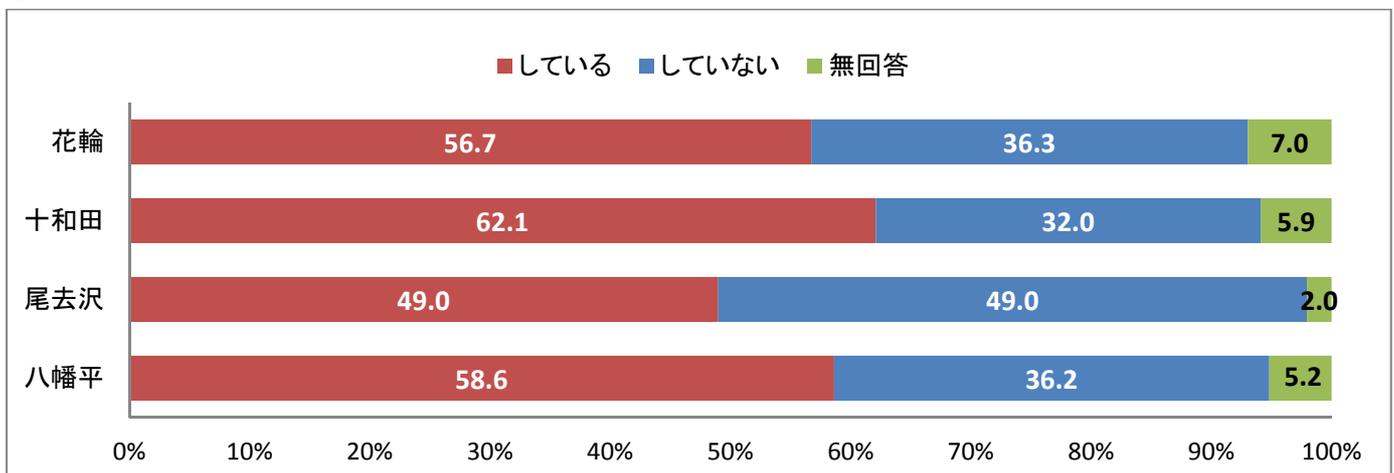
②年代別

[単位：％]



③地区別

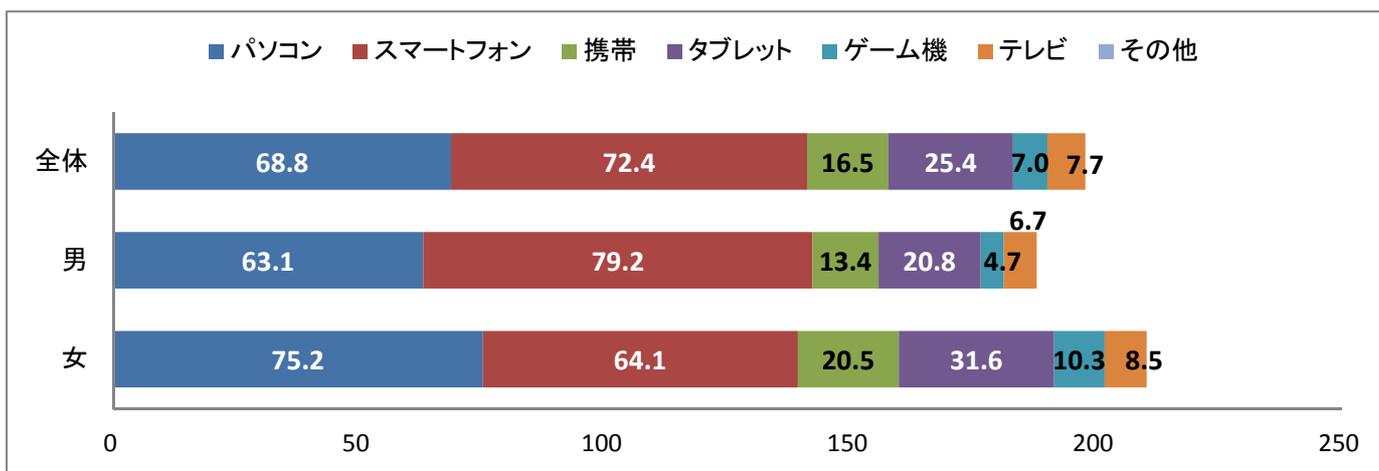
[単位：％]



◆利用している場合の利用機器（すべて回答）

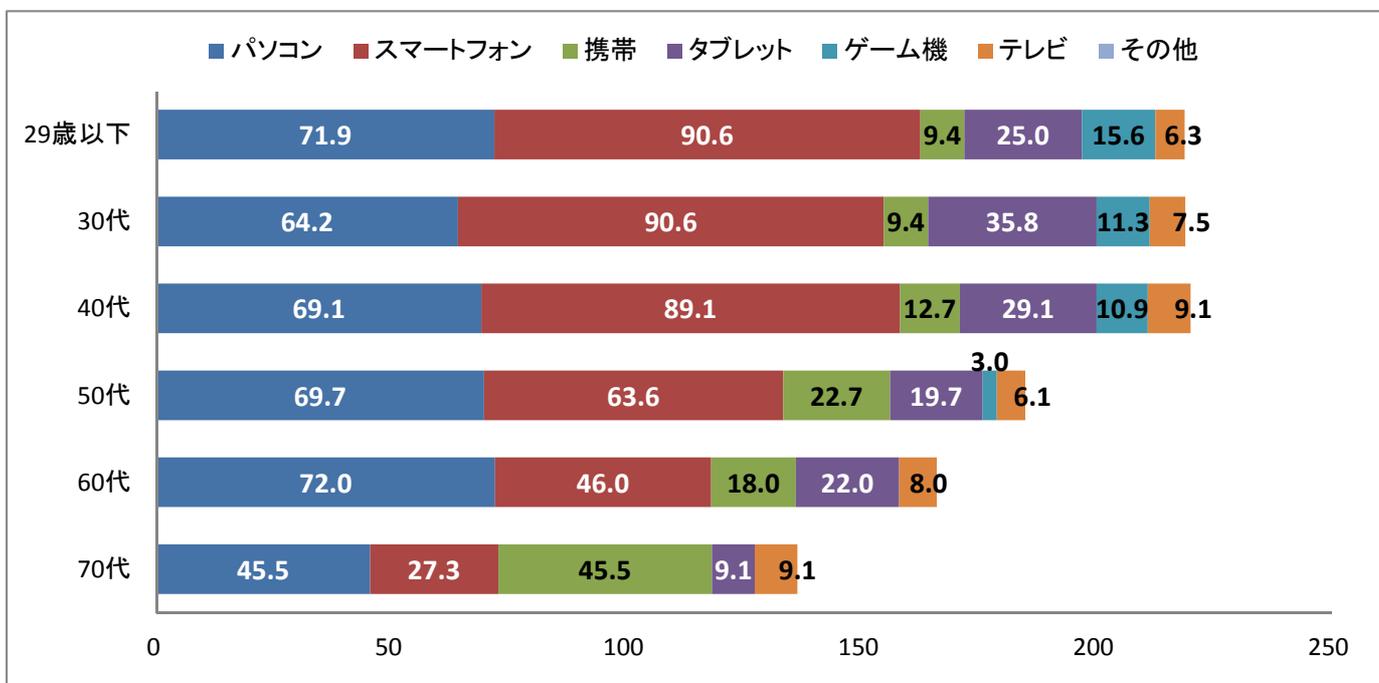
①全体／男女別

[単位：％]



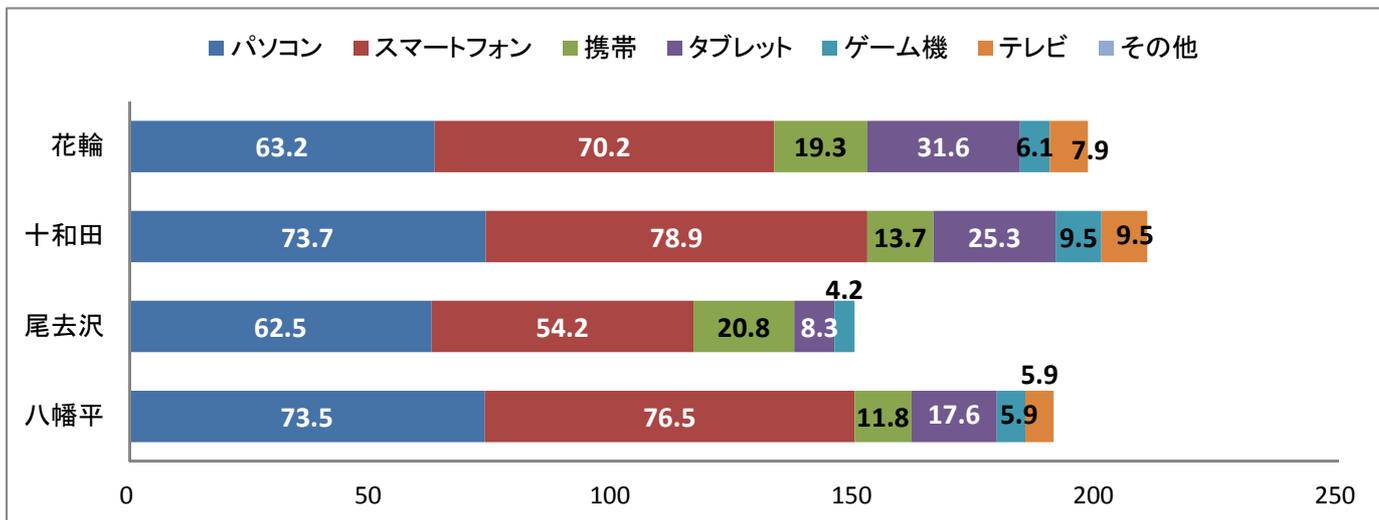
②年代別

[単位：％]



③地区別

[単位：％]



④分析結果

インターネットを利用していると回答した方は全体の 58.6%という結果となりました。

年代別でみると、前年の利用割合が 100%だった 29 歳以下が 97%に減少しましたが、30 代では 3.3 ポイント増加して 94.6%となっており、この年代間では大きな差は見られなくなってきました。

また、40 代が昨年より 13.7 ポイント減少し 79.7.%となったのに対し、50 代では 7.7 ポイント増加し 66.0%という結果になっており、この年代間の差も小さくなりつつあります。

60 代は 34.2%で昨年より 0.7 ポイント増加、70 代は 19.3%で昨年より 7.0 ポイント増加という結果になり、50 代以上での利用割合がスマートフォンやタブレット端末の普及に伴い増加しており、全体的に堅調に推移しています。

〔参考〕第 6 次総合計画成果指標と実績値

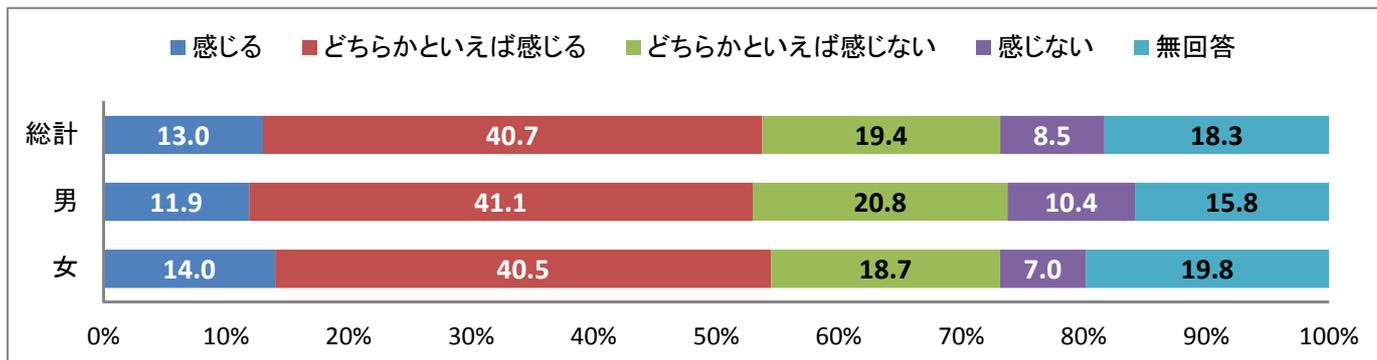
成果指標	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H32)
インターネット人口普及率	56.1%	58.6%	60.0%

10 子育て支援について

設問⑪-1 あなたは鹿角市が子育てしやすいまちだと感じますか。

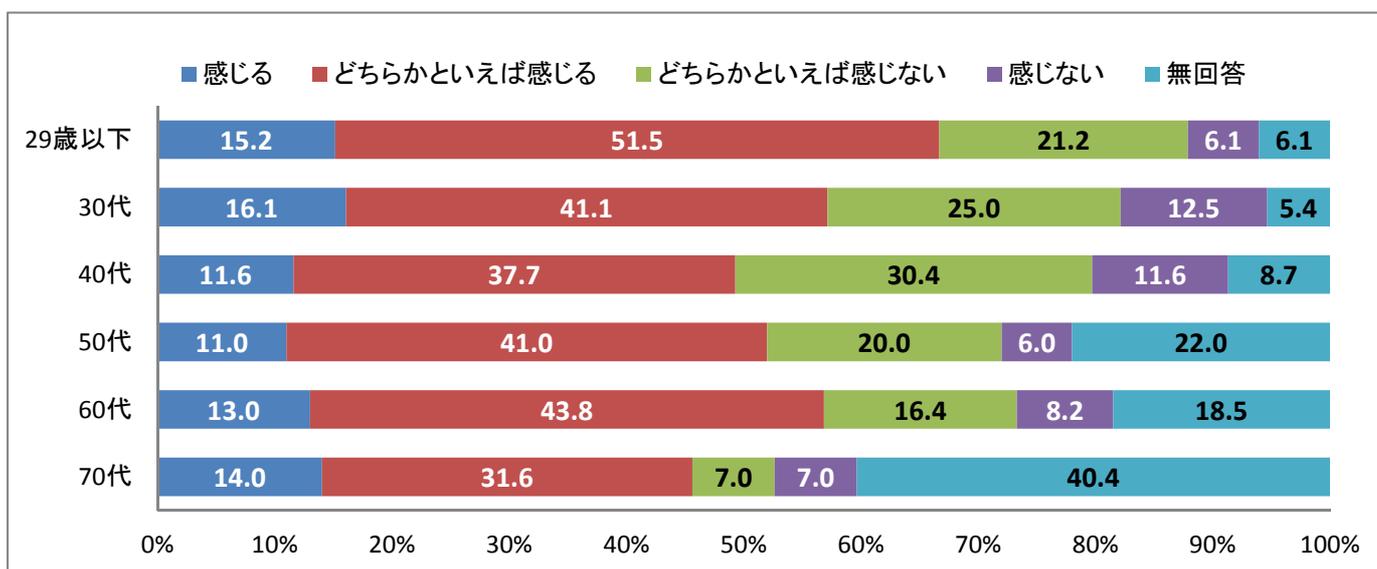
①全体／男女別

[単位：%]



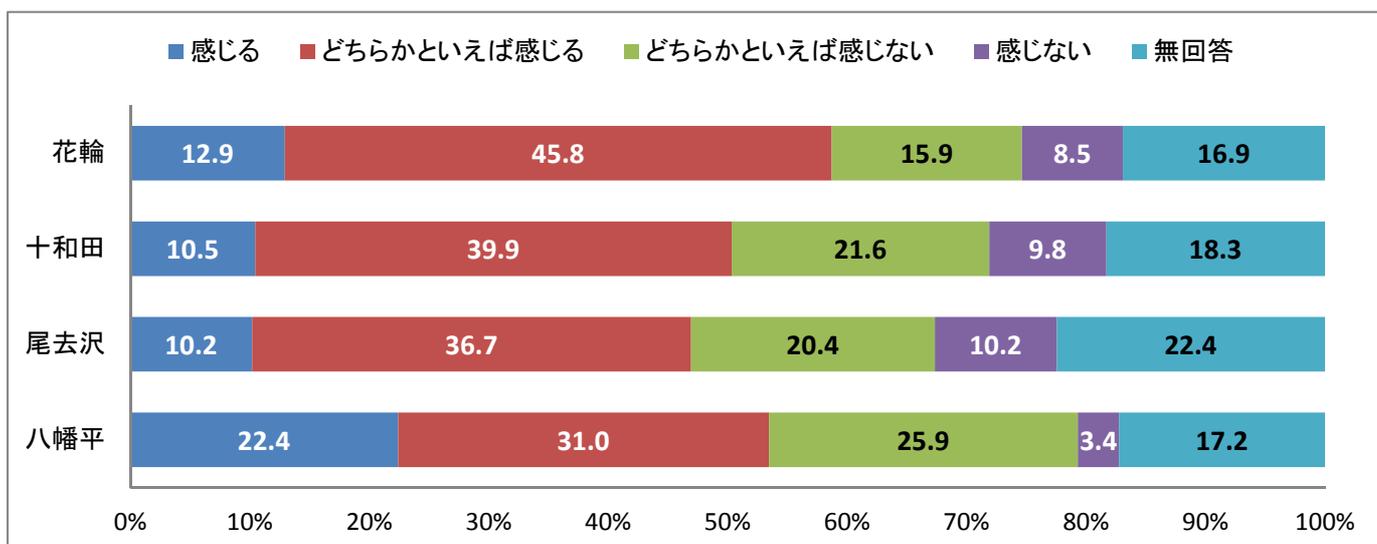
②年代別

[単位：%]



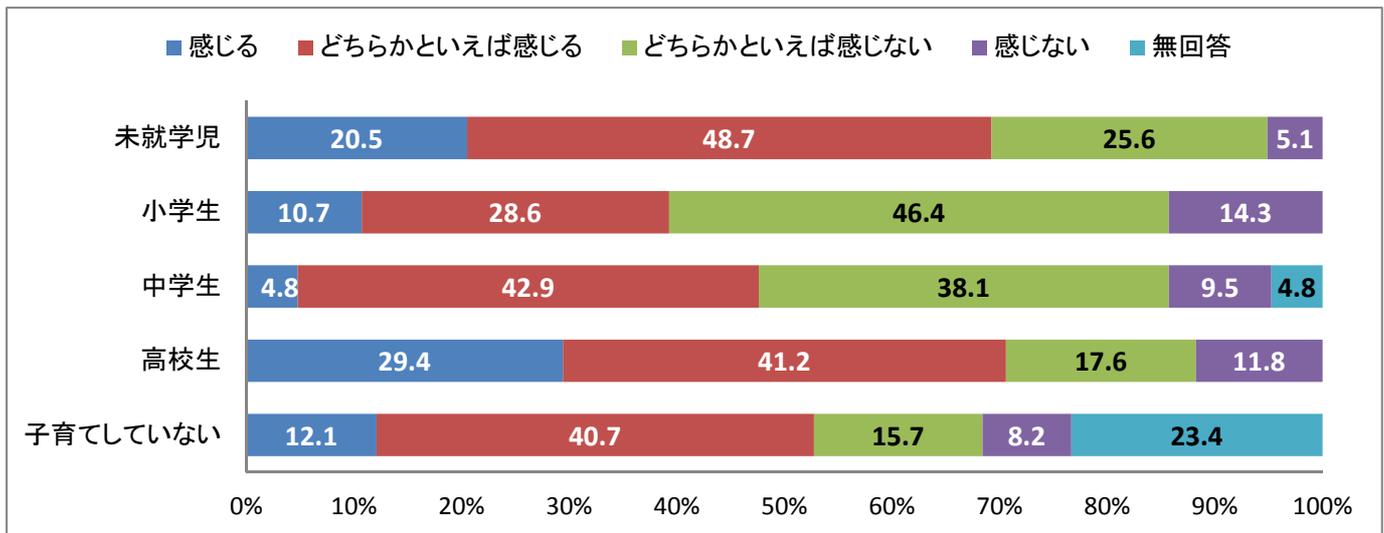
③地区別

[単位：%]



④子育て区分別

[単位：%]



⑤分析結果

子育てしやすいまちだと感じるかとの設問に対し、肯定的な評価である「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した方の割合は53.7%、否定的な評価である「感じない」「どちらかといえば感じない」と回答した方の割合は27.8%という結果となり、肯定的な評価が否定的な評価を25.8ポイント上回りました。

年代別では70代を除く全ての年代から50%を超える肯定的な評価を得ました。この他、男女別、地区別でも同様に高い評価を得ており、これまで行ってきた子育て支援策が効果をあげてきたものと言えます。

子育て区分別では、未就学児については、引き続き「子育てしやすいまちだと感じる」と回答した割合が高く、高校生についてはマル福が18歳まで拡充された影響から、満足度が高まったものと考えられますが、小中学生では、前年は肯定的な評価が70%を超えていたにも関わらず今年は大きく減少しており、学校統合への不安などが影響しているものと考えられます。

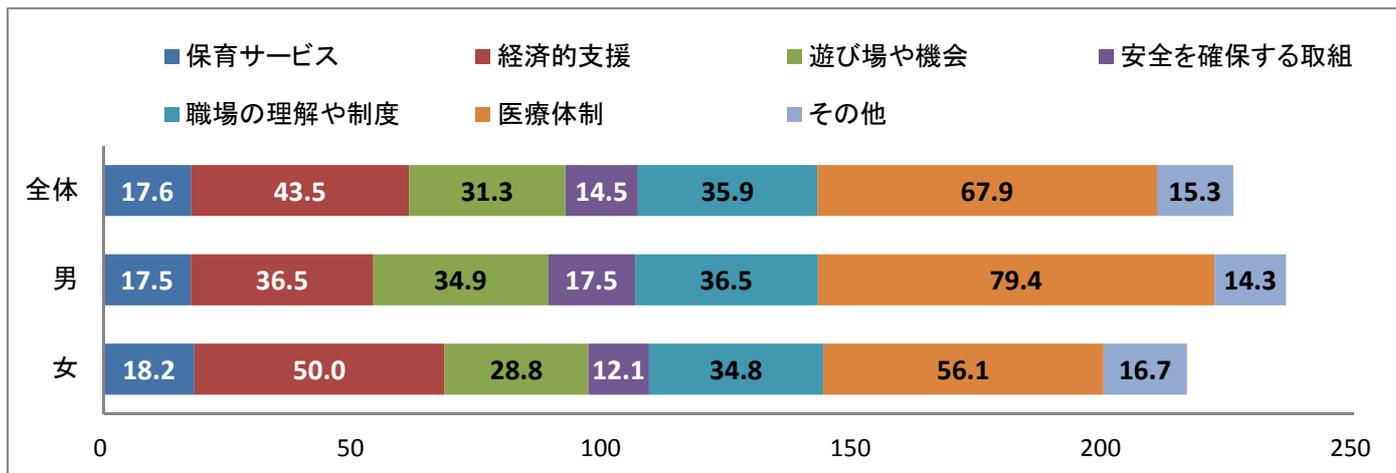
〔参考〕第6次総合計画成果指標と実績値

成果指標	基準値(H26)	実績値(H28)	目標値(H32)
子育てしやすいまちと感じる割合	46.2%	53.7%	57.0%

設問⑪-2 設問⑪-1で「3. どちらかといえば感じない」、「4. 感じない」を選んだ方におたずねします。それはどのような理由からですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

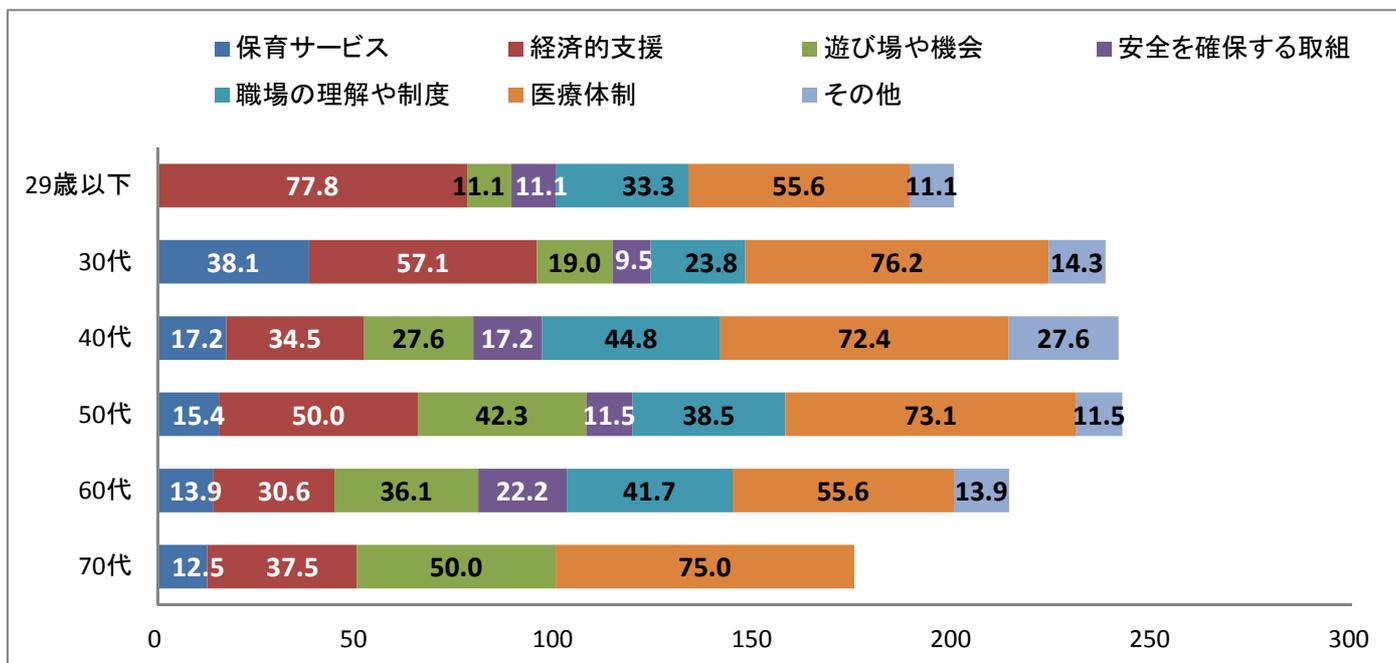
①全体／男女別

[単位：%]



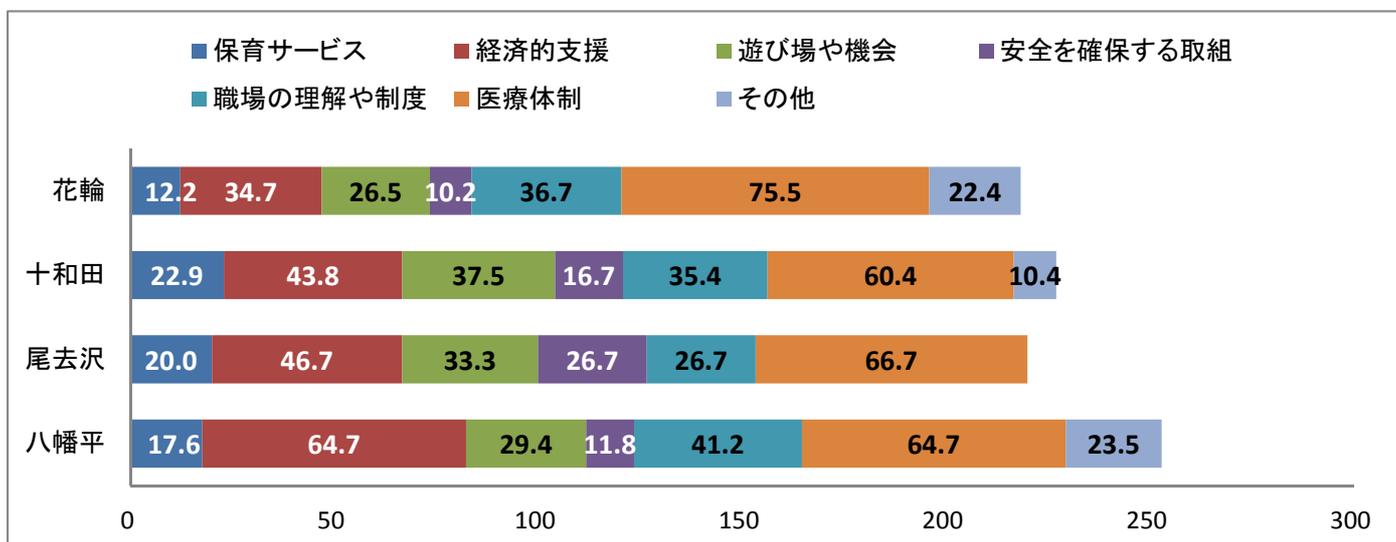
②年代別

[単位：%]



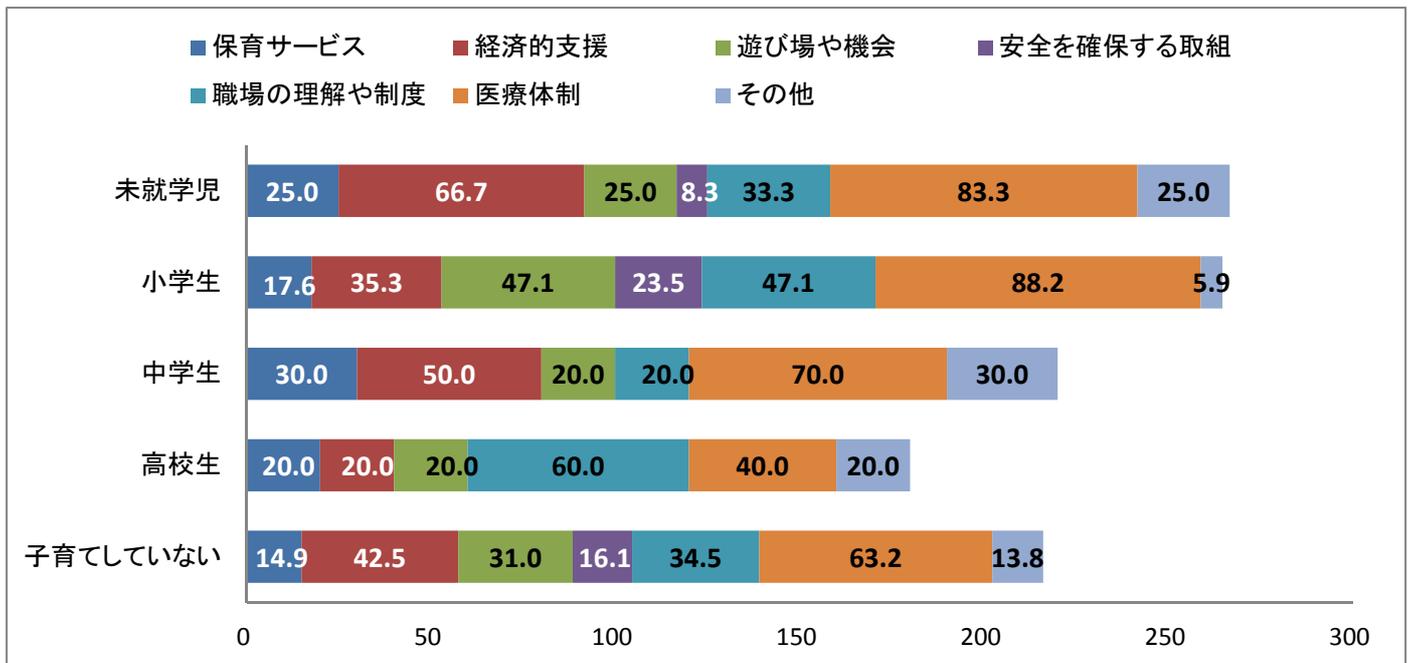
③地区別

[単位：%]



④子育て区分別

[単位：%]



⑤分析結果

「子育てしやすいまちだと感じない」「どちらかといえば感じない」と回答があった中で、その理由としては、多い順に「医療体制」「経済的支援」「職場の理解」「遊び場や機会」が挙げられ、次いで「保育サービス」「安全の確保」が続いています。

「医療体制」は全ての回答区分で 50%を超える高い回答率となっており、かづの厚生病院での里帰り出産の受入れ停止など、産婦人科の動向が影響しているものと思われます。

「経済的支援」は 29 歳以下でもっとも回答の割合が高く、結婚、出産への将来的な不安が表れているものと考えます。「職場の理解」は高校生の保護者からの回答率が高く、「遊び場や機会」は小学生の保護者からの回答率が高くなっており、子育ての段階に応じて要望も変化していくことがうかがえます。

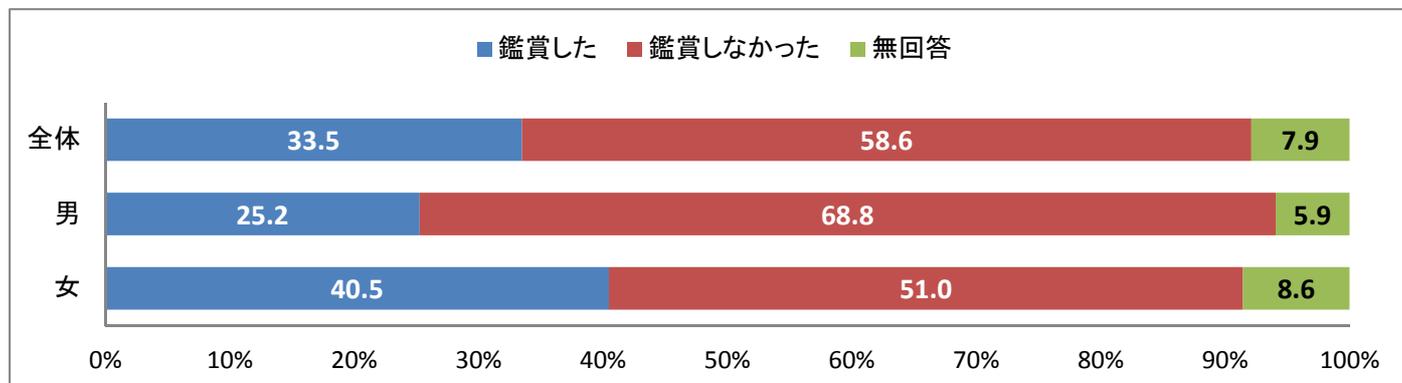
子育て支援については、保護者の皆さまから一定の評価は受けているものの、より多くの方から理解を得られるようニーズの把握に努め、各種の子育て支援を行っていきます。

11 コモッセの利用状況について

設問⑫-1 あなたは、昨年一年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等全般）をしましたか。

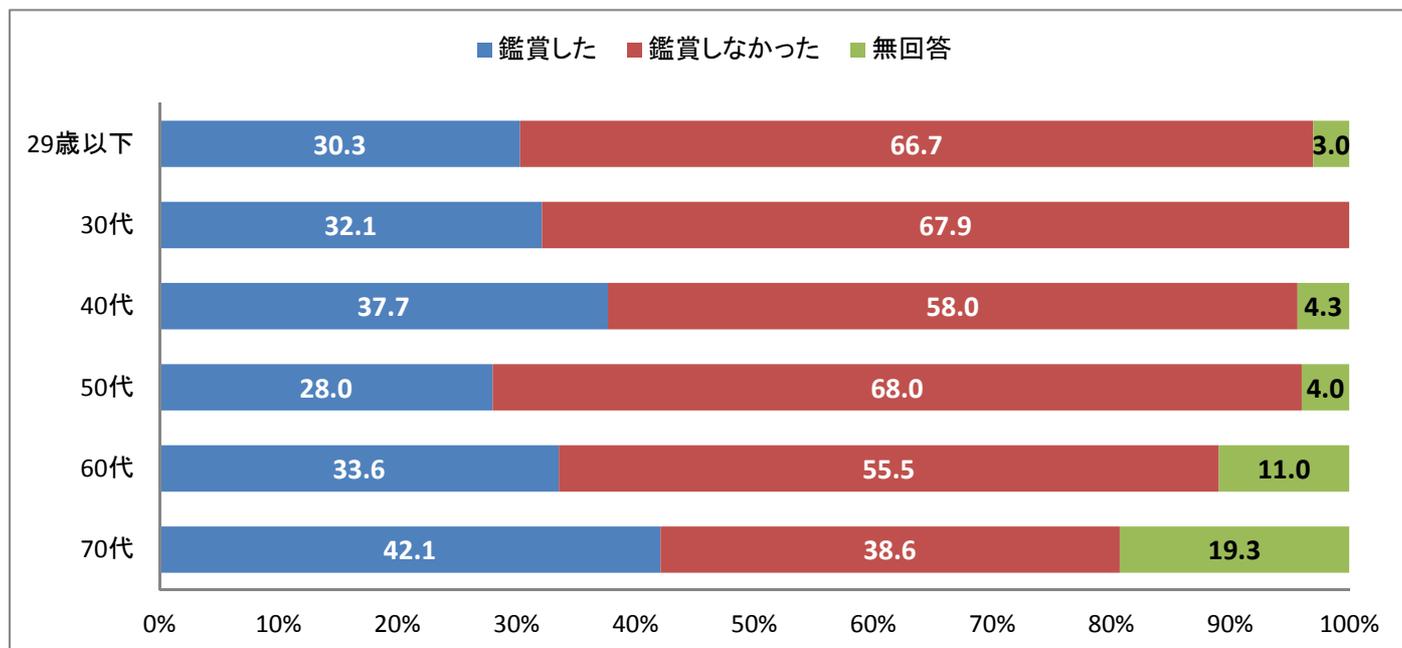
①全体／男女別

[単位：％]



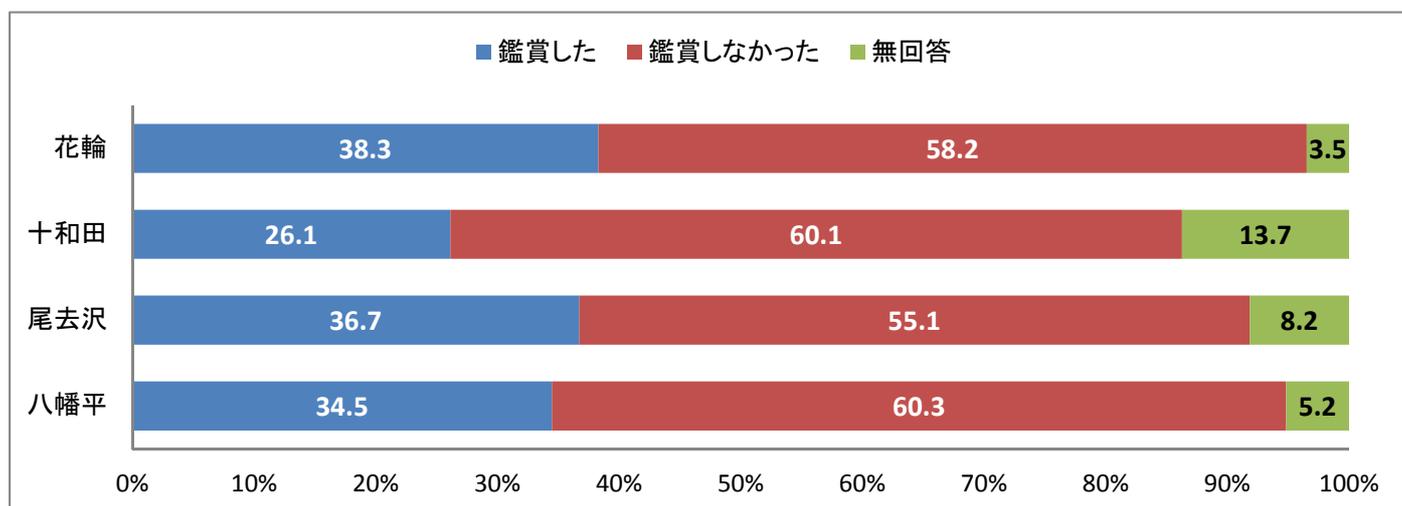
②年代別

[単位：％]



③地区別

[単位：％]



④分析結果

芸術鑑賞をした方が全体で 33.5% となっています。

男女別では、前年と同じく女性の鑑賞割合が男性を上回っていますが、男性の鑑賞割合は前年の数値とほぼ変わらないのに対し、女性の鑑賞割合は 7.5 ポイントの減少となっています。

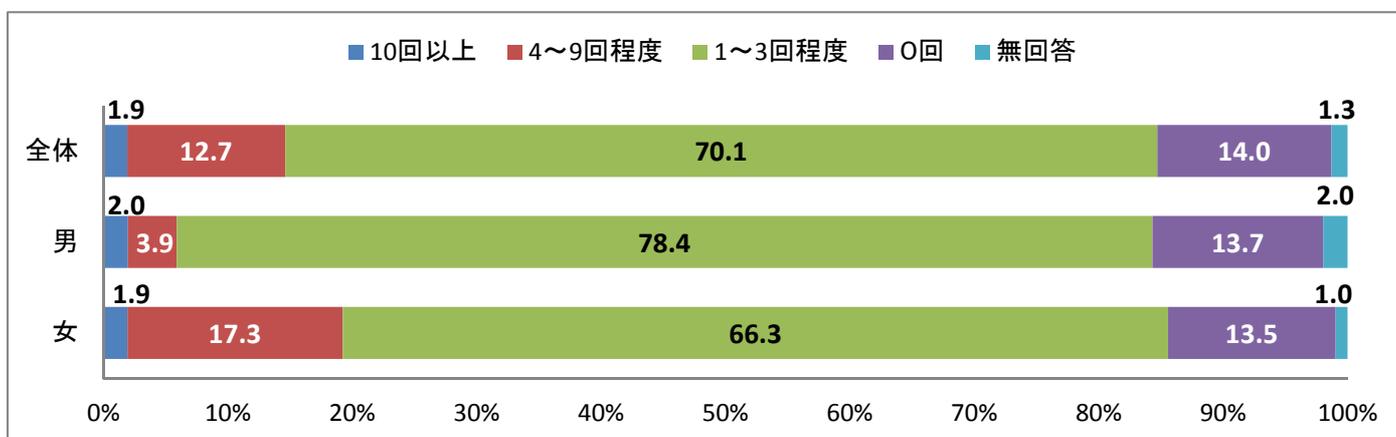
年代別では、ほとんどの年代で 30% 以上となっていますが、50 代では 28% で、前年より 7.2 ポイント減少しています。

地区別では、十和田地区の方の鑑賞割合が他地区と比べて低く、前年と比較すると八幡平地区の方の鑑賞割合が 9.3 ポイント減少しています。

設問⑫-2 設問⑱-1 で「1. 鑑賞した」を選んだ方におたずねします。そのうちコモッセ文化ホールで開催されたコンサート等ほどの程度鑑賞しましたか。

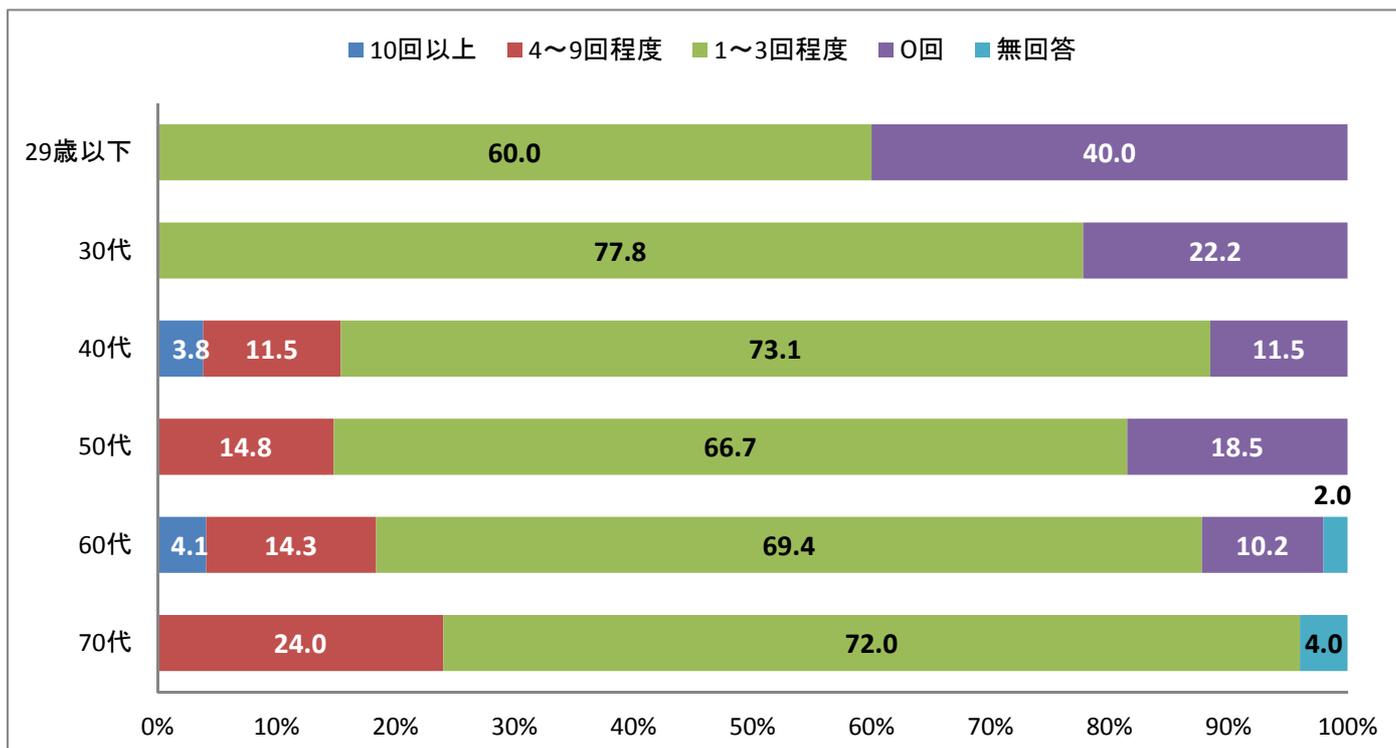
①全体／男女別

[単位：%]



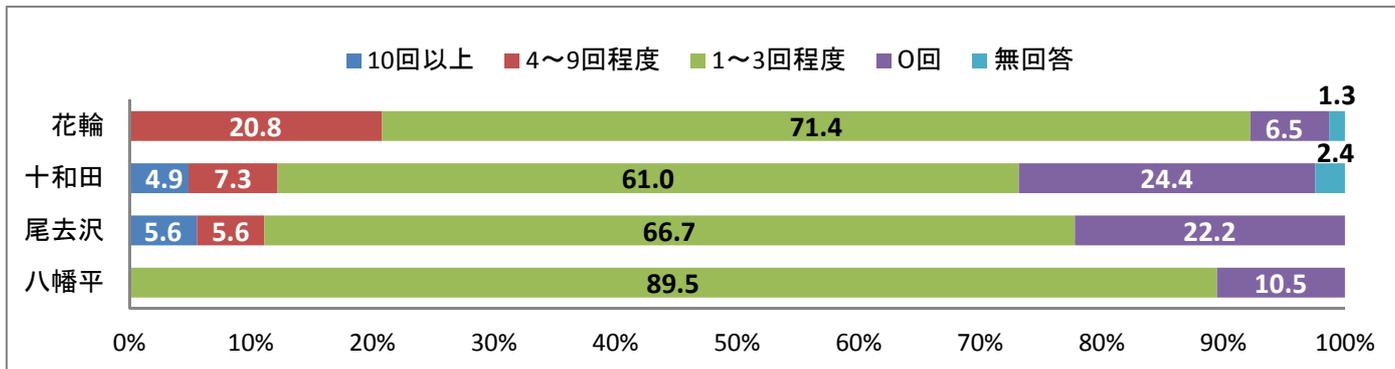
②年代別

[単位：%]



③地区別

[単位：％]



④分析結果

芸術鑑賞を行った方のうち、コモッセで1回以上鑑賞した方の割合は84.7%で、前年を9.2ポイント上回る結果となりました。鑑賞回数については、およそ7割程度の方が、年に1～3回と回答しています。

年代別では年齢層が上がるほど鑑賞割合、鑑賞回数が増える傾向にあります。

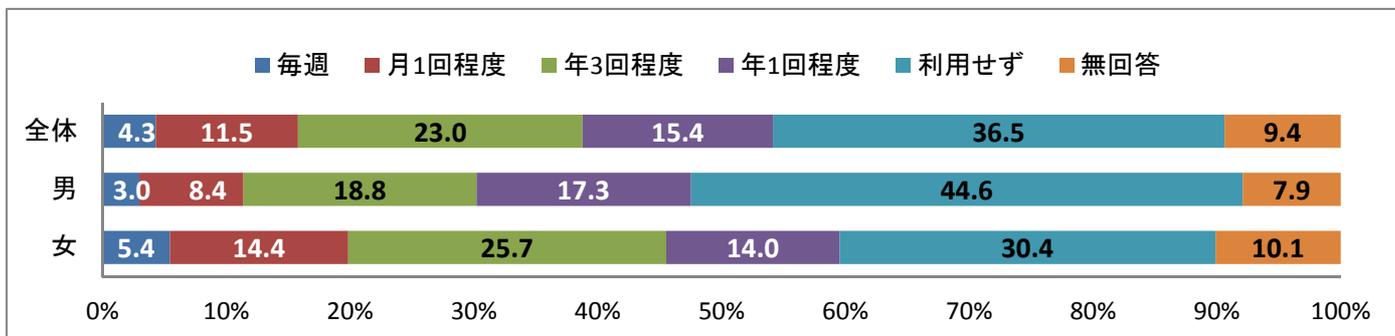
地区別では、花輪地区の方の鑑賞割合が9割を超えて最も高く、次いで八幡平が高くなっています。

コモッセで鑑賞しなかった理由としては「鑑賞したいものが無かった」という回答が最も多く挙げられたことから、利用者のニーズの把握と、複合施設としての利点を活かした魅力的な芸術鑑賞の機会の創出に努めます。

設問⑫-3 あなたは昨年、コモッセをどの程度利用されましたか？

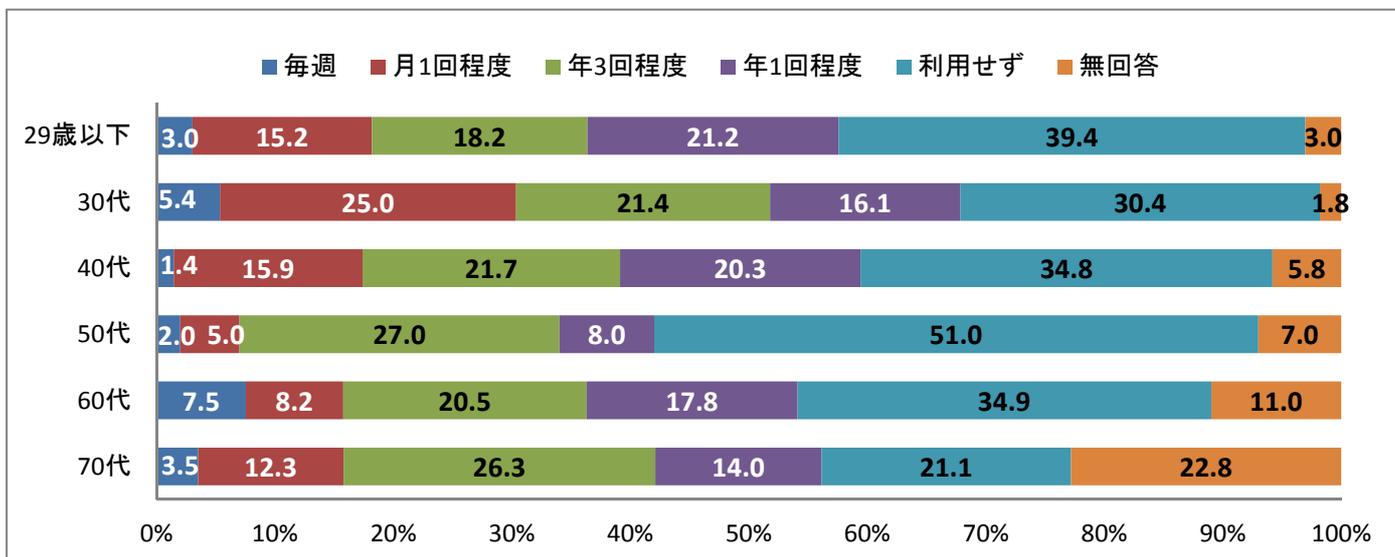
①全体／男女別

[単位：％]



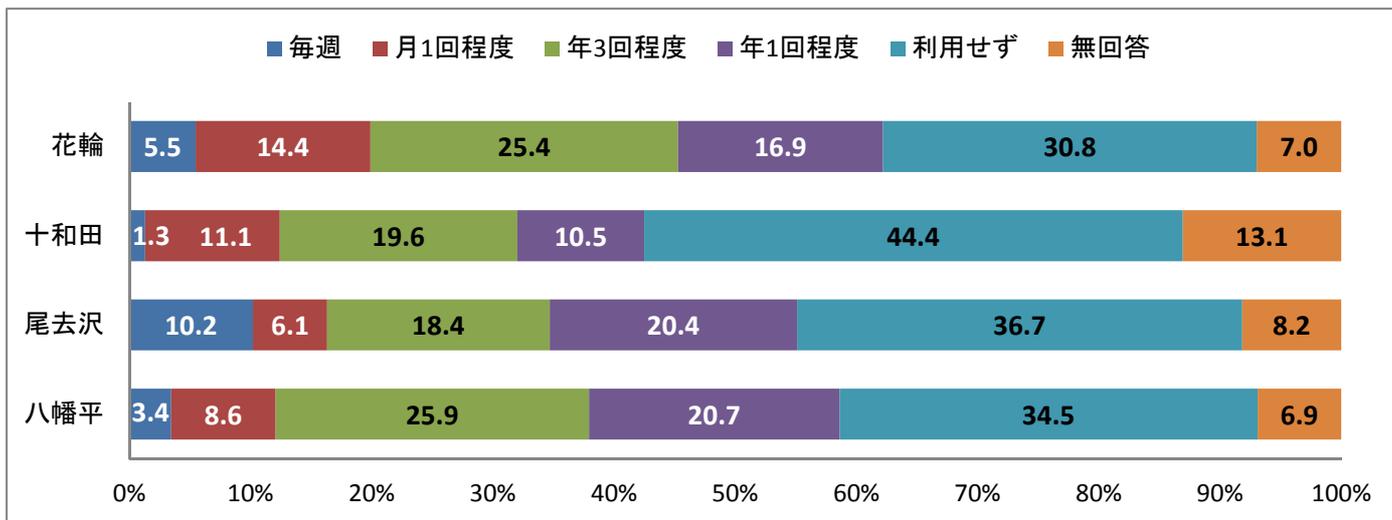
②年代別

[単位：％]



③地区別

[単位：%]



④分析結果

コモッセを利用した方の割合は54.2%で、前年（54.5%）とほぼ同じ結果となり、利用回数は年3回程度の割合が最も高くなっています。

男女別では前年と同様に女性の利用割合が高く、年代別では30代の利用割合が67.9%で最も高く、50代が42.5%で最も低い割合となっています。

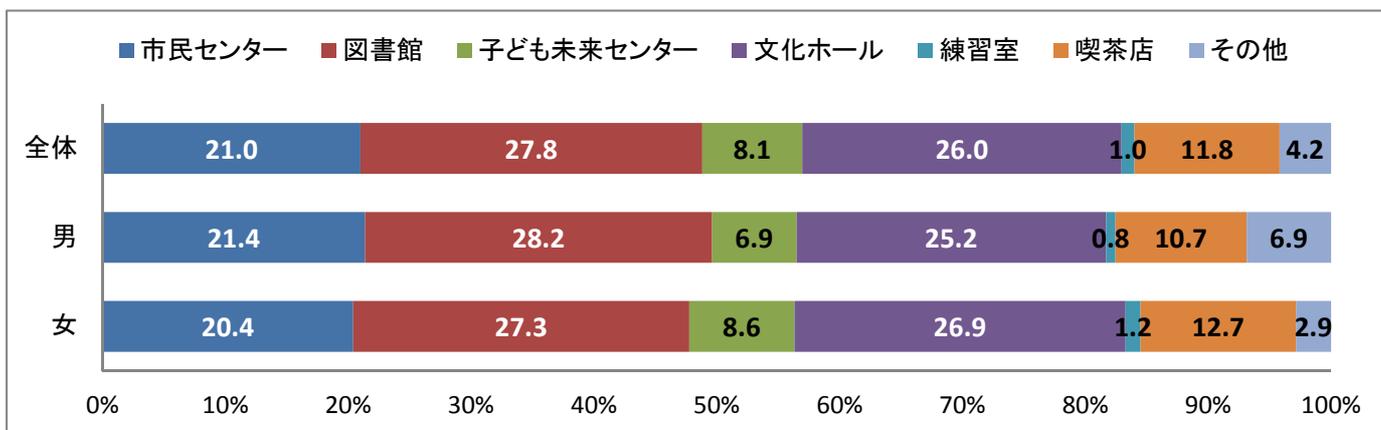
地区別では花輪地区の方の利用割合が最も高く、十和田地区で最も低い結果となっています。

コモッセを利用しない理由としては、「行く理由がない」が多く挙げられています。

設問⑫-4 設問⑫-3で1～4を選んだ方（年1回程度以上利用した方）におたずねします。主な利用施設はなんですか。

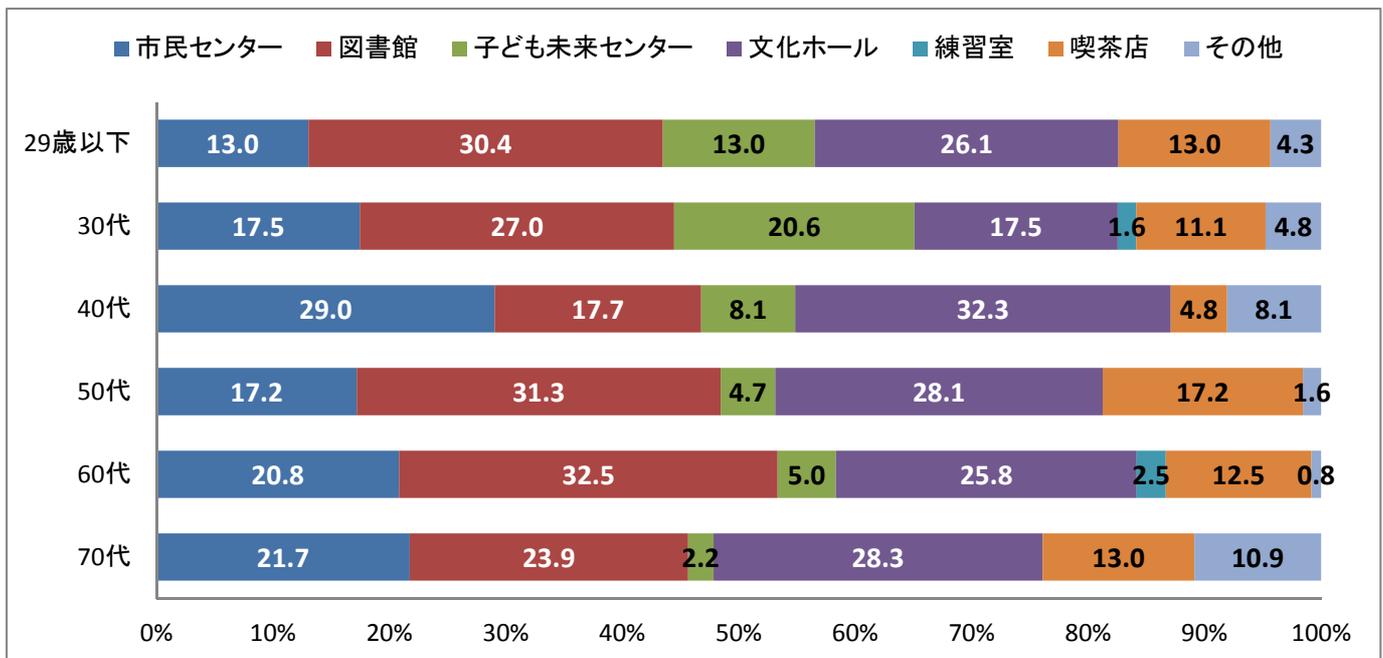
①全体/男女別

[単位：%]



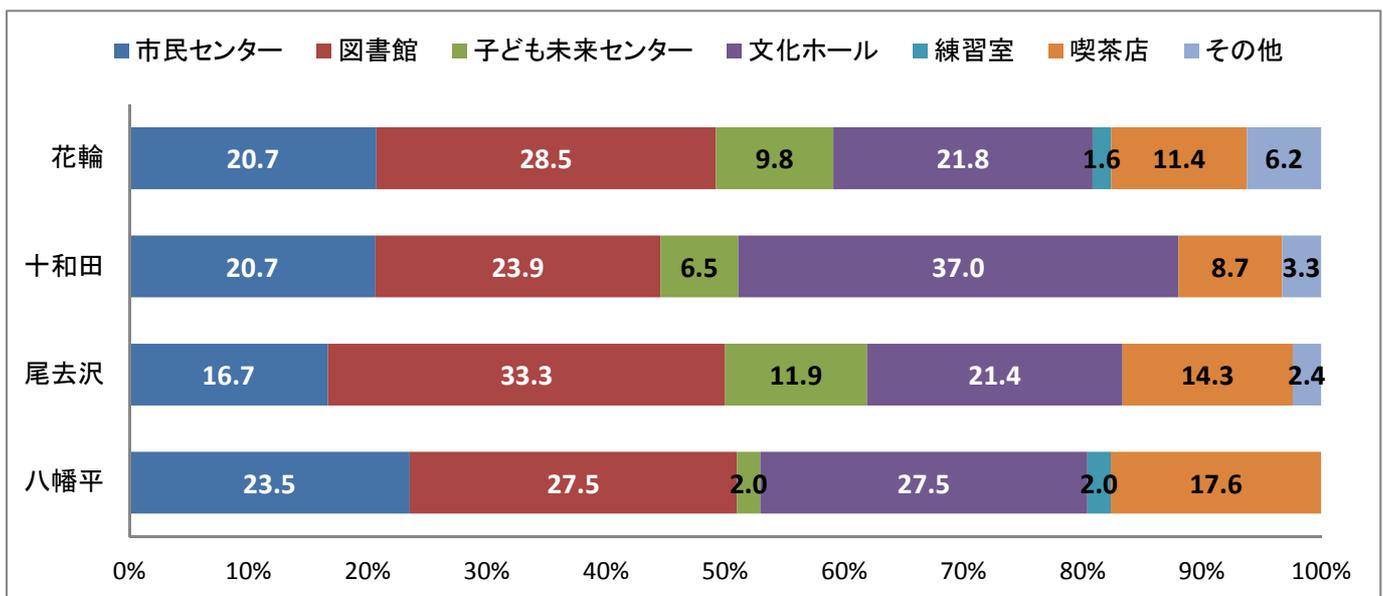
②年代別

[単位：％]



③地区別

[単位：％]



④分析結果

コモッセの施設で主に利用するものについては、図書館、文化ホール、市民センターの順で利用割合が高く、男女別でも同様となっています。複数の施設を選択している方が多く、様々な目的でコモッセが利用されていると考えられます。

年代別では、29歳以下、50代、60代で図書館が、30代では子ども未来センターが、40代では文化ホールの利用割合が最も高くなっています。

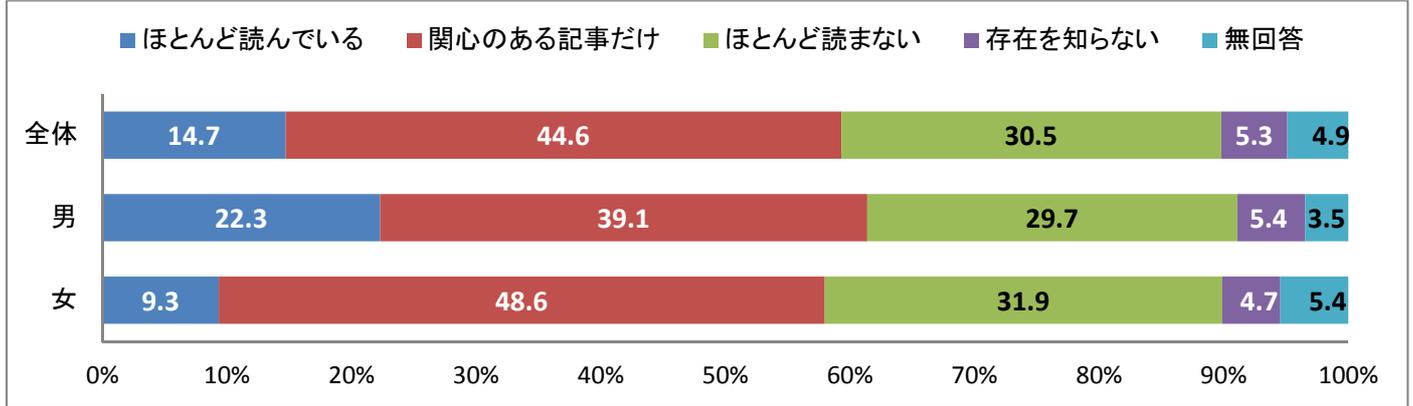
地区別では、尾去沢地区では図書館が、十和田地区では文化ホールの利用割合が高くなっています。

12 「市議会だより」について

設問⑬-1 年に4回配布している「市議会だより」について、内容をどの程度読んでいますか？

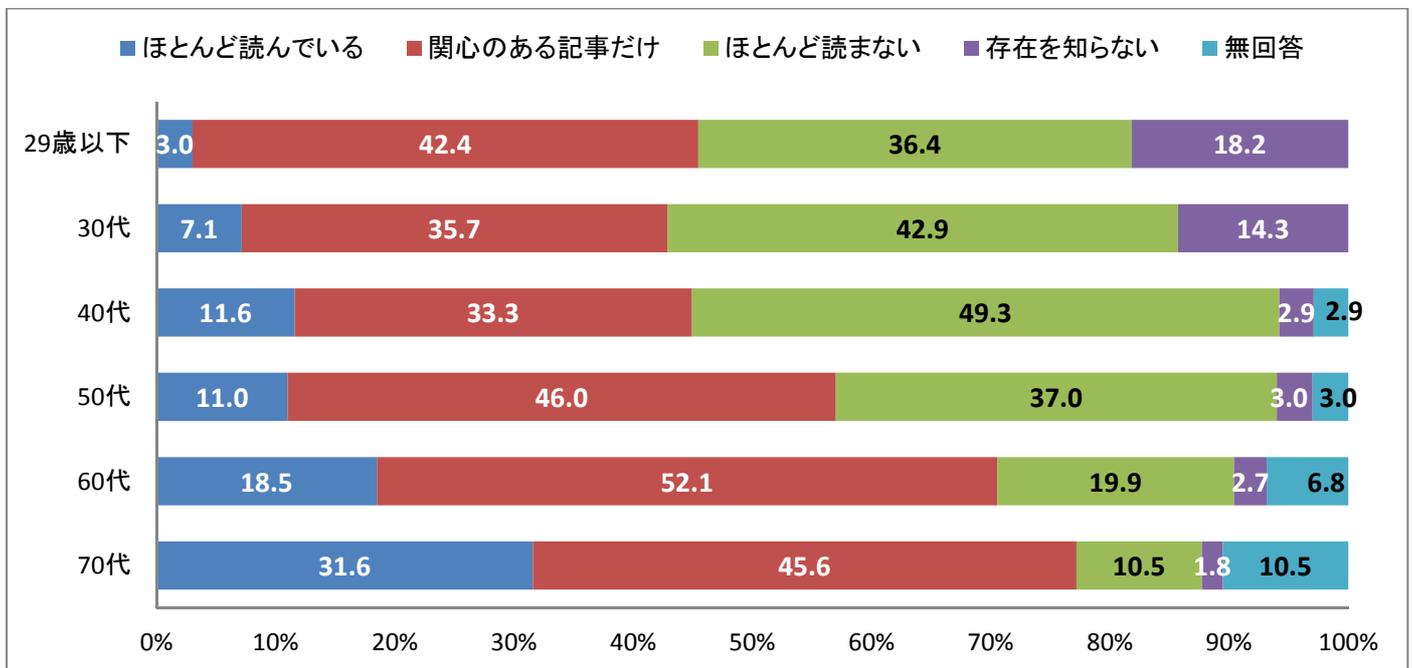
①全体/男女別

[単位：%]



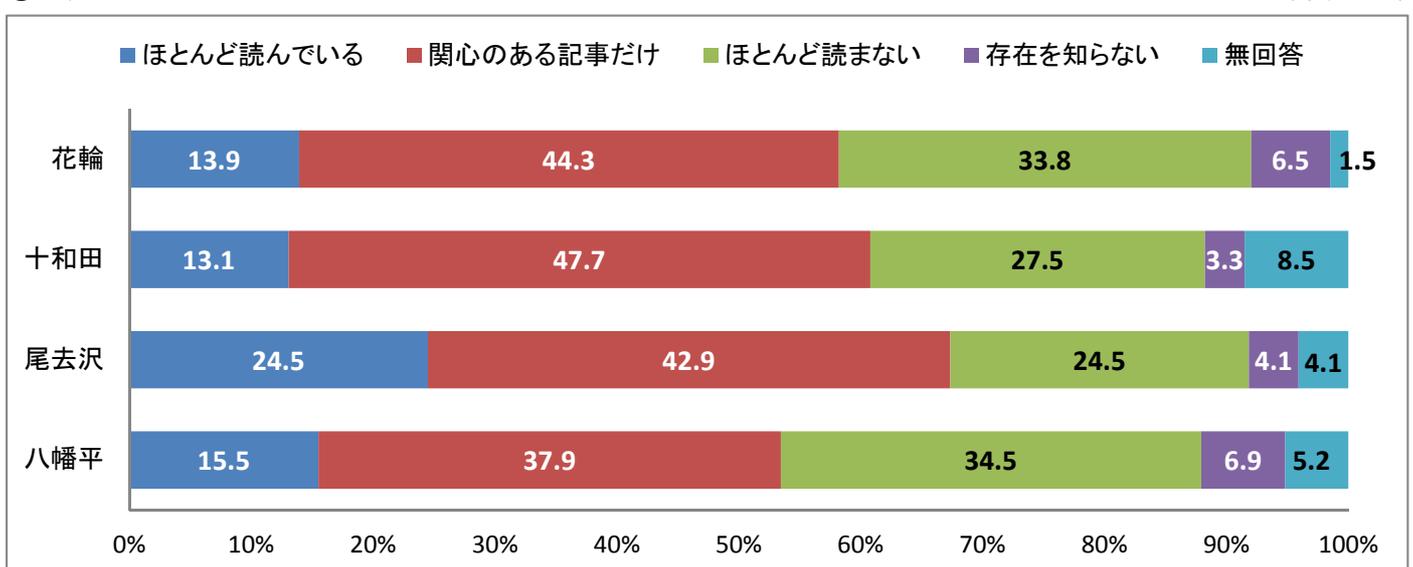
②年代別

[単位：%]



③地区別

[単位：%]



○分析結果

全体では、「関心のある記事だけ読んでいる」と回答した方が44.6%で最も多く、「ほとんど読んでいる」と回答した14.7%の方と合わせ、59.3%の方が市議会だよりを読んでいると言えます。

男女別では「ほとんど読んでいる」と回答した男性は22.3%で、女性の9.3%を13.0ポイント上回りました。逆に「関心のある記事だけ読んでいる」と回答した女性は48.6%で、男性の39.1%を9.5ポイント上回る結果となりました。「ほとんど読まない」「存在を知らない」と回答した割合は同程度で、男女間に差は見られませんでした。

年代別で見ると、年代が高くなるほど読んでいる方の割合が高くなる傾向にあり、60代と70代では「ほとんど読んでいる」「関心のある記事だけ読んでいる」と回答した方の割合は70%を超えていますが、40代以下の年代では、「ほとんど読んでいる」「関心のある記事だけ読んでいる」と回答した方の割合は、いずれの年代でも過半数を下回る結果となり、また、「存在を知らない」と回答した方は29歳以下で18.2%、30代では14.3%おりました。

地区別では、「ほとんど読んでいる」と回答した方の割合が尾去沢地区で比較的高い結果となりましたが、それ以外は大きな差は見られませんでした。

自由記載の「市議会だより」に関する意見については、「議員の活動をよく知ることができる」「以前より読みやすくなった」という意見もいただきましたが、「関心がない」「必要ない」「いろいろな人に向けて分かりやすく編集してほしい」「内容の工夫が必要」といった意見が多く寄せられ、分かりやすく読みやすい、興味のある紙面づくりが必要だと考えます。

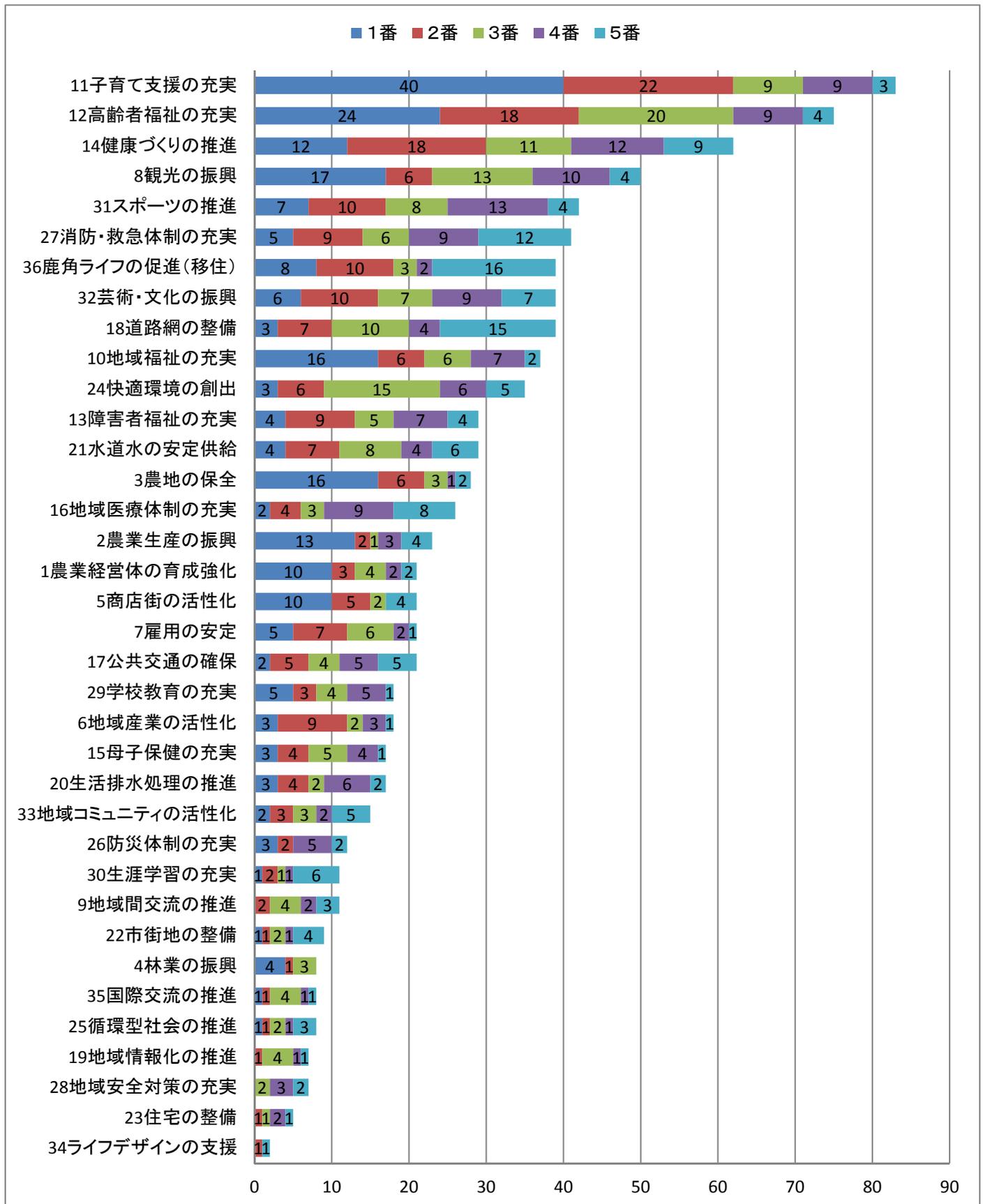
また、議員活動に関しては「議員の活動報告を詳しく載せてほしい」「一般質問の時間を残している議員が多い」といった意見があり、議員の広報、広聴活動の充実と、議会活動の活性化が求められているものと考えます。

13 市の政策について

設問⑭-1 市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるものを下表の36項目から順に5つ選んでください。

①全体（項目別選択割合／複数回答）

[単位：点]



②分析結果

効果が得られていると感じる施策として、最も多くの方に選択されたのは「子育て支援の充実」で83人が選択しています。継続して行っている各種の支援策のほか、コモッセでの託児サービスの充実、高校生までのマル福の引き上げ等が評価されています。

2番目に多く選択されたのは「高齢者福祉の充実」で、75人が選択しています。施設の整備や、各種サービスの充実が評価されました。

3番目に多く選択されたのは「健康づくりの推進」で、62人が選択しています。特定健診、がん検診の無料化など、多くの支援策があることが評価されています。

4番目には「観光の振興」が選択されました。花輪ばやしがユネスコ無形文化遺産に登録されたことが評価の理由であり、もっと花輪ばやしを宣伝してほしい、盛り上げて欲しいといった期待の声が多く寄せられました。

5番目については「スポーツの推進」が引き続き一定の評価を受けました。

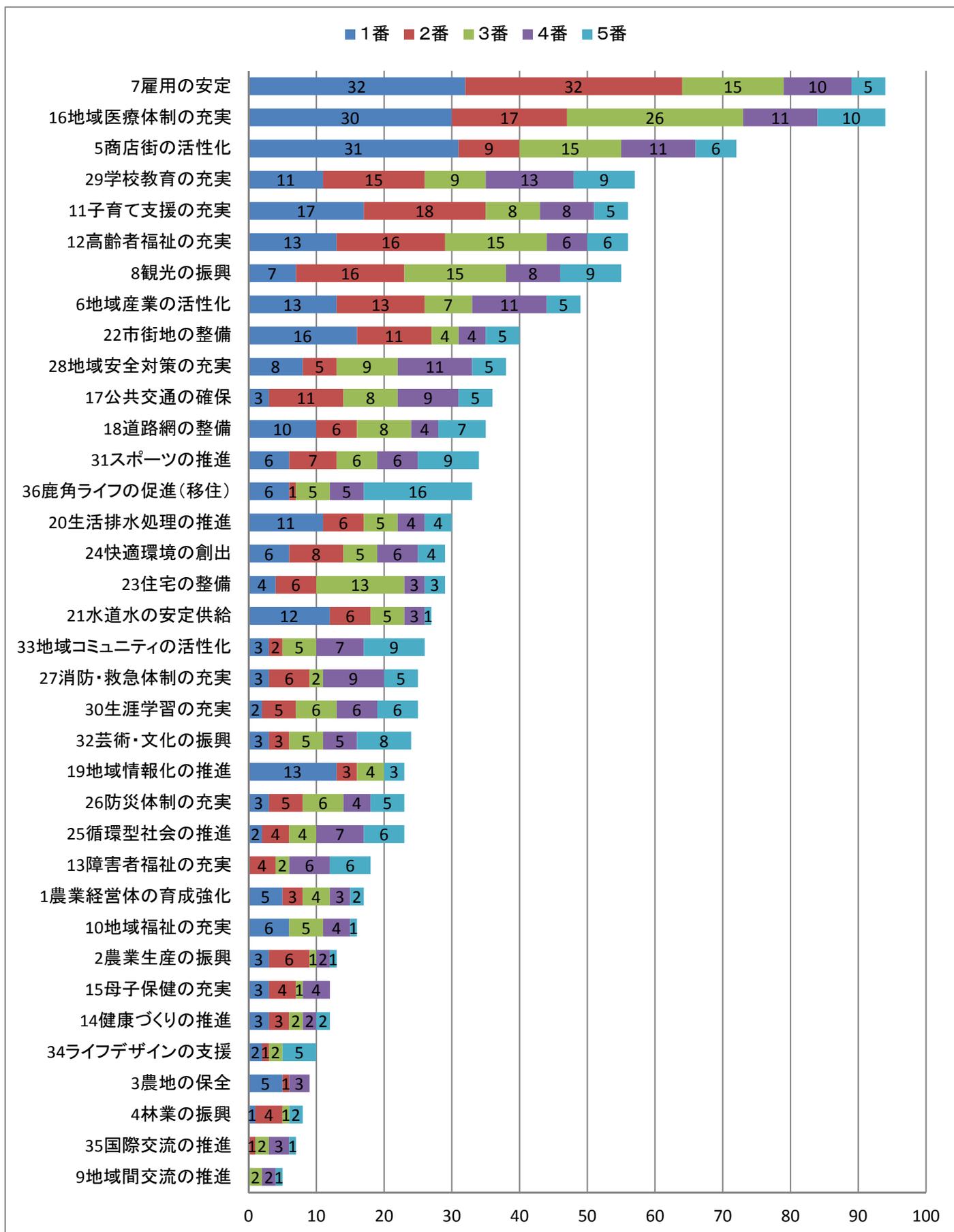
それ以降の施策については、「鹿角ライフの促進（移住）」が、メディアでの紹介や、移住者の起業、新規出店など、目に見える形で成果を上げていることが評価され、前年の36施策中29番目から7番目に順位を上げており、「芸術・文化の振興」では、コモッセが整備されたことにより、各種の公演や展示会などの芸術鑑賞をする機会が増加したことや、市民が交流する場としての機能が充実していることが評価されました。

施策No.	施策	1番	2番	3番	4番	5番	計	順位
11	子育て支援の充実	40	22	9	9	3	83	1
12	高齢者福祉の充実	24	18	20	9	4	75	2
14	健康づくりの推進	12	18	11	12	9	62	3
8	観光の振興	17	6	13	10	4	50	4
31	スポーツの推進	7	10	8	13	4	42	5
27	消防・救急体制の充実	5	9	6	9	12	41	6
36	鹿角ライフの促進(移住)	8	10	3	2	16	39	7
32	芸術・文化の振興	6	10	7	9	7	39	8
18	道路網の整備	3	7	10	4	15	39	9
10	地域福祉の充実	16	6	6	7	2	37	10
24	快適環境の創出	3	6	15	6	5	35	11
13	障害者福祉の充実	4	9	5	7	4	29	12
21	水道水の安定供給	4	7	8	4	6	29	13
3	農地の保全	16	6	3	1	2	28	14
16	地域医療体制の充実	2	4	3	9	8	26	15
2	農業生産の振興	13	2	1	3	4	23	16
1	農業経営体の育成強化	10	3	4	2	2	21	17
5	商店街の活性化	10	5	2	0	4	21	18
7	雇用の安定	5	7	6	2	1	21	19
17	公共交通の確保	2	5	4	5	5	21	20
29	学校教育の充実	5	3	4	5	1	18	21
6	地域産業の活性化	3	9	2	3	1	18	22
15	母子保健の充実	3	4	5	4	1	17	23
20	生活排水処理の推進	3	4	2	6	2	17	24
33	地域コミュニティの活性化	2	3	3	2	5	15	25
26	防災体制の充実	3	2	0	5	2	12	26
30	生涯学習の充実	1	2	1	1	6	11	27
9	地域間交流の推進	0	2	4	2	3	11	28
22	市街地の整備	1	1	2	1	4	9	29
4	林業の振興	4	1	3	0	0	8	30
35	国際交流の推進	1	1	4	1	1	8	31
25	循環型社会の推進	1	1	2	1	3	8	32
19	地域情報化の推進	0	1	4	1	1	7	33
28	地域安全対策の充実	0	0	2	3	2	7	34
23	住宅の整備	0	1	1	2	1	5	35
34	ライフデザインの支援	0	1	0	0	1	2	36

設問⑮-2 市が進めている取組の中で、もっと「力」を入れて欲しいと感じるものを下表の36項目から順に5つ選んでください。

①全体（項目別選択割合／複数回答）

〔単位：点〕



②分析結果

もっと力を入れて欲しいと感じる施策については、「雇用の安定」と「地域医療体制の充実」がそれぞれ94人の方から選択されていますが、「雇用の安定」を1番目に選択した方がわずかに多くおり、人口減少対策として、若い人が鹿角で暮らすことができるよう働く場の確保と、職場環境や雇用体制の改善を求める意見が多くありました。これらの意見は「地域産業の活性化」とも関連した分野への意見と考えられ、改善に向け、合わせて取り組んでいく必要があります。

2番目の「地域医療体制の充実」については、医師不足という理由が最も多く、里帰り出産の受入れ停止、産婦人科の集約化を不安に思う意見が多数ありました。

3番目に多く選択されたのは「商店街の活性化」で、72名が選択しています。空き店舗の多さや人通りの少なさが主な理由として挙げられました。

4番目の「学校教育の充実」では、学力の向上のほか、情操教育の充実や、スクールカウンセラーの配置など、様々な面で充実を望む意見がありました。

5番目は「子育て支援の充実」で、経済的な支援の強化を望む意見がほとんどでしたが、もっと外部に向けて鹿角市の子育て支援策の充実度をPRした方がよいとの意見もありました。

また、「子育て支援の充実」と同数となった「高齢者福祉の充実」については、施設の増設のほか、福祉タクシーなど、交通手段の充実を望む意見がありました。また、介護の現場で働く職員の給与が、その頑張りに対して低すぎるのではないかといった意見も寄せられました。

上記の項目はどれも例年高い順位にあることから、さらなる改善を図るため、引き続き重点的に取り組んでいく必要があります。

施策No.	施策	1番	2番	3番	4番	5番	計	順位
7	雇用の安定	32	32	15	10	5	94	1
16	地域医療体制の充実	30	17	26	11	10	94	2
5	商店街の活性化	31	9	15	11	6	72	3
29	学校教育の充実	11	15	9	13	9	57	4
11	子育て支援の充実	17	18	8	8	5	56	5
12	高齢者福祉の充実	13	16	15	6	6	56	6
8	観光の振興	7	16	15	8	9	55	7
6	地域産業の活性化	13	13	7	11	5	49	8
22	市街地の整備	16	11	4	4	5	40	9
28	地域安全対策の充実	8	5	9	11	5	38	10
17	公共交通の確保	3	11	8	9	5	36	11
18	道路網の整備	10	6	8	4	7	35	12
31	スポーツの推進	6	7	6	6	9	34	13
36	鹿角ライフの促進(移住)	6	1	5	5	16	33	14
20	生活排水処理の推進	11	6	5	4	4	30	15
24	快適環境の創出	6	8	5	6	4	29	16
23	住宅の整備	4	6	13	3	3	29	17
21	水道水の安定供給	12	6	5	3	1	27	18
33	地域コミュニティの活性化	3	2	5	7	9	26	19
27	消防・救急体制の充実	3	6	2	9	5	25	20
30	生涯学習の充実	2	5	6	6	6	25	21
32	芸術・文化の振興	3	3	5	5	8	24	22
19	地域情報化の推進	13	3	4	0	3	23	23
26	防災体制の充実	3	5	6	4	5	23	24
25	循環型社会の推進	2	4	4	7	6	23	25
13	障害者福祉の充実	0	4	2	6	6	18	26
1	農業経営体の育成強化	5	3	4	3	2	17	27
10	地域福祉の充実	6	0	5	4	1	16	28
2	農業生産の振興	3	6	1	2	1	13	29
15	母子保健の充実	3	4	1	4	0	12	30
14	健康づくりの推進	3	3	2	2	2	12	31
34	ライフデザインの支援	2	1	2	0	5	10	32
3	農地の保全	5	1	0	3	0	9	33
4	林業の振興	1	4	1	0	2	8	34
35	国際交流の推進	0	1	2	3	1	7	35
9	地域間交流の推進	0	0	2	2	1	5	36

14 自由意見

設問⑮で記述のあった自由意見は、59名の方から77件の意見や感想をいただきました。自由意見については施策別に整理し、それ以外を政策全般に関すること、職員に関すること、アンケートに関すること、その他に分類し、下表に掲載しています。

1-2-1 商店街の活性化

地区	性別	年代	内容
花輪	女	60代	新町商店街に食料品の店舗がなく、買い物に困る高齢者が増えている。コンビニもあるが、健康面からいうといいことではないためどうにかしてほしい。
十和田	女	50代	鹿角の中心に大型商業施設を作り、買い物やイベントを一か所で楽しめるようにしてほしい。映画やコンサートも見れない。年に一回でも大きなイベントを開催して鹿角の魅力を再認識してもらいたい。
花輪	男	30代	高速道路のICがあるのだからせめて大館より栄えているべきだと思うが。新規参入してきたチェーン店はすぐになくなり、残った建物になぜか市の公共施設が入っている。これは無駄としか思えない。

1-2-2 地域産業の活性化

八幡平	男	40代	若者の労働意欲向上や起業の支援。
花輪	男	40代	若者は、高収入な企業がないと地元には残らないし帰ってきません。現実には理想と違い、いくら頑張ってもメシを食っていくには困難な今、農業、畜産においても打破する改革案を作り上げてほしいと思っております。この辺がうまく進んでくれればすべての歯車がかみ合い解決につながるのではないのでしょうか。税金を払っている人は少なからずこのような考えを持っている人もいます。
十和田	女	29歳以下	若い人から「地元に戻りたいけど仕事がない」といわれてしまう。もっと鹿角に若い人が定着できればいいのですが。
十和田	男	40代	自然と食べ物に恵まれている鹿角市の魅力を他県に知ってもらう事業に力をいれてほしい。味噌、麴のブランドを作る研究をしてはどうか。
十和田	男	50代	子供や若い人が鹿角に住み続けられるよう、雇用の創出を真剣に考えて欲しい。大館の小畑元市長は東北でもトップクラスの企業誘致をしており、たしかに二井田工業団地は完売している。

1-2-3 雇用の安定

花輪	男	30代	企業の求人内容が現実とかけ離れすぎている。転職及び離職につながり、鹿角市に希望する仕事が見つけられず他県へ人が流れていく。
花輪	男	50代	一番は雇用の安定です。
十和田	男	60代	少子化対策、移住促進のためには雇用の安定が必要。

1-3-1 観光の振興

十和田	女	60代	テレビを見ている、鹿角市について放映されることは少ない。天気予報でも中央が主で、置き去りにされている感がある。情報の発信量を多くするなどして、県民のみなさんに興味をもってもらおう対策が必要ではないか。(行楽シーズンの集客のため) きりたんぽFMは地域内の情報伝達には有効だが、外部へという意味では効果がない。
-----	---	-----	---

1-3-2 地域間交流の推進

十和田	男	60代	スキー大会による、市や市民に対する経済効果がよくわからない。公開されているのか？
十和田	女	40代	大館、小坂のように他から人が集まるようなイベントなどを開いてほしい。

2-1-1 地域福祉の充実

八幡平	男	40代	認知症や精神病の理解や対策の強化。
-----	---	-----	-------------------

2-1-2 子育て支援の充実

八幡平	男	40代	地元での出産や子育て支援を良くしてほしい。
十和田	男	29歳以下	花輪地区ばかりに行事や施設が集中しており、もっと色々な地域で子供が遊べる環境を作してほしい。
十和田	女	40代	小学校の児童保育について、学年の制限や時間、場所等広げて欲しい。

2-1-3 高齢者福祉の充実

十和田	女	60代	老後が心配。
花輪	女	60代	もうすぐ70歳になるが、年金が安く、パートで働いている。息子、娘も自分たちの生活でギリギリで、頼れず、今後が不安。現在は貸家で暮らしているが、所得に応じて家賃を安くしてくれるような制度はないものか。
十和田	男	40代	老人をかかえて生活しているためか自分の負担が多くなりその辺の介護等がすぐ遅れていると思う。他市の人に聞くといろんな面でサービス等が進んでいるように思われます。ぜひ他市町村との比較を第三者を利用して調査してみてください。
十和田	女	40代	湯都里といずみの湯の定休日が重なっており、不便である。帰省してくる親戚を温泉に連れて行こうと思ったがどちらも火曜が休みだった。

2-2-1 健康づくりの推進

花輪	男	30代	仕事に悩み自殺する人も多い。心療内科がない。
十和田	男	60代	公共の場だけでなく職場、お店、集会場所の禁煙を早く進めて欲しい。

2-2-3 地域医療体制の充実

十和田	女	29歳以下	厚生病院の産婦人科がなくなってしまうと不安。
花輪	女	50代	働き盛りの世代が病気になったときに、十分な治療が受けられるような病院が鹿角市にもあってほしい。

3-1-1 公共交通の確保

尾去沢	女	60代	高齢化社会が進んでいる今、これからもっと進み、自分自身車の運転ができなくなったらどう生活していくんだろうと考えたとき、不安になります。
-----	---	-----	---

3-1-2 道路網の整備

花輪	女	29歳以下	いま住んでいる集落の道路が穴だらけです。いつ直すんですか？こちらから言わなくても定期的にチェックして直してください。西山農免道路はいつ直すのですか？もう数年放置していますよね？
十和田	男	50代	毛馬内の歩道が坂が多すぎて歩きにくい。冬場もこわい。

3-2-1 地域情報化の推進

十和田	女	50代	家にネットを引きたいが、光回線が来ないためできない。電波も悪い。
-----	---	-----	----------------------------------

3-2-3 水道水の安定供給

十和田	女	70代	水道水が濁り、出が悪くなったり1回だけではありませんでしたが、何も市民には連絡がなく、対応が悪すぎます。
-----	---	-----	--

3-2-4 市街地の整備

花輪	男	50代	さくら保育園、児童センターからコモッセまで、歩道があればいい。駅前のアクセス道路について、道が狭く、電柱が道路にはみ出ている。国道282号のバイパス。
花輪	男	50代	建築物と道路にお金を使いすぎている。コモッセができた今、交流プラザを別用途にしたらどうか。
花輪	男	30代	1km圏内にコモッセ、市民センター、MIT プラザ、まちなかオフィスと公共施設が集中しすぎている。

3-3-1 快適環境の創出

十和田	女	50代	粗大ゴミについて、あまり制限せずに収集してほしい。
-----	---	-----	---------------------------

3-4-2 消防・救急体制の充実

花輪	女	30代	救急車が来ても、経過や連絡先を聞いて15分以上しないと出発しない。出発後は急スピードで運転する。具合の悪い人間にとって酷な扱いです。出発から〇〇分で到着と報告していたが、ゆっくり運転していても、ずっと前に到着していたはずだった(体も痛みなく楽な状態で)。治療ができないのだから早く病院へ運んでほしい。状態の経過は家族が言えればいいはずです。患者のためではなく、救急隊員の手柄のための手順になっているのが残念です。命を助けるために、到着したらすぐに病院に運んでいただきたいと希望します。
----	---	-----	--

3-4-3 地域安全対策の充実

花輪	女	40代	各地で高齢者の運転事故が多いので、高齢者運転の指導を徹底した方がよい。鹿角の高齢者もかなり身勝手な運転をしていると思う。
十和田	女	60代	市民税は高いのに、街から少し離れると暗く、中高生が暗い中を家へ帰ってきます。街中だけ明るくすればいいのでしょうか？
十和田	男	50代	空き家対策に力を入れて欲しい

4-2-2 スポーツ環境の充実

尾去沢	男	50代	スポ少になり、地域の皆さんが指導しているが、それぞれ仕事もあるので、行き届かない所もあるのでないか。けが予防、メンタル面のケア等。
-----	---	-----	---

4-2-3 芸術・文化の振興

花輪	女	40代	コモッセ文化ホールのスタインウェイピアノがほとんど倉庫にしまわれたままだと聞く。新しいうちに弾き込まなければ、どんどんいい音がしないピアノになってしまうと聞いた。市民に開放したり、音楽の先生に弾き込んでもらったりした方が、ピアノにとっても幸せだと思う。ピアニストの間で「こんなピアノではダメだ」という噂が広がったりしたら、誰も演奏に来てくれなくなるかもしれない。週に数回でも弾いてあげる機会を作ってはどうか。
----	---	-----	--

5-1-2 ライフデザインの支援

尾去沢	女	60代	独身の方が増えていることに考えさせられています。今、若いときはいいけど、高齢者になり家族が亡くなり、ひとりになった時の悲しさ、人間として先祖から命を受け継ぎ、自分の子、孫へと命のバトンを渡すことが大事なんだということを考えて欲しい。今のままだと鹿角市が消えてなくなるということを自覚してほしい。鹿角の未来が明るい方向へ向かってほしいと願っています。
十和田	男	60代	女性の活躍をもっと多くしてほしい。

5-1-3 国際交流の推進

十和田	男	50代	シヨプロン市への人材派遣は税金の無駄であり、市内での施策に予算を配分した方がよい。
-----	---	-----	---

①政策全般に関すること

花輪	男	30代	鹿角市にずっと残って、死ぬまでここにいたいと思わせるような街づくりをしていきたい。
十和田	女	60代	学校を卒業するとみんな鹿角を離れていきます。いずれ帰ってくるのであればいいのですが、ほとんど来ません。生活が不便で、帰るに帰れない。
十和田	男	60代	旧町村単位相互の協調性が感じられず、市としての機能が見られない。すべての分野で若い人の登用が必要である。
十和田	男	50代	施策が県のものか市のものか市民からするとよくわからない。連携が図れると無駄なコストがカットでき、本来の目的にも早く到達できると思う。県はもちろん、他県の自治体とも情報交換を増やすことはできないか？
花輪	男	29歳以下	もっと若者が増える社会をつくってください。
花輪	男	30代	市は守りに走っていると思う。全くおもしろみがない。鹿角市は終わっているのでいずれ潰れるでしょう。攻めてる感がゼロ。
十和田	男	60代	人口減少を嘆くのではなく、具体的にどれぐらいの人口を目標とするか市の形を示すべきではないだろうか。
十和田	女	40代	花輪ばかりが鹿角ではないと思う。もっと各地区が活性化すれば楽しい鹿角になると思う。
十和田	男	60代	小銭は市内で使うが、大金は市外で使う現状がある。市の商業施設に何も無い。市の方向性があまり見えないと思う。農業、観光、産業すべて平均点以下である。
花輪	女	50代	鹿角市＝花輪地区という印象が否めません。他地区には市でなにをやっているのか(特に市役所近辺の行事やコモッセの催し物)わかりません。細やかな情報の提供や、中心地と周辺部のつながりの強化があればと思います。

②職員に関すること

花輪	男	70代	鹿角市で相次ぐ不祥事 <ul style="list-style-type: none"> ・不能欠損 ・ストーンサークルの草刈費 ・市営住宅の家賃を着服 ・ほかにもあります。 これらはすべて市民の税金であり、管理する役所が問題を起こしている。また、裁判所で市民と戦っている。何か間違っている。
----	---	-----	--

十和田	男	60代	異動になり係が変わったから、「パソコンの操作がわからないので取り扱えない」ということを平気で言う職員がおり、窓口で返されたことがある。職責の自覚とはなんだろうと思わされた。上司等に聞かないのか？
花輪	男	40代	市職員は経営感覚を持って仕事に取り組み。やる気なし、積極性なし、頭なしの割に税金高い。悪いこと、違法行為は頭がまわる。去年、おとしの体たらくを見れば職員の質がわかる。スピード感のない仕事はだめ。
十和田	男	40代	民間企業の方との人事交流をすれば良いと思います。一人ひとりの生産性、パフォーマンスが市職員には不足していると思います。無駄話が多いし仕事する態度が悪すぎる。特に財務部等は1階で見えるということを自覚してほしい。
花輪	女	40代	以前、役所を訪れた際の職員の態度が悪く気分を害した。挨拶しても返ってこない。客が来てるのを見てるはずなのに、無視して自分のデスクに向きなおす。誰かが対応するだろうという感じなのか？

③アンケートに関すること

十和田	女	40代	自分の家は子どもがいないため、回答できない項目もある。ある程度、家族構成等を確認して対象者を選んだ方がいい。
-----	---	-----	--

④その他

花輪	男	70代	新聞を見ると鹿角市長の行動予定が他の市長と比べると一番少ないが、役所にいる時間が多いのか？行動予定が載っている日が少ない。
十和田	男	29歳以下	市議会は全員ボランティアで活動してもらおう。活動費は結果で無ければだめ、移動は公共バス、電車、自転車。誰がやっても変わらないなら、誰もやってないことを試みてはいかがですか。本当に好きな人が誰にも期待しないで面白いと思う。
花輪	男	50代	市民へのアンケートも大事かもしれませんが、何をしなくてはいけないのか・・・よくよく考えてください。若者、老人の方たちの将来等々、よくよく考え、鹿角市という町を変えてもらいたいですよ。大館市、小坂町どんどん変化していますよ。見習ってください。
十和田	男	70代	議員報酬について、議会があるごとに1万円とし、年間さらに30～40万円のボーナスとする。年間の予算で余った金は保育園の園児一人当たり2万円補助する。
花輪	男	40代	鹿角の本当の将来を考えるなら議員さんたちには今以上に市民の心に寄り添うのが大事。形だけの会議なら税金返してください。
花輪	女	70代	家の裏の斜面にアカシヤやくるみがたくさん生え、今後どうしたらいいのか不安。
十和田	男	40代	いとくに窓口を作ってもらえたのはとても良い。便利だという声を良く聞く。

十和田	女	30代	特に変化もないので興味もないです。遊ぶ場所もないのでつまらない。要望しても何も変化がないのでいい。
花輪	女	50代	人口が減少しているのでさらに市議を減らしてほしい。報酬が高すぎる。政務活動費を明確に報告してほしい。女性議員が増えて欲しい。
尾去沢	女	70代	アメシロの害を防ぎたいので散布機を借用してほしい
十和田	女	60代	障がい者や生活保護受給者への補償を充実させるのも結構ですが、日々節約してやりくりして頑張っている労働者の働く意思を失わせるような状態になっていかないことを祈るばかりです。
尾去沢	女	50代	支払等、クレジットカードが使えると大変ありがたい
花輪	男	30代	若者が、時間を消費できる場所がない。大型商業施設の一つでも作って、市民が休日に市外に行かずに市内で消費してもらおうという場所がない。
無回答	無回答	無回答	いつもご苦労さまです。秋田市へ列車を使って移動することがありますが、不便です。盛岡の方が便利です。ここは秋田県か？と誤ってしまいます。県に対して鹿角をアピールすることをお忘れなく。
十和田	女	50代	せっかくの自然を利用して、ゆっくりできる場所がほしい。みんなが利用できる駐車場もほしい。

資料

平成29年度
市民アンケート 回答票

はじめに、あなた自身についておたずねします。

設問① あなたの住んでいる地区、性別、年代等について、あてはまるものの□に○を記入してください。

・住んでいる地区	<input type="checkbox"/>	花輪	<input type="checkbox"/>	十和田
	<input type="checkbox"/>	尾去沢	<input type="checkbox"/>	八幡平

・性別	<input type="checkbox"/>	男性	<input type="checkbox"/>	女性
-----	--------------------------	----	--------------------------	----

・年代	<input type="checkbox"/>	30歳未満	<input type="checkbox"/>	30代	<input type="checkbox"/>	40代
	<input type="checkbox"/>	50代	<input type="checkbox"/>	60代	<input type="checkbox"/>	70歳以上

・世帯構成	<input type="checkbox"/>	一人暮らし	<input type="checkbox"/>	夫婦のみ	<input type="checkbox"/>	夫婦と子
	<input type="checkbox"/>	夫婦のいずれか と子	<input type="checkbox"/>	夫婦とその 親	<input type="checkbox"/>	三世代
	<input type="checkbox"/>	その他 ()				

・お住まいの種類	<input type="checkbox"/>	持家（土地も所 有）	<input type="checkbox"/>	持家（土地 は借地）	<input type="checkbox"/>	借家
	<input type="checkbox"/>	民間賃貸アパー ト・マンション	<input type="checkbox"/>	その他 ()		

※現在、ご自分が子育てをされている方はご記入をお願いします。

・子どもの成長段階（複数い らっしゃる方は下の子）	<input type="checkbox"/>	未就学児	<input type="checkbox"/>	小学生
	<input type="checkbox"/>	中学生	<input type="checkbox"/>	高校生

地域コミュニティについておたずねします。

設問② あなたは、昨年1年間に社会活動や地域活動（ボランティア活動、自治会活動など）にどの程度参加しましたか。

1. 10回以上
2. 4回～9回
3. 3回以下
4. 参加しなかった

理由がありましたらお書きください

公共交通についておたずねします。

設問③-1 バス（予約型乗合タクシーを含む）または鉄道（以下、「公共交通機関」といいます。）の利用頻度として当てはまるもの**1つに○**をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 週2回以上利用 | 2. 週1回程度利用 |
| 3. 月に1回以上利用 | 4. 年に数回程度利用 |
| 5. 数年間利用したことがない | |

設問③-2 高速バスみちのく号の利用頻度として当てはまるもの**1つに○**をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 週2回以上利用 | 2. 週1回程度利用 |
| 3. 月に1回以上利用 | 4. 年に数回程度利用 |
| 5. 数年間利用したことがない | |

設問③-3 あなたは、普段の生活の中で、公共交通機関による移動に**不便**を感じていますか。

1. 感じる
2. 感じない
3. あまり利用しないのでわからない

不便を感じる理由

住みごちについておたずねします。

設問④ あなたにとって、鹿角市の住みごちはどうですか。

- | | | |
|--------------|-----------|--------------|
| 1. 住みよい | 2. まあ住みよい | 3. どちらともいえない |
| 4. あまり住みよくない | 5. 住みにくい | 6. わからない |

運動の実施状況についておたずねします。

設問⑧ あなたは、普段どれくらい「運動」（ウォーキングや軽い体操）や、健康を意識した「生活活動」（農作業や家事、階段の上り下り等も含む）を行っていますか。
また、1回あたりの運動や活動の時間はどのくらいですか。

1. ほぼ毎日	→	主に行っている運動や活動： _____ 1回あたりの時間： 約 _____ 分
2. 週に1回程度	→	
3. 月に1回程度	→	
4. ほとんど行っていない	→	

男女共同参画の状況についておたずねします。

男女共同参画社会とは、固定的な男性観、女性観にとらわれず、男女が社会の対等な構成員として自らの意思で、個性と能力を発揮することができる社会をいいます。

設問⑨ あなたは、地域社会全体でみた場合、男女の地位は平等になっていると思いますか。

1. 男性のほうが優遇されている
2. どちらかといえば男性のほうが優遇されている
3. 平等である
4. どちらかといえば女性のほうが優遇されている
5. 女性のほうが優遇されている

地域情報化についておたずねします。

設問⑩ あなたはインターネットを利用していますか。また、利用している場合は、利用機器のうち、あてはまるもの**すべてに○**をつけてください。

1. インターネットを利用している
 - ①パソコン
 - ②スマートフォン
 - ③スマートフォン以外の携帯電話・PHS
 - ④タブレット型端末
 - ⑤ゲーム機
 - ⑥インターネット機能付きテレビ
 - ⑦その他（具体的に： _____)
2. インターネットを利用していない

コモッセの利用状況についておたずねします。

設問⑫-1 あなたは、昨年1年間に市内外で芸術鑑賞（音楽、演劇、美術館、展覧会等全般）をしましたか。

1. 鑑賞した → **設問⑫-2** へ

2. 鑑賞しなかった → **設問⑫-3** へ

設問⑫-2 設問⑫-1 で「1. 鑑賞した」を選んだ方におたずねします。そのうち、コモッセ文化ホールで開催されたコンサート等はどの程度鑑賞しましたか。

1. 10回以上鑑賞した

2. 4～9回鑑賞した

3. 1回～3回鑑賞した

4. 鑑賞しなかった

→ (鑑賞しなかった理由)

設問⑫-3 あなたは昨年、コモッセをどの程度利用されましたか？

1. 毎週

2. 月1回程度

3. 年3回程度

4. 年1回

5. 利用しなかった

(利用しなかった理由)

設問⑫-4 設問⑫-3 で1～4を選んだ方におたずねします。主な利用目的はなんですか。
あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 市民センター（講堂・和室・会議室等）

2. 図書館

3. 子ども未来センター

4. 文化ホール

5. 練習室

6. 喫茶

7. その他（

）

「市議会だより」についておたずねします。

設問⑬-1 年に4回配布している「市議会だより」について、内容をどの程度読んでいますか。

1. ほとんど読んでいる
2. 関心のある記事を読んでいる
3. ほとんど読んでいない
4. 「市議会だより」を知らない

設問⑬-2 「市議会だより」について、ご意見等ありましたらご自由にお書きください。

市の政策についておたずねします。

設問⑭-1 市が進めている取組の中で、効果が得られていると感じるものを下表の36項目(①~⑳)から順に5つ選んでください。(理由がありましたらその記入をお願いします)

1番. 理由

2番. 理由

3番. 理由

4番. 理由

5番. 理由

農林業の振興

①	農業経営体の育成強化
②	農業生産の振興
③	農地の保全
④	林業の振興

福祉の充実

⑩	地域福祉の充実
⑪	子育て支援の充実
⑫	高齢者福祉の充実
⑬	障がい者福祉の充実

商工業の振興

⑤	商店街の活性化
⑥	地域産業の活性化
⑦	雇用の安定

保健・医療の充実

⑭	健康づくりの推進
⑮	母子保健の充実
⑯	地域医療体制の充実

観光業の振興

⑧	観光の振興
⑨	地域間交流の推進

交通基盤の整備

⑰	公共交通の確保
⑱	道路網の整備

設問⑭-2 市が進めている取組の中で、もっと「ちから」を入れて欲しいと感じるものを **下表の36項目(①～③⑥)から順に5つ**選んでください。(理由がありましたらその記入をお願いします)

1番. 理由

2番. 理由

3番. 理由

4番. 理由

5番. 理由

住環境の整備	
⑱	地域情報化の推進(IT関連)
⑳	生活排水処理の推進
㉑	水道水の安定供給
㉒	市街地の整備
㉓	住宅の整備

環境づくり	
㉔	快適環境の創出(自然・ゴミ処理)
㉕	循環型社会の推進(リサイクル・再エネ)

市民生活の安全	
㉖	防災体制の充実
㉗	消防・救急体制の充実
㉘	地域安全対策の充実

学校教育の推進	
㉙	学校教育の充実

生涯学習・スポーツ・文化の推進	
㉚	生涯学習の推進
㉛	スポーツの推進
㉜	芸術・文化の振興

市民参加と地域づくりの推進	
㉝	地域コミュニティの活性化
㉞	ライフデザインの支援(男女共同参画)
㉟	国際交流の推進
㊱	鹿角ライフの促進(移住)

設問⑮ 市の政策・事業・各種の手続き等について知りたい点、提言、改善要望等ありましたらご自由にお書きください。



以上で「市民アンケート」は終わりです。ご協力ありがとうございました。

平成29年度
市民アンケート実施結果報告書

平成29年8月
鹿角市総務部政策企画課総合戦略室
電話：0186-30-0201